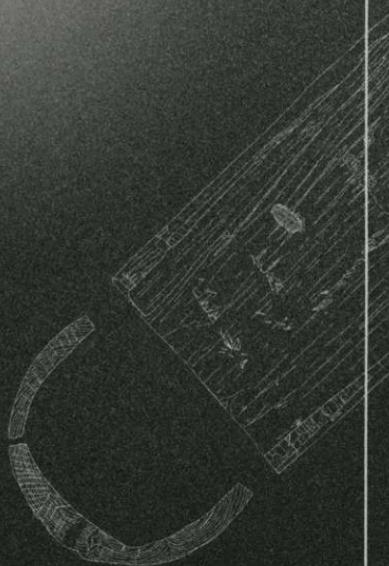


第3版

水見市遺跡地図

水見市埋蔵文化財調査報告第50冊



2007年3月

水見市教育委員会

水見市遺跡地図

[第3版]

2007年3月

水見市教育委員会

序

東に富山湾を隔てた靈峰立山を仰ぐ氷見市は、古くから海の幸、山の幸に恵まれ、人々の生活の場として、数多くの文化遺産を生み育んでまいりました。

氷見市教育委員会では、これまで市内に所在する遺跡の発見・周知に努めてまいりましたが、このたび、その成果を『氷見市遺跡地図』〔第3版〕として刊行する運びとなりました。

『氷見市遺跡地図』の第2版を平成4年度に刊行してから14年、初版の刊行からはすでに24年の歳月が流れています。その間、平成5年度から7か年は平野部の分布調査、平成12年度から6か年は丘陵部・山間部の分布調査と、合わせて13か年におよぶ市内の分布調査を実施してまいりました。また、平成14年度に刊行された『氷見市史7 資料編五 考古』の編さんに伴う調査でも、多くの新知見がもたらされました。第2版刊行からの14年間には、市内の開発行為に伴う遺跡の発見・調査なども含めて実に156の遺跡が新たに埋蔵文化財包蔵地として登録されております。

中でも大きな変化といえるのが、平成10年に発見され、平成13年に国指定史跡となつた柳田布尾山古墳の存在と、能越自動車道の建設に先立つ発掘調査の成果であります。

日本海側最大の前方後方墳である柳田布尾山古墳の発見は、氷見市、ひいては北陸の古墳時代研究に新たな光を当てるもので、その後市内の丘陵部に多数の古墳群が発見される契機となりました。

富山県北西部と能登地域を結び、沿線地域の産業、経済、文化の発展を目指す能越自動車道とそのアクセス道路の建設は、多くの遺跡の発見と発掘調査につながりました。調査成果の全貌が明らかとなるのはまだ先のことですが、すでに明らかとなった成果からも、多くの新発見・新知見が予想され、期待が高まります。

このたびの遺跡地図の刊行は、決して最終的なものではありません。本書が、引き続き遺跡の有無、範囲の確認をしていくための礎として、今後の文化財保護の一助となるとともに、地域の歴史への関心、理解につながることを願っております。

終わりに、本書の刊行にあたりましては、関係者の皆様をはじめ、多くの方々にご指導、ご協力を賜りました。この場を借りまして厚くお礼申し上げます。

平成19年3月

氷見市教育委員会
教育長 中尾 俊雄

例　　言

- 1 本書は、富山県水見市に所在する遺跡（埋蔵文化財包蔵地）の分布状況を示したものである。
- 2 本書は、水見市教育委員会が国庫補助金・県費補助金の交付を受けて実施した市内遺跡分布調査・遺跡地図作成事業の報告書である。
- 3 本書の内容は、昭和58年水見市教育委員会・水見市立博物館刊行「水見市文化財所在地図No1 水見市遺跡地図 埋蔵文化財包蔵地所在地地図」、平成5年水見市教育委員会刊行「水見市埋蔵文化財調査報告第14冊 水見市遺跡地図〔第2版〕」を基に、平成14年水見市刊行「水見市史 7 資料編五 考古」の情報を加えて再編集し、その後の新発見遺跡・新知見を加筆・修正したものである。
- 4 水見市教育委員会では、国庫補助金・県費補助金の交付を受け、平野部の分布調査を平成5年度から平成11年度まで7か年、丘陵部・山間部の分布調査を平成12年度から平成17年度まで6か年、計13か年にわたる市内遺跡詳細分布調査事業を実施してきた。遺跡地図の内容にはこれら一連の分布調査の成果が含まれる。
- 5 地図の縮尺は、索引図が100,000分の1、遺跡地図が10,000分の1である。
- 6 索引図は、国土地理院の承認を得て、同院発行の50,000分の1地形図を複製したものである（承認番号 半18 北極、第160号）。索引図作成にあたっては、50,000分の1地形図「永見」「右動」「蛇ヶ島」「富山」を組み合わせ、100,000分の1に縮小して使用した。
- 7 遺跡地図は、「水見市国上基本図」（5,000分の1）を、10,000分の1に縮小して使用した。「水見市国上基本図」は昭和44年から昭和59年にかけて測量、平成5年に修正・編集されたもので、平成18年度現在の地形・道路状況・土地利用とは異なる点が多いが、大縮尺で表示できること、IH地形と遺跡の関係を示せることから、あえて採用させていただいた。ご了承いただきたい。
- 8 本書は、平成19年1月31日現在までの資料によるものである。
- 9 記載した遺跡は、これまでに発見された遺跡の他、口承・伝承等によるものを含み、その位置・範囲を赤線・網点で表示し、これに遺跡番号を付して一覧表と対応させた。遺跡範囲内に別遺跡が重複して立地している場合は、遺跡内に立地する遺跡の方を濃い網点で表示した。
- 10 遺跡範囲内に遺物出土地点が点在している遺跡では、各地点を赤点で表示し、地点名を付した。また、同一遺跡の範囲が2か所に分散している遺跡では、「a・b」のアルファベットを付してそれぞれ図示した。
- 11 古墳群・横穴群等については、群を包括する範囲を赤線・網点で表示した。加えて古墳については、発掘調査・測量調査・分布調査等で埴丘の位置・形状が確認されているものは丸丸等で図示し、自然地形の可能性のあるもの・すでに消滅したもの等については白抜きで図示した。埴丘の位置・形状は、一部を除き「水見市史 7 資料編五 考古」に準拠した。なお、これは埴丘の位置・形状の概要を示したもので、正確な埴丘規模を示したものではない。
- 12 水見市教育委員会以外の組織によって平成18年度に実施された発掘調査等については、正式な調査概要が未報告であるため、それぞれの発表会資料等を参考に一部の成果を反映せざるにとどめた。
- 13 原則として、開発行為等によって消滅した遺跡についてもその位置・範囲を記載した。
- 14 遺跡の位置・範囲については、できるかぎり正確を期したが、現状からの推測によるもののがほとんどであり、今後の発掘調査・分布調査等により変更する可能性がある。
なお、遺跡についての最新の情報は、水見市教育委員会生涯学習課に問い合わせていただきたい。
- 15 遺跡番号は、富山県・水見市共通のものである。市町村コード「205」を付することで富山県が管理する「富山県埋蔵文化財包蔵地図」記載の遺跡番号に対応している。
- 16 遺跡名は、原則、富山県が管理する「富山県埋蔵文化財包蔵地図」に準拠したが、一部は「水見市史 7 資料編五 考古」を参考に修正を加えた。別称があるものについては（ ）内に併記した。一つの埋蔵文化財包蔵地内に複数の遺跡が含まれる場合は、遺跡名を「・」で連結して記載し、必要に応じて「a・b」のアルファベットを付して図示した。また、過去に登録された遺跡名を変更したものについては、旧称を遺跡一覧表の備考欄に記入した。
- 17 遺跡名のふりがなは、原則、「富山県埋蔵文化財包蔵地図」・「水見市史 7 資料編五 考古」に準拠したが、地名を付した遺跡名のふりがなに関しては、平成12年水見市刊行「水見市史 6 資料編四 民俗・神社・寺院」「第15章 地名」を準拠し修正したものがある。なお複数の読み方があるものについては、慣例的・代表的な読み方を記載した。
- 18 発掘調査の結果、隣接遺跡に統合されたために欠番となった遺跡については遺跡一覧表の中で欠番扱いとし、旧遺跡名と統

合された遺跡名を併記した。

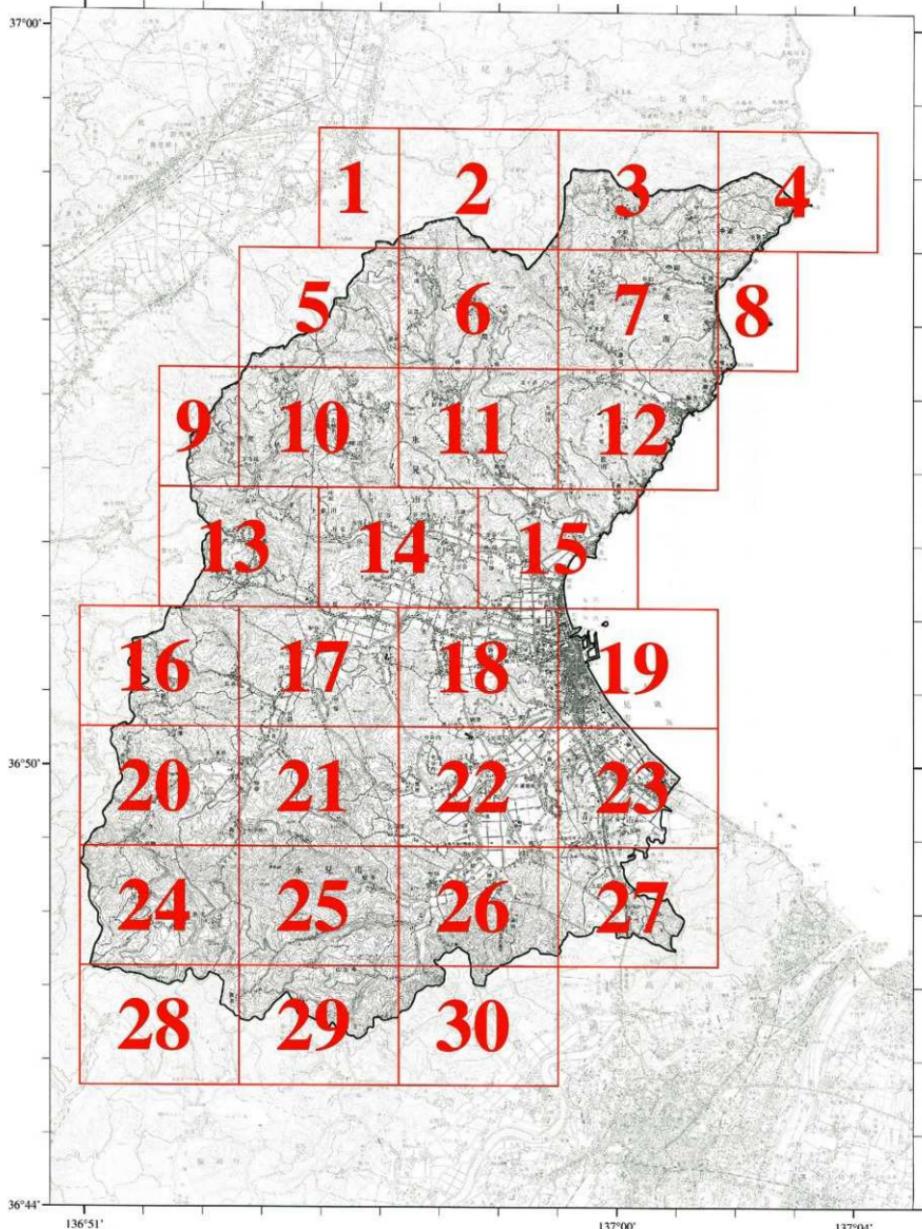
- 19 遺跡一覧表中、「N E」・「K B」を付した遺跡名は仮称である。それぞれ「N E」は能越自動車道関連遺跡、「K B」は一般国道415号（通称、鞍川バイパス）関連遺跡である。既に試掘調査を終え、本調査の必要が生じたものについては正式な遺跡名を登録したが、試掘調査の結果本調査が不要だと判断された遺跡、平成19年1月31日現在未調査の遺跡については仮称のままである。
- 20 略号は、水見市教育委員会が調査を実施する際、あるいは遺物を管理する際に付したものと記載した。
- 21 遺跡の時代は、発掘調査が実施された遺跡については、その調査結果から判断される時代、発掘調査が実施されていない遺跡については、出土・採集遺物から推測される時代と記載した。
- また、古墳群のうち未調査のものについては、墳丘の形状・立地から推測される時代を、城郭遺跡等のうち未調査のものについては、城郭遺構の形状・立地から推測される時代もしくは文献資料から推測される時代をそれぞれ記載した。
- 22 本書に記載した遺跡の範囲内で、現状を変更しようとするときは、文化財保護法により届出又は通知が必要となるので、遺跡に近接する場合を含めて、水見市教育委員会生涯学習課に問い合わせていただきたい。
- 23 本古の作成にあたっては、課長補佐上田和弘、主査大野究、学芸員廣瀬直樹が事務を担当し、課長東海樹一が統括した。
- 24 遺跡地図・水見市遺跡一覧表・水見市遺跡地図文献目録の作成・編集は、廣瀬が担当し、大野が補佐した。
- 25 付章には、今年度実施した分布調査の結果および余川金谷1号墳の測量調査の成果を収録した。
- 26 付章の執筆は、大野・廣瀬が分担し、編集は廣瀬が担当した。
- 27 調査・書寫作成にあたり、下記の方々・機関から多大なご教示・ご協力を得た。記して感謝申し上げる。

富山県教育委員会生涯学習課・文化財室・富山県埋蔵文化財センター・富山大学人文学部考古学研究室・財団法人富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所・水見市史編さん室・水見市立図書館・水見市立博物館・小堀卓治（水見市立博物館）・橋本正春（富山県埋蔵文化財センター）・森越 博（水見市立図書館）

目 次

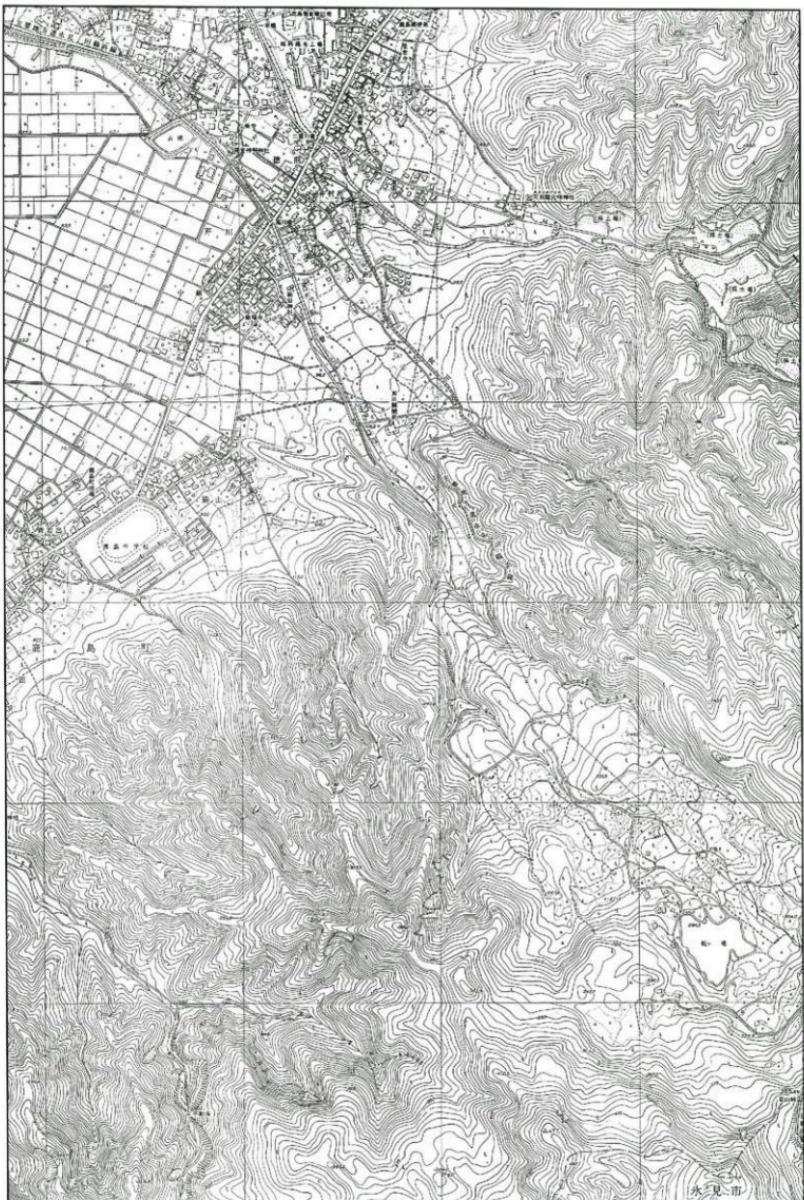
序	i	遺跡地図19	34
例言	ii	遺跡地図20	36
目次	iii	遺跡地図21	38
索引図	iv	遺跡地図22	40
遺跡地図1	1	遺跡地図23	42
遺跡地図2	2	遺跡地図24	44
遺跡地図3	4	遺跡地図25	46
遺跡地図4	6	遺跡地図26	48
遺跡地図5	8	遺跡地図27	50
遺跡地図6	10	遺跡地図28	52
遺跡地図7	12	遺跡地図29	54
遺跡地図8	14	遺跡地図30	56
遺跡地図9	15	水見市遺跡一覧表	58
遺跡地図10	16	水見市遺跡地図文献目録	68
遺跡地図11	18	水見市教育委員会刊行	
遺跡地図12	20	埋蔵文化財関連報告書・刊行物一覧	72
遺跡地図13	22	水見市埋蔵文化財調査報告	
遺跡地図14	24	その他、埋蔵文化財関連報告書・刊行物	
遺跡地図15	26	市内遺跡詳細分布調査事業	
遺跡地図16	28	調査員・調査補助員・調査協力者	73
遺跡地図17	30	付章 平成18年度分布調査・測量調査の成果	75
遺跡地図18	32		

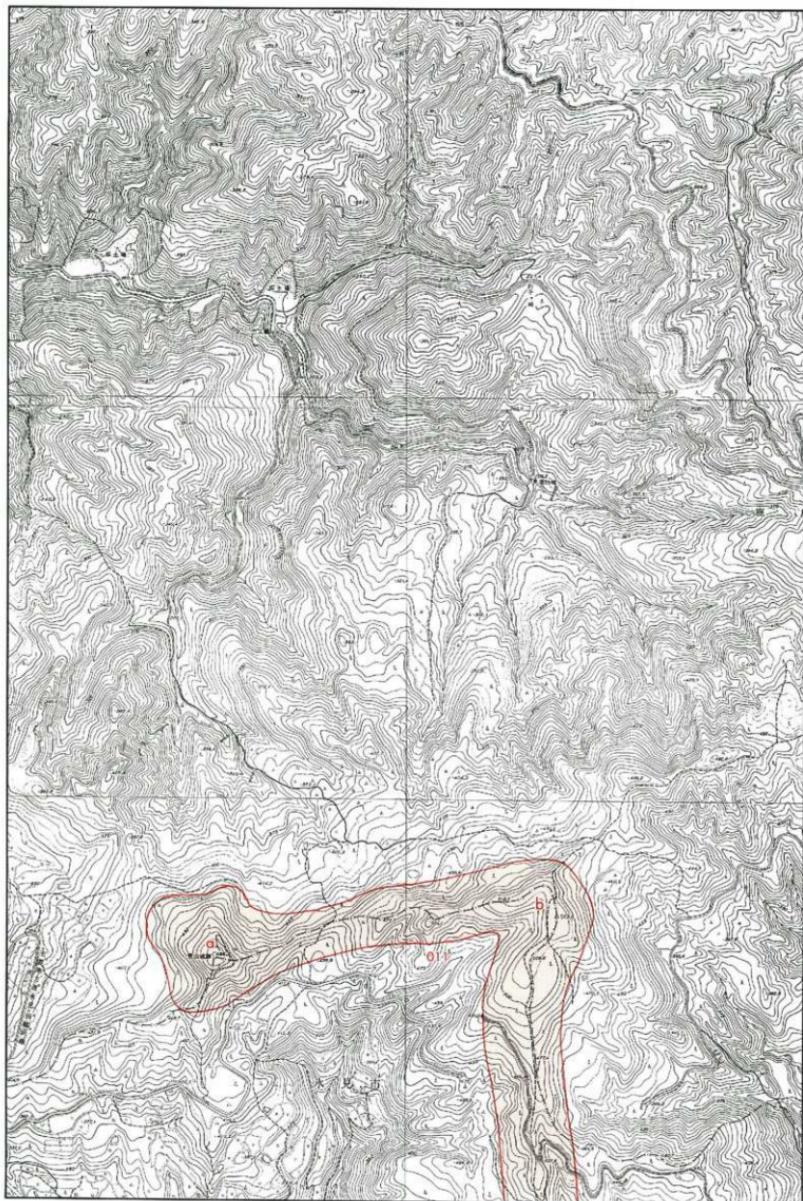
索引図



経緯度数値は世界測地系

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	





1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

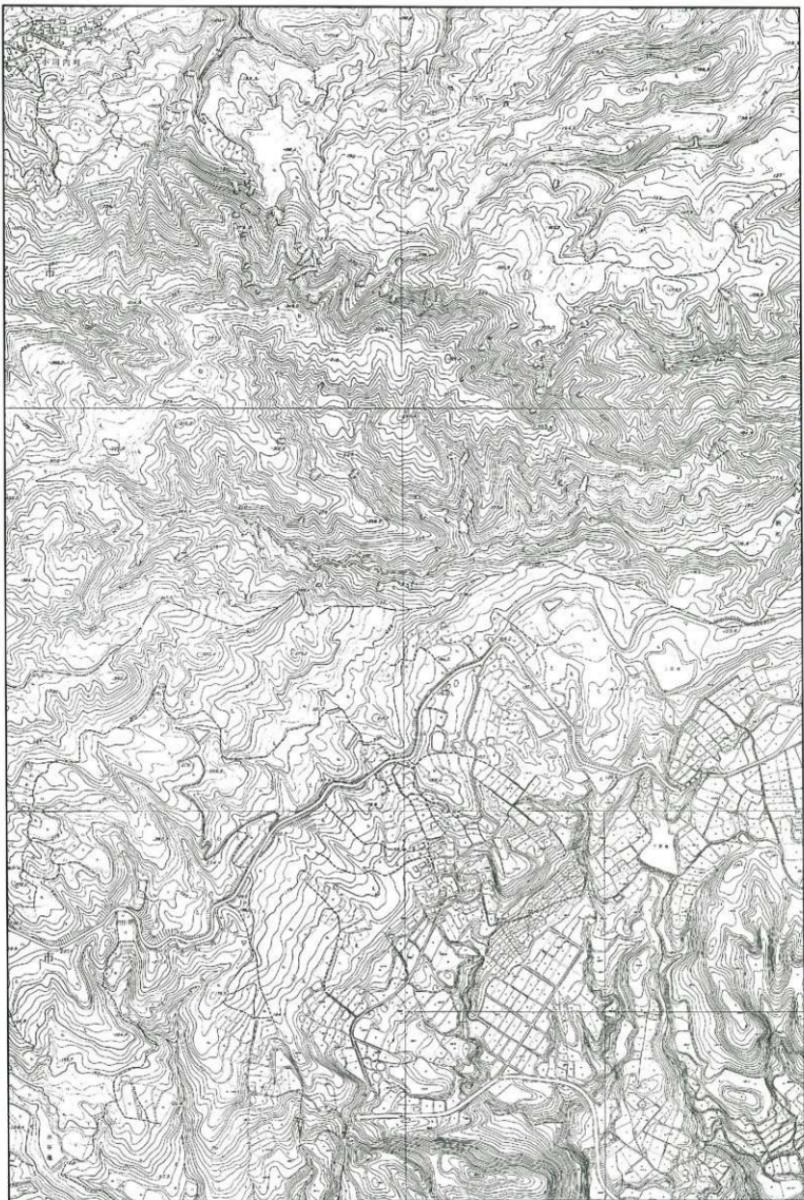
2

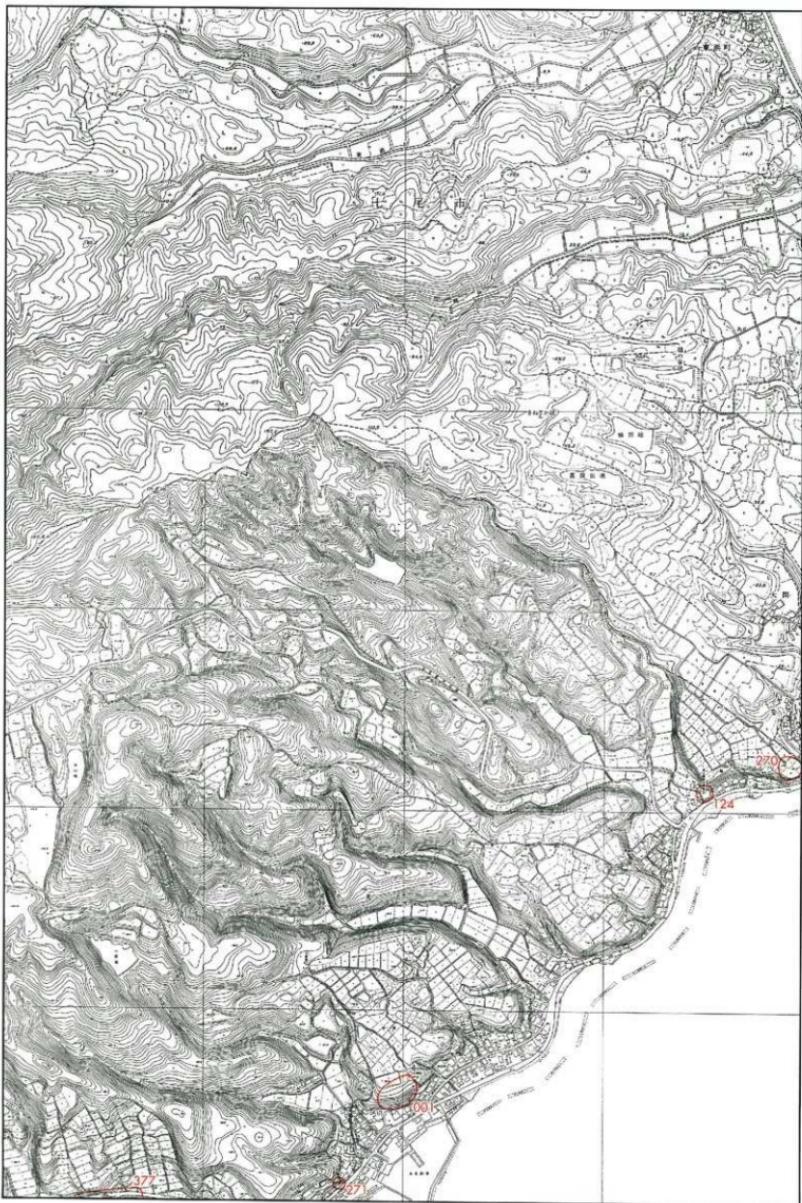




1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

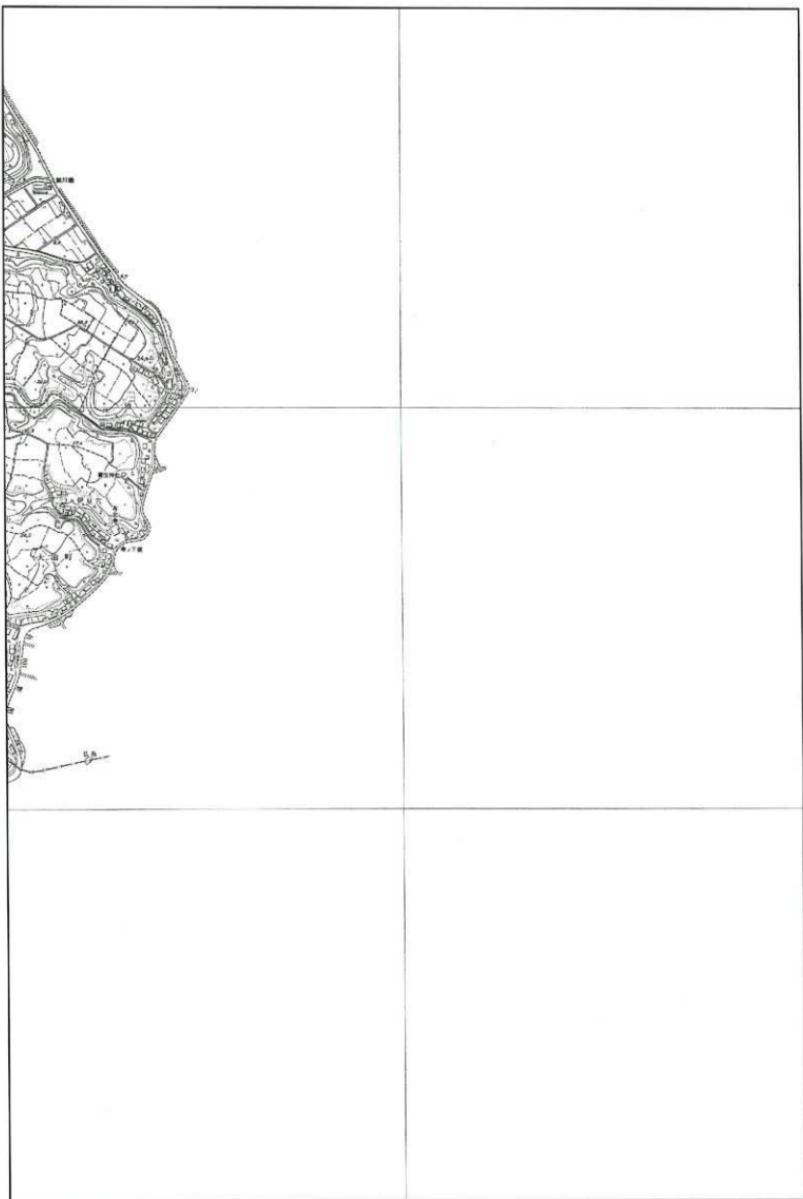
3





1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

4

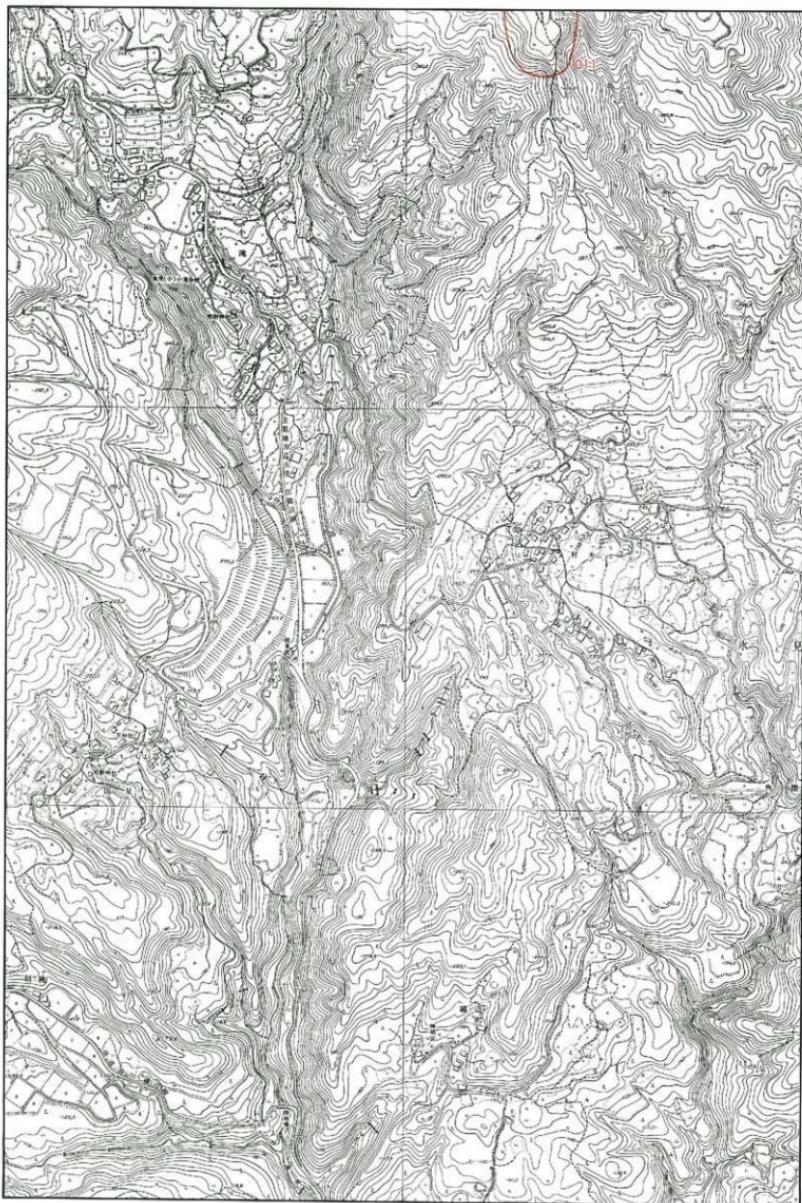




1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

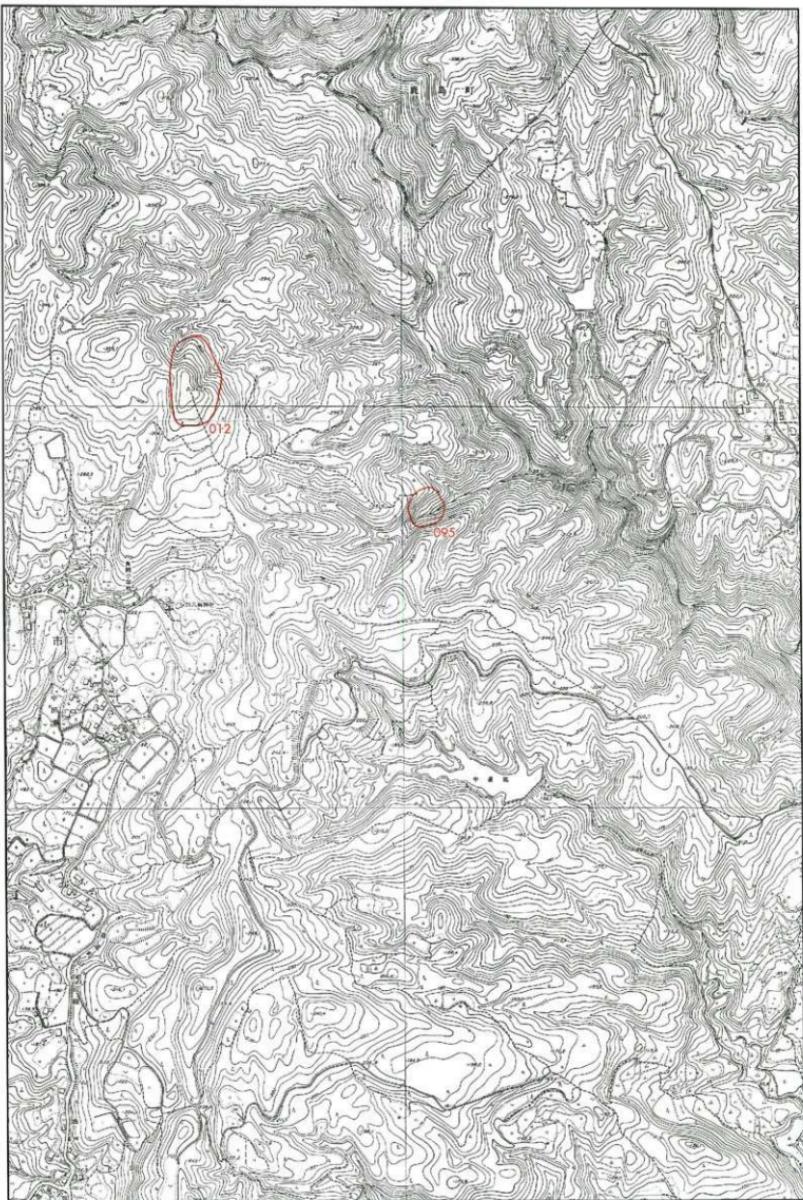
5

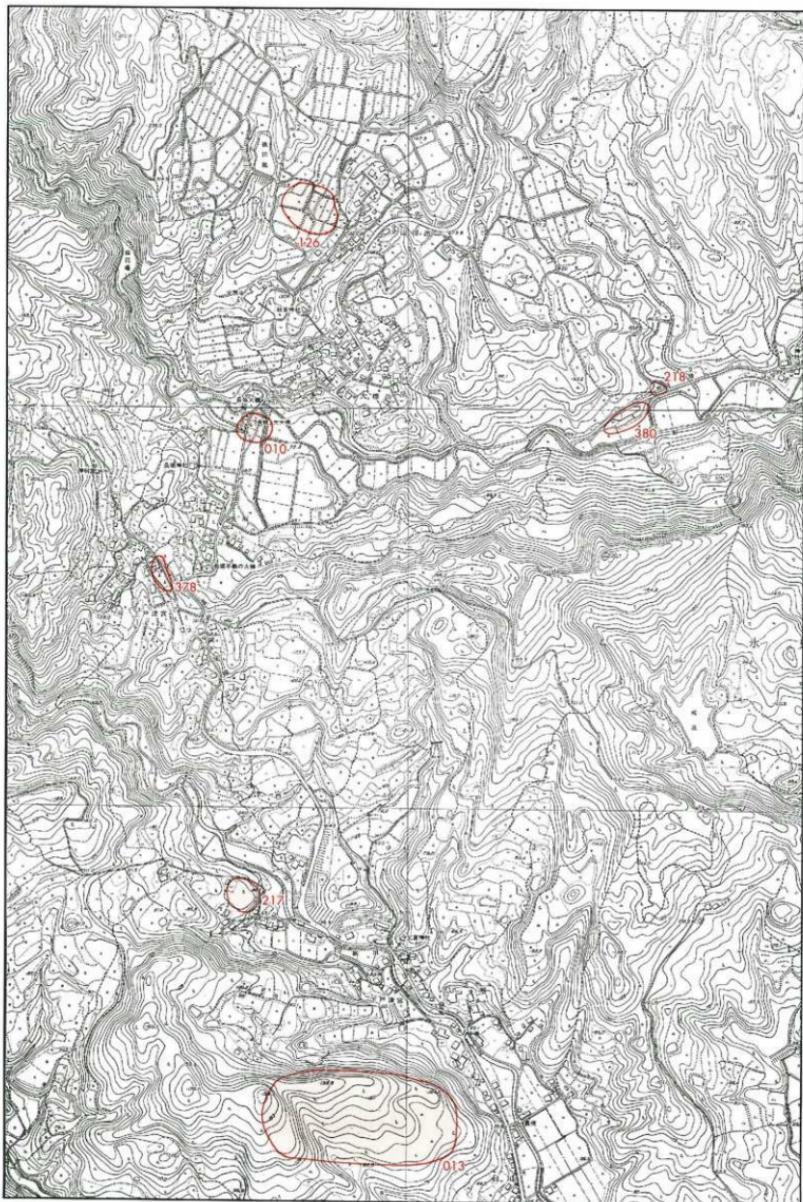




1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

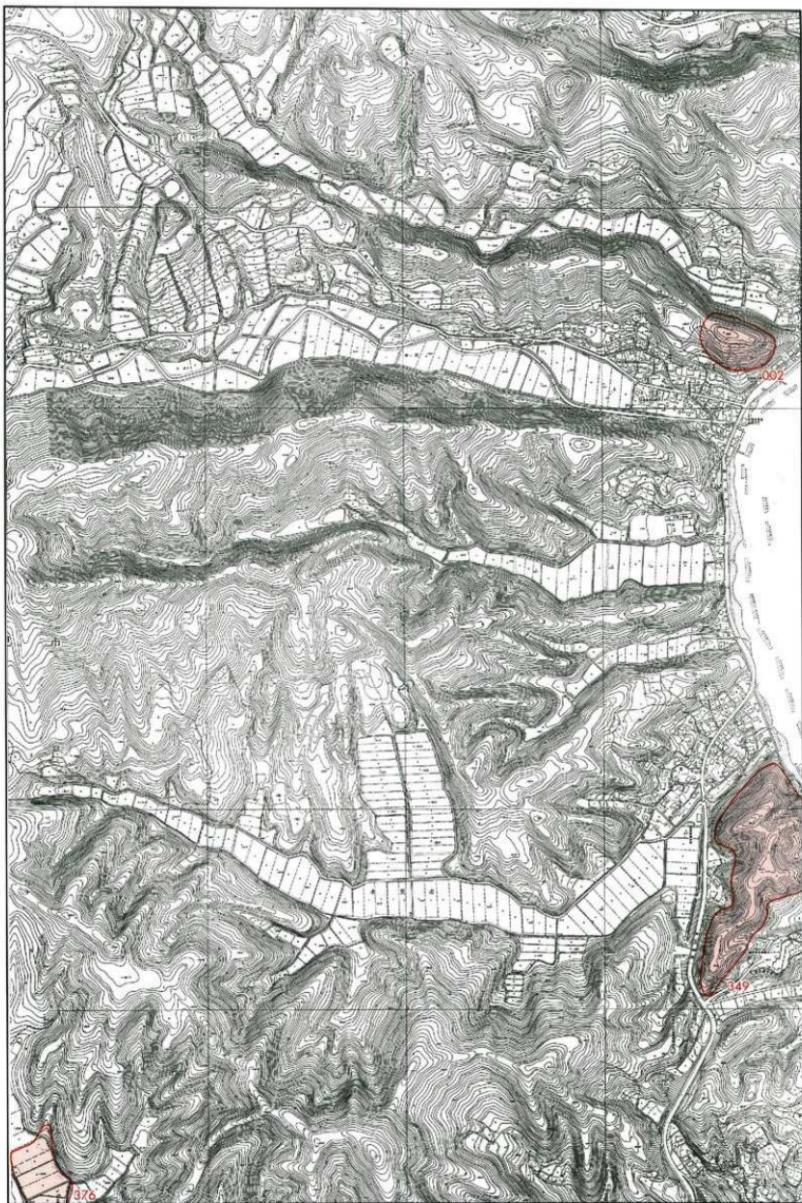
6





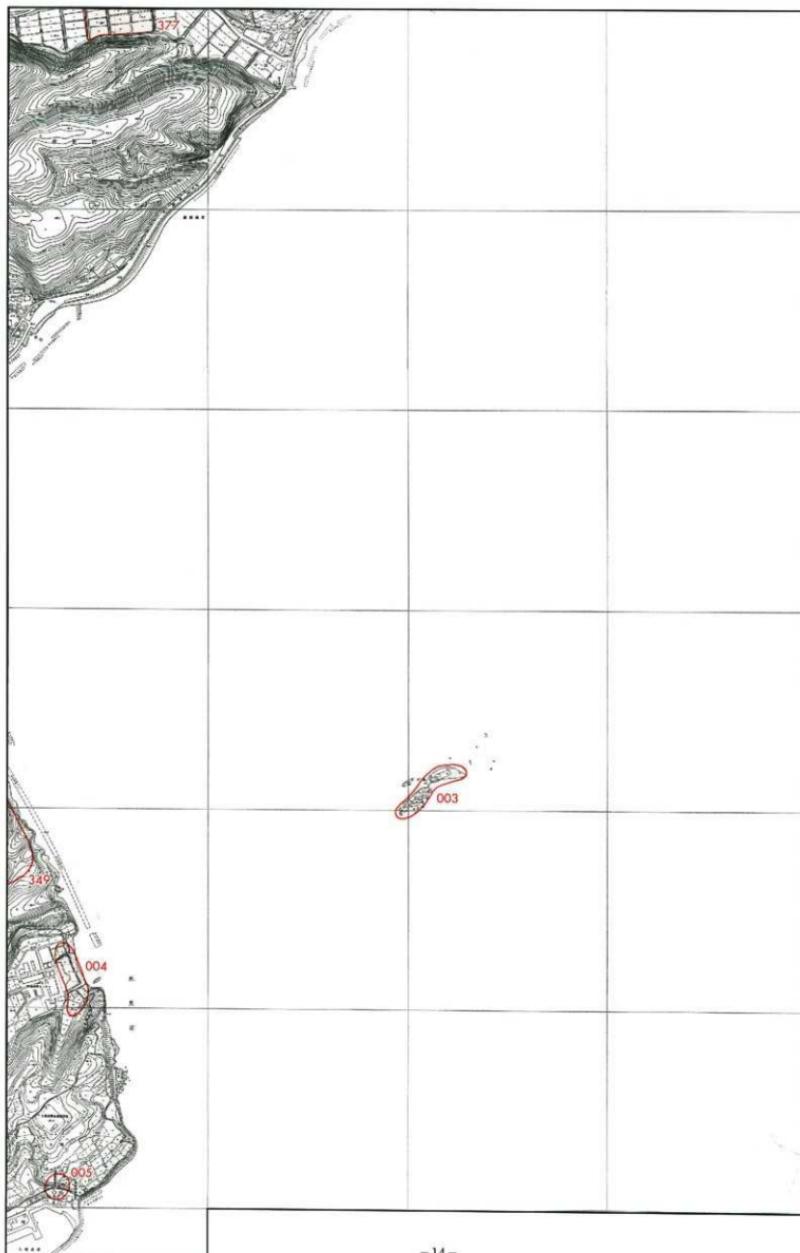
1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

7



1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

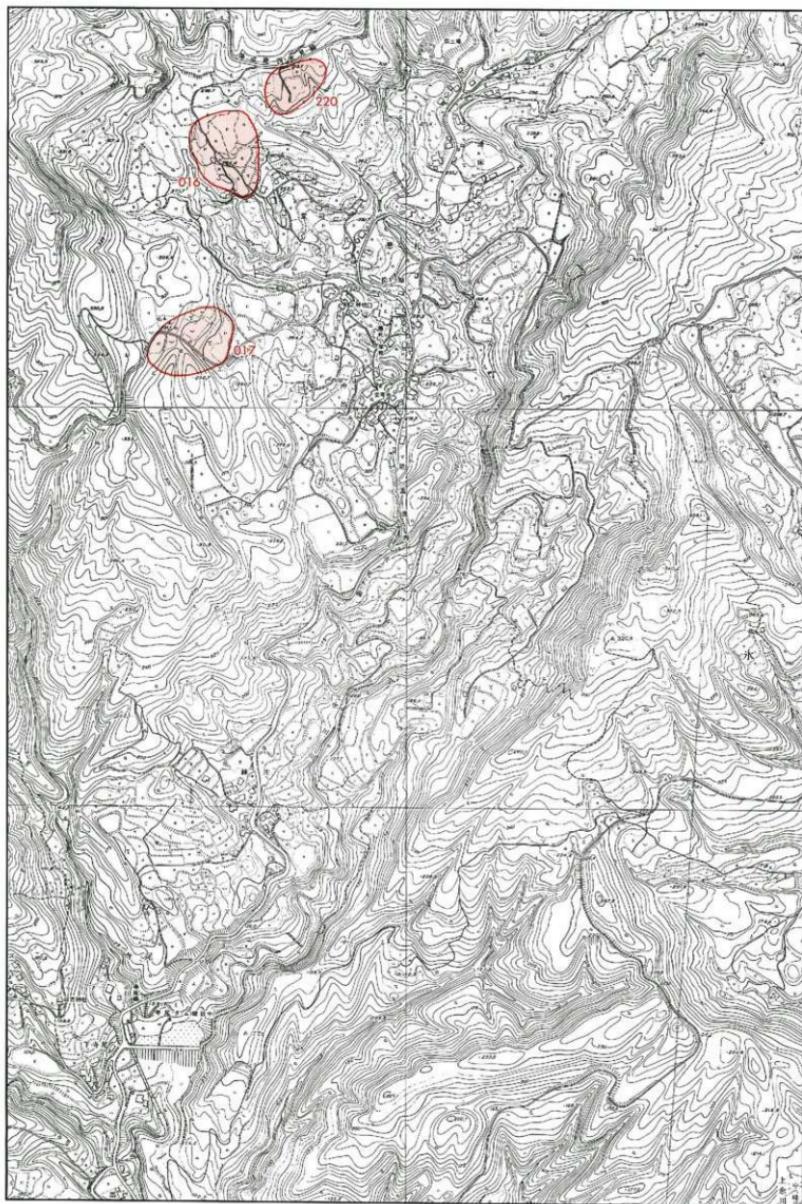
8



1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

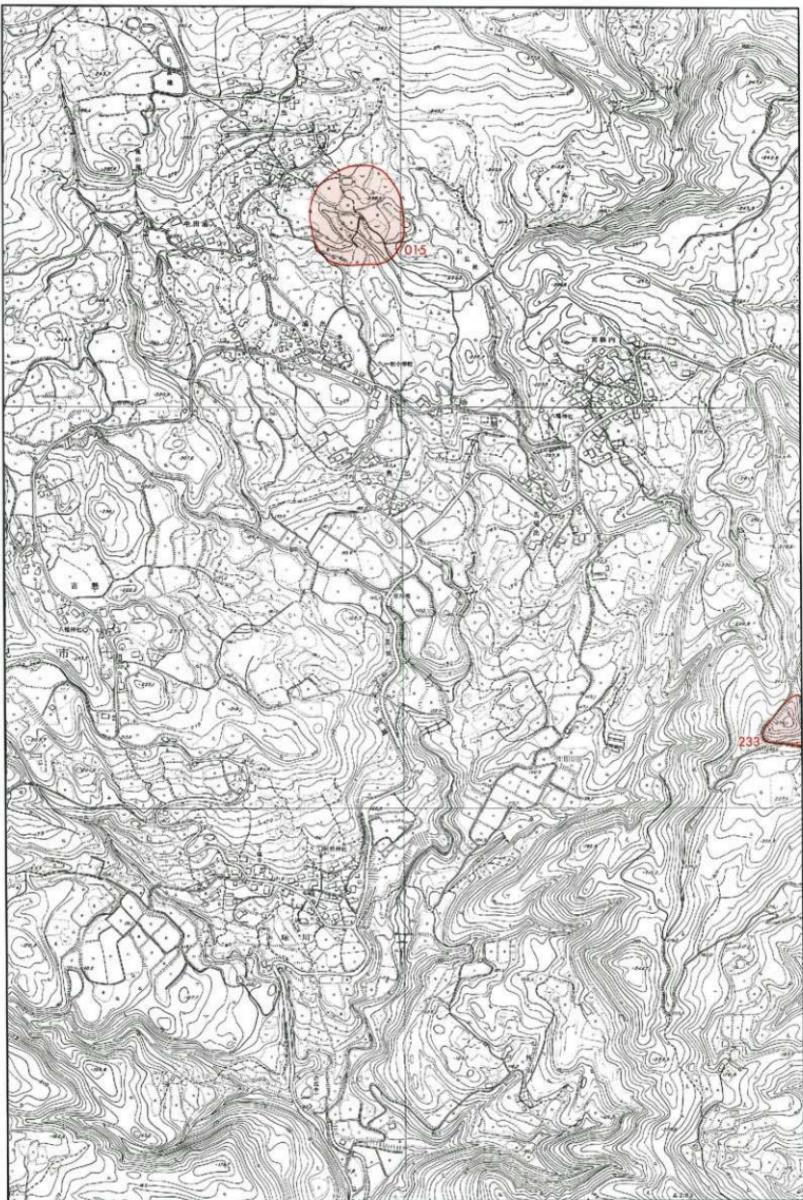
9

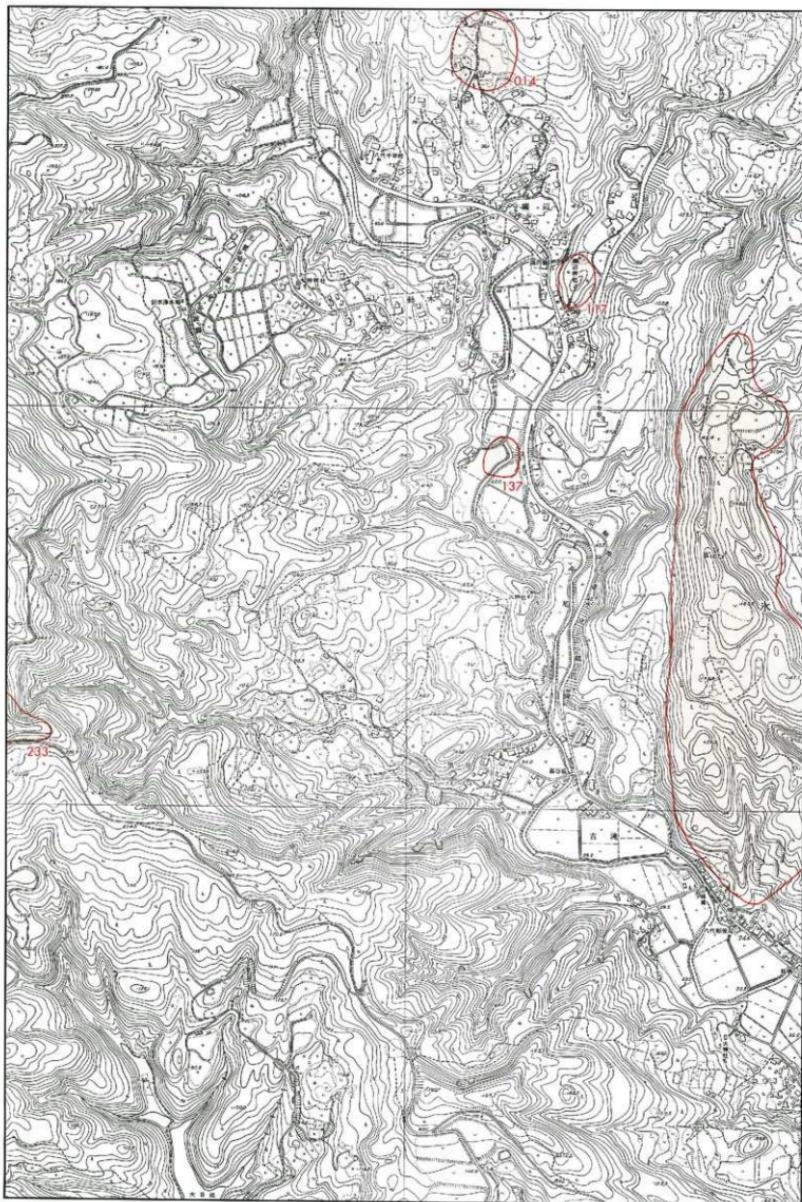




1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

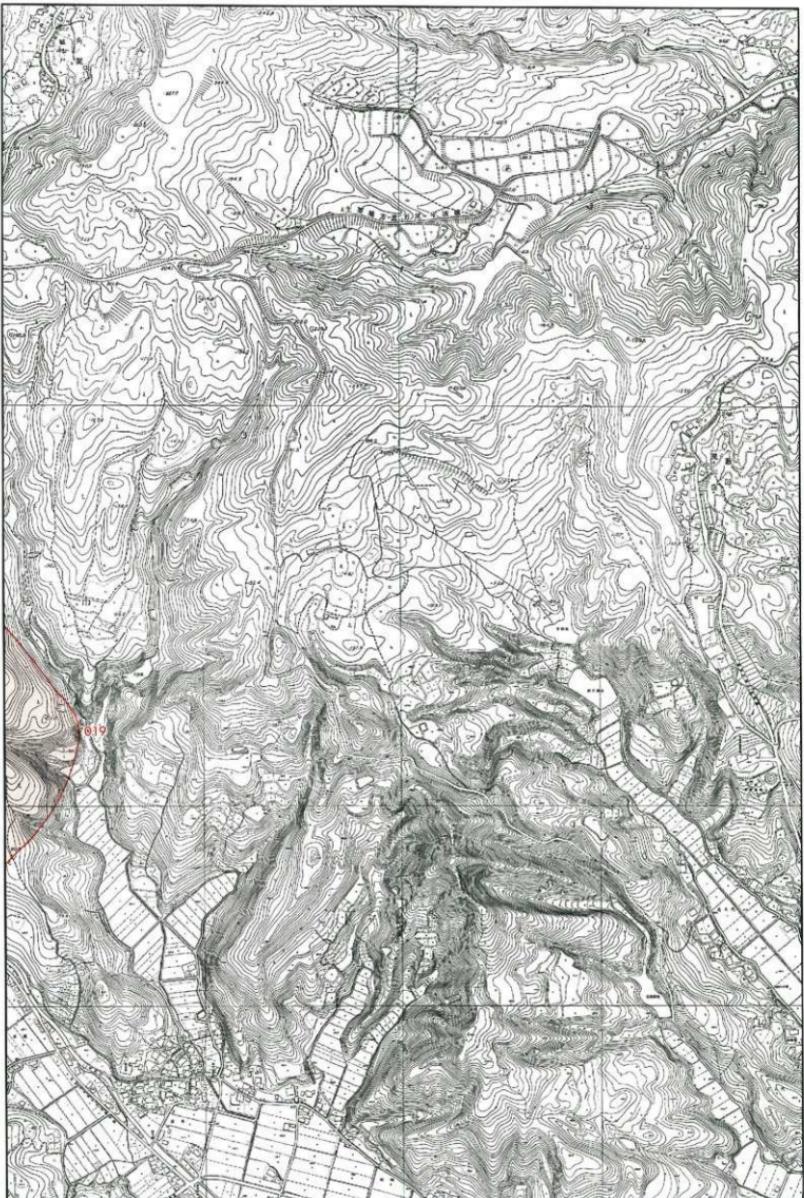
10

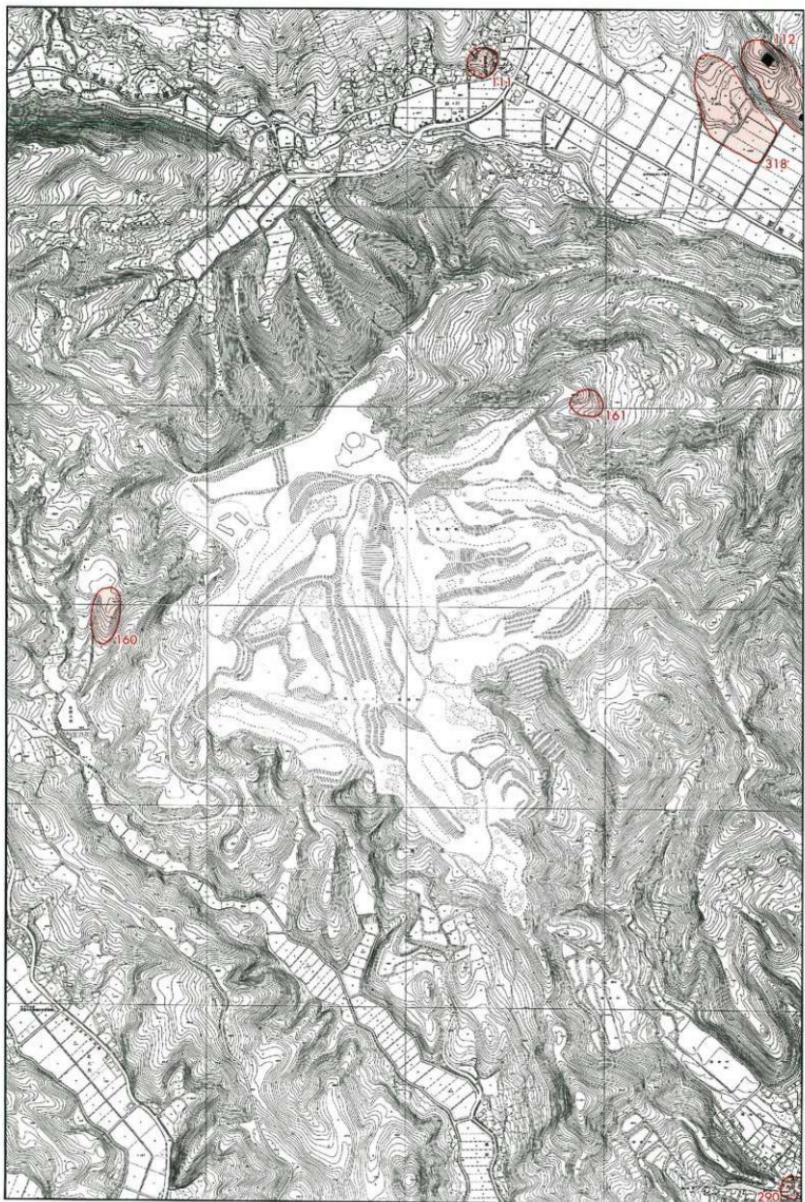




1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

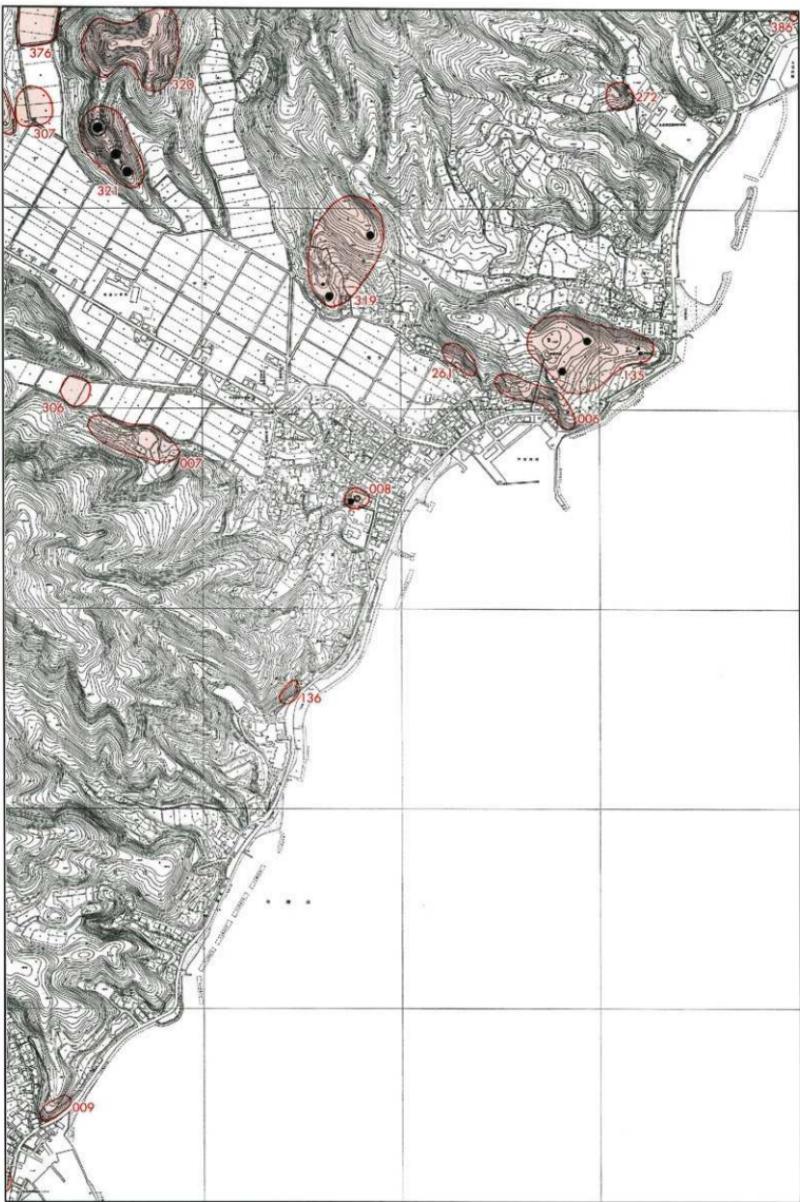
11

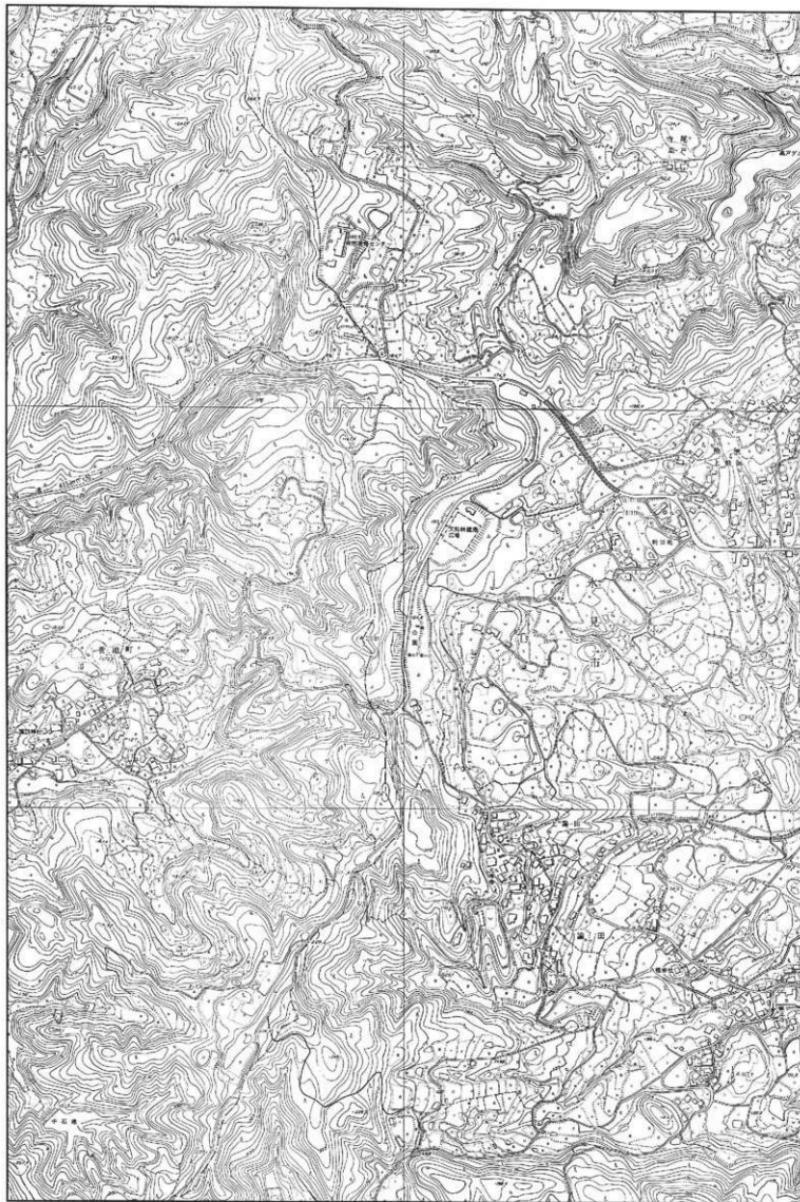




1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

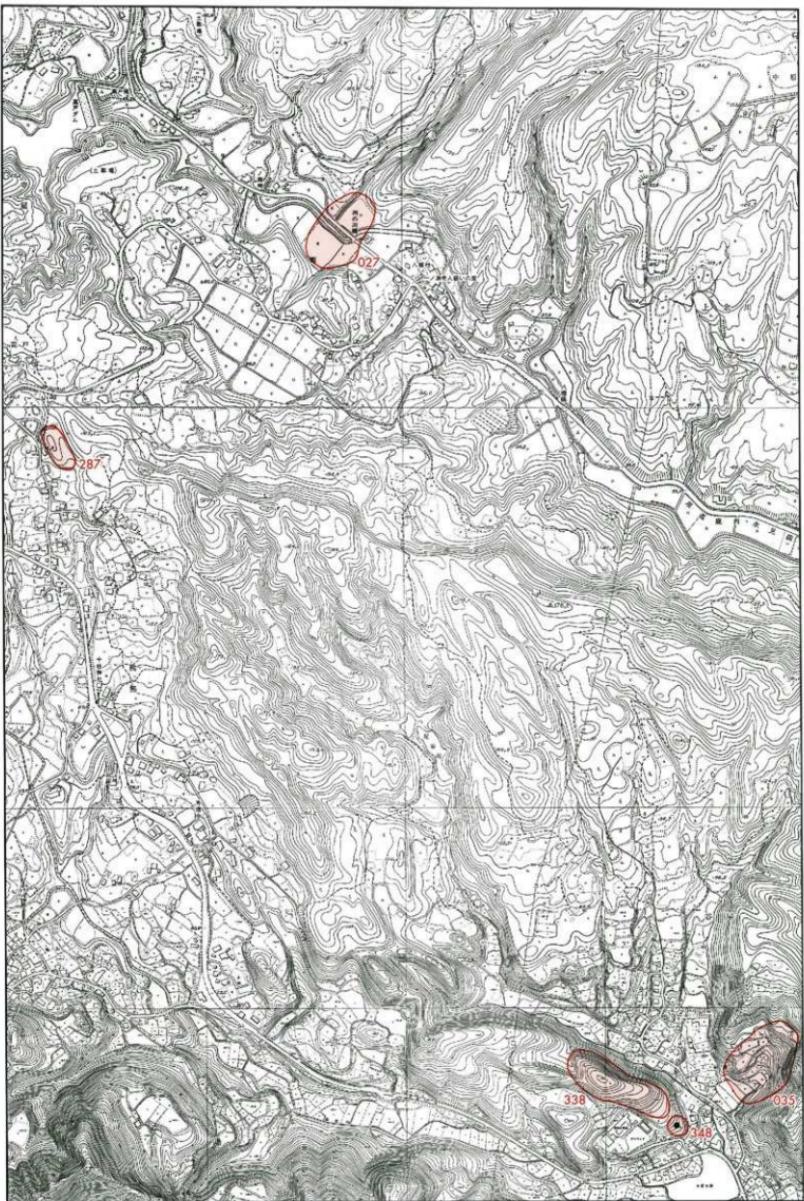
12

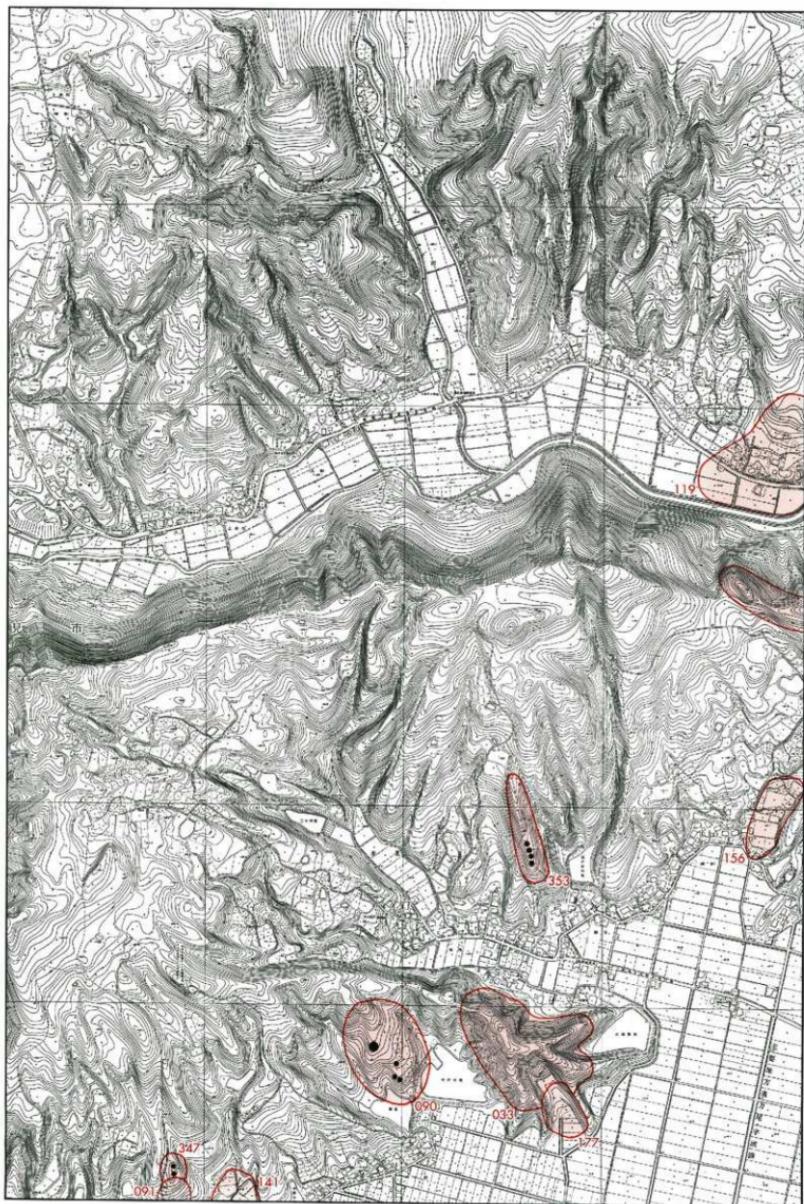




1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

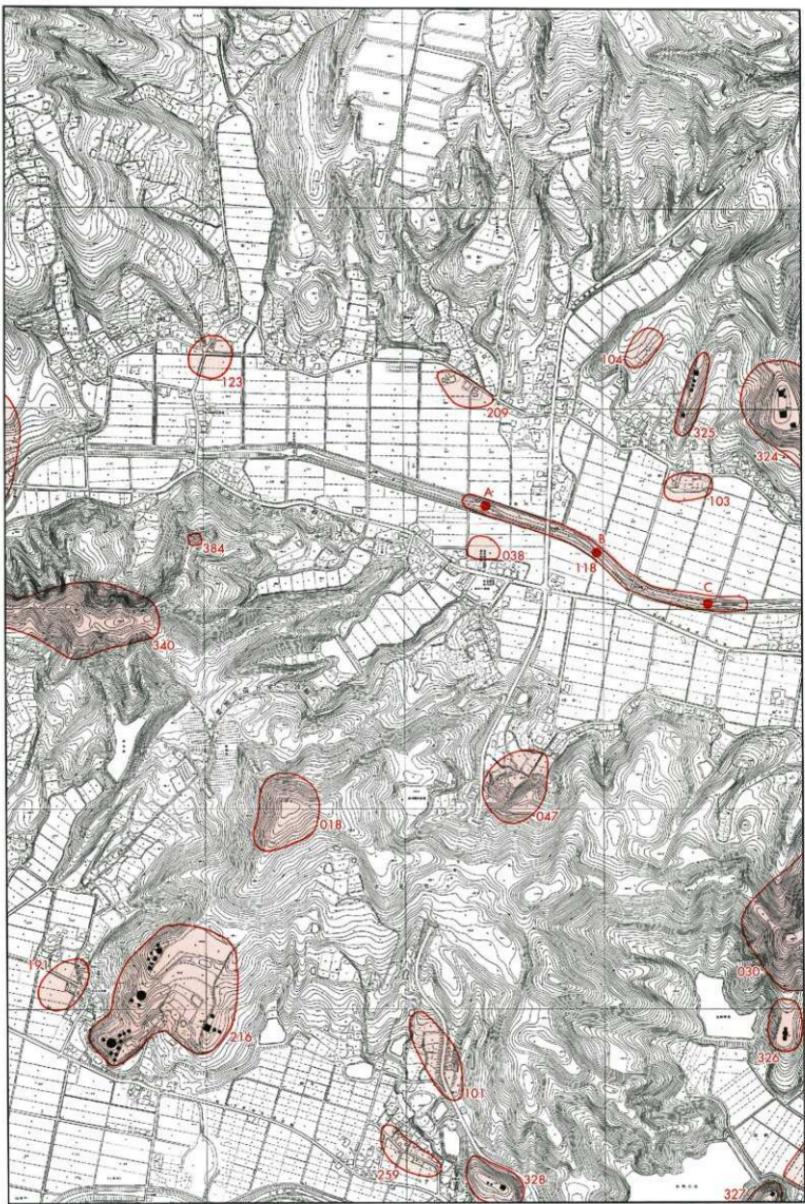
13





1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

14

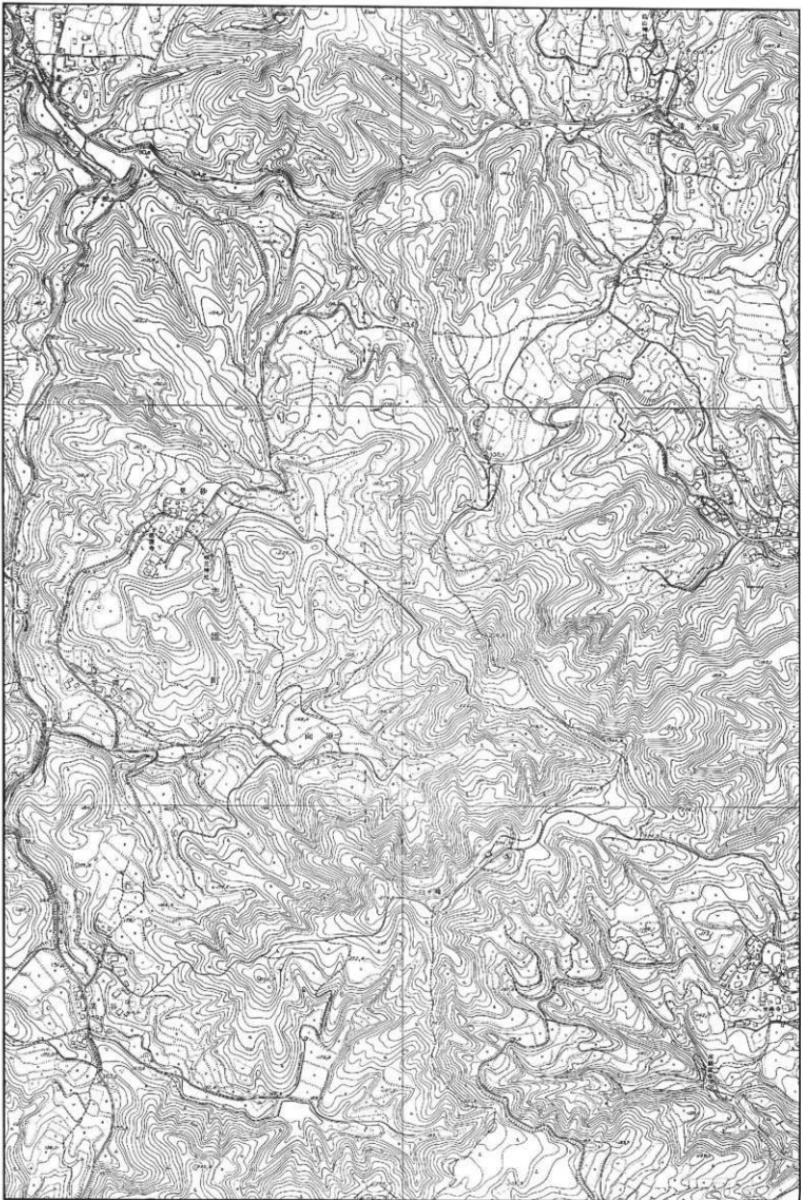




1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

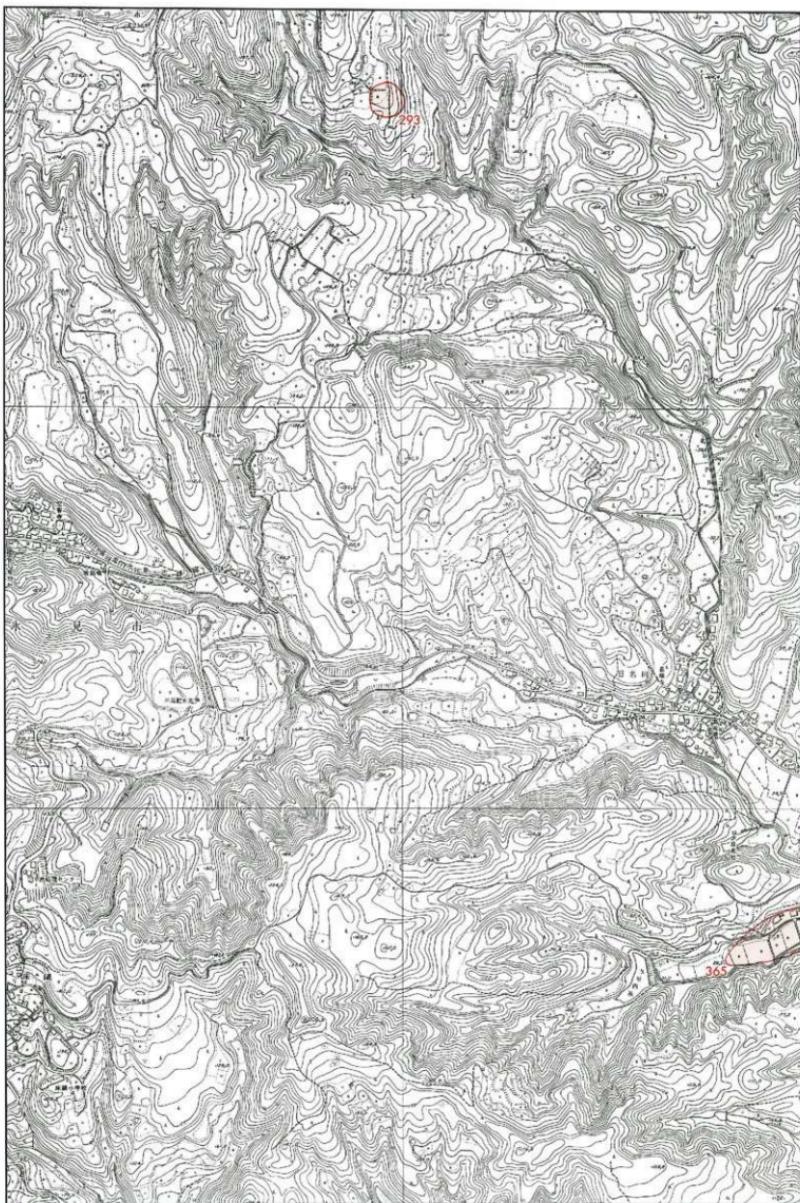
15

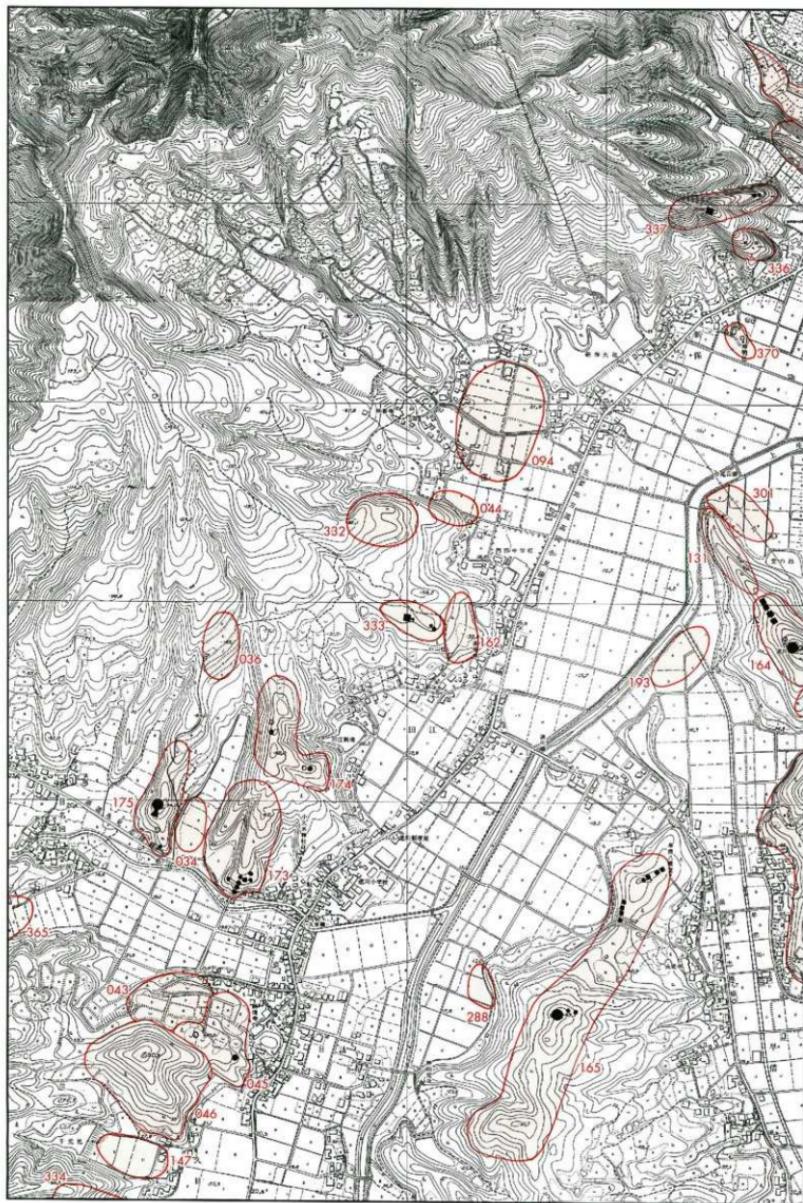




1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

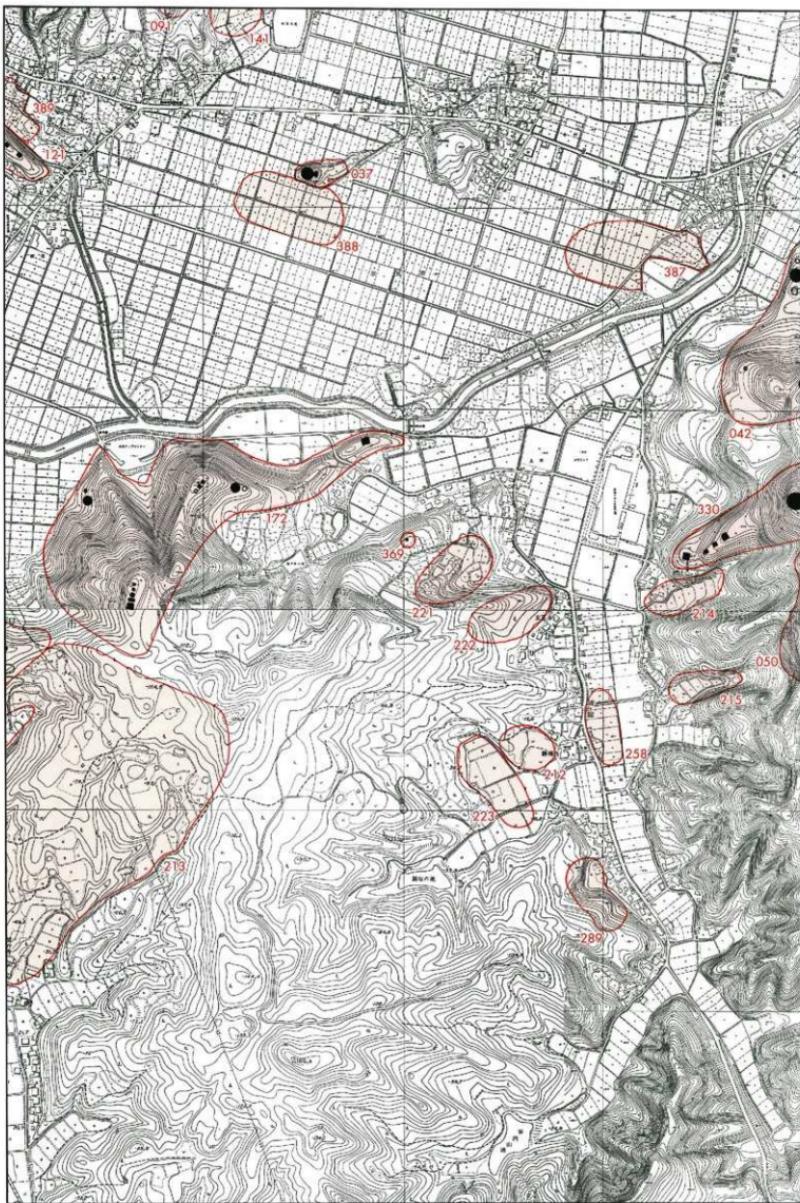
16

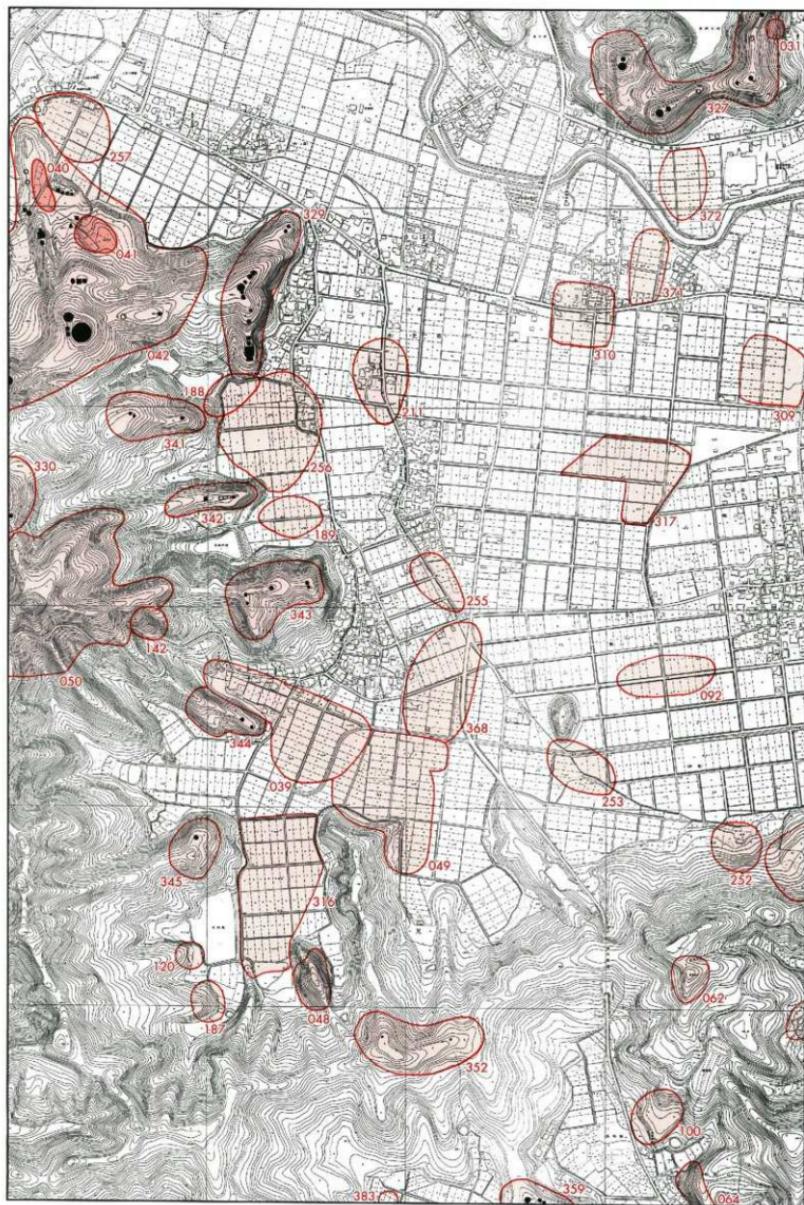




1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

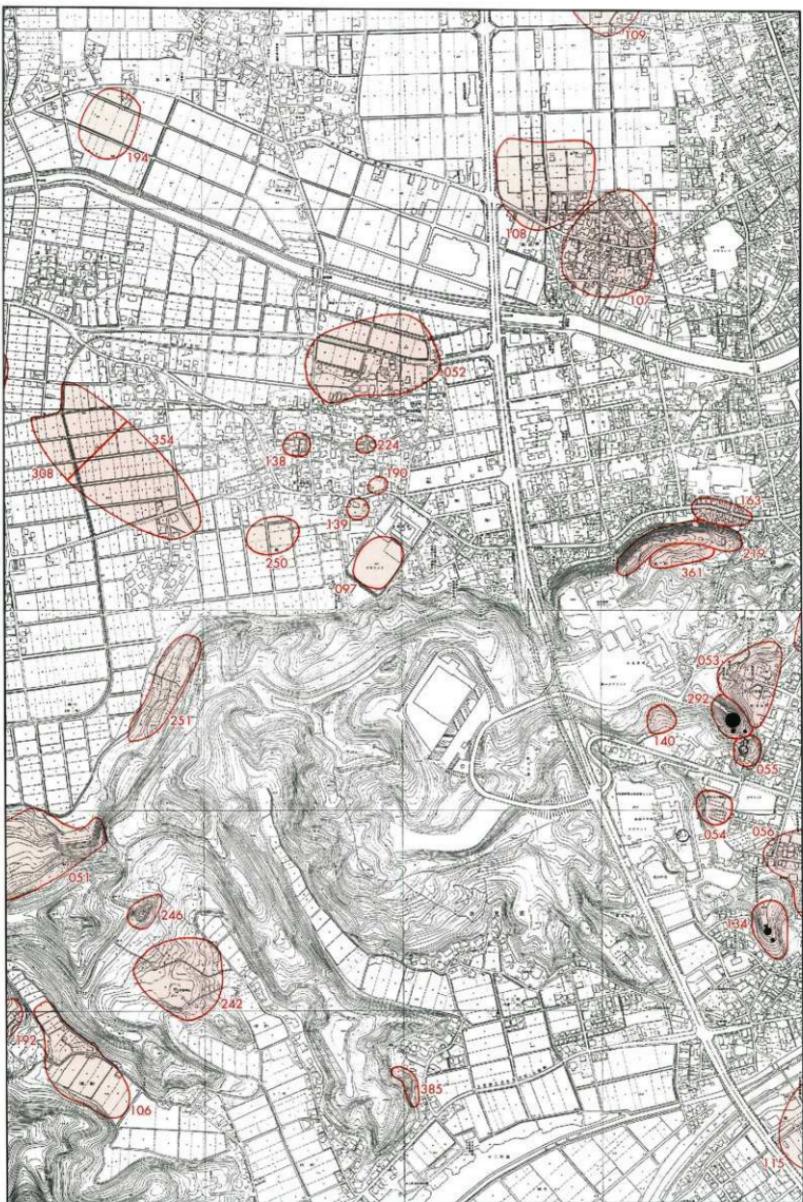
17

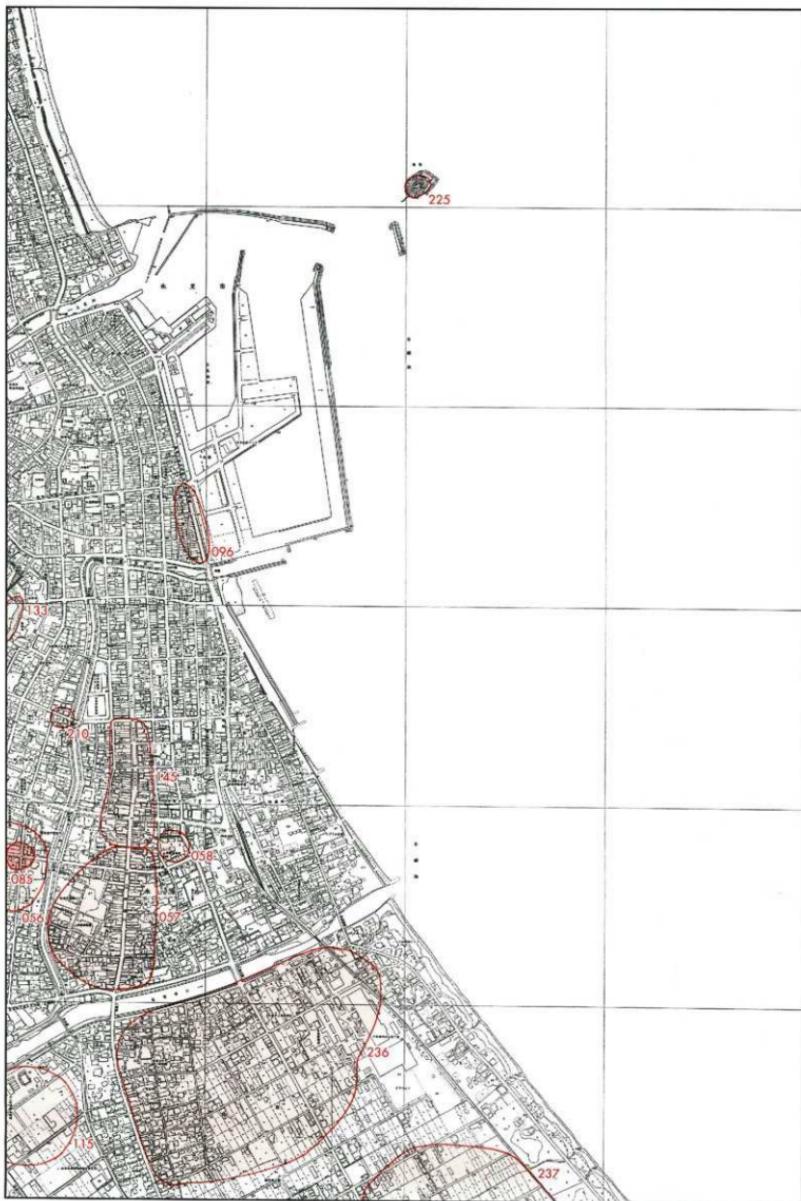




1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

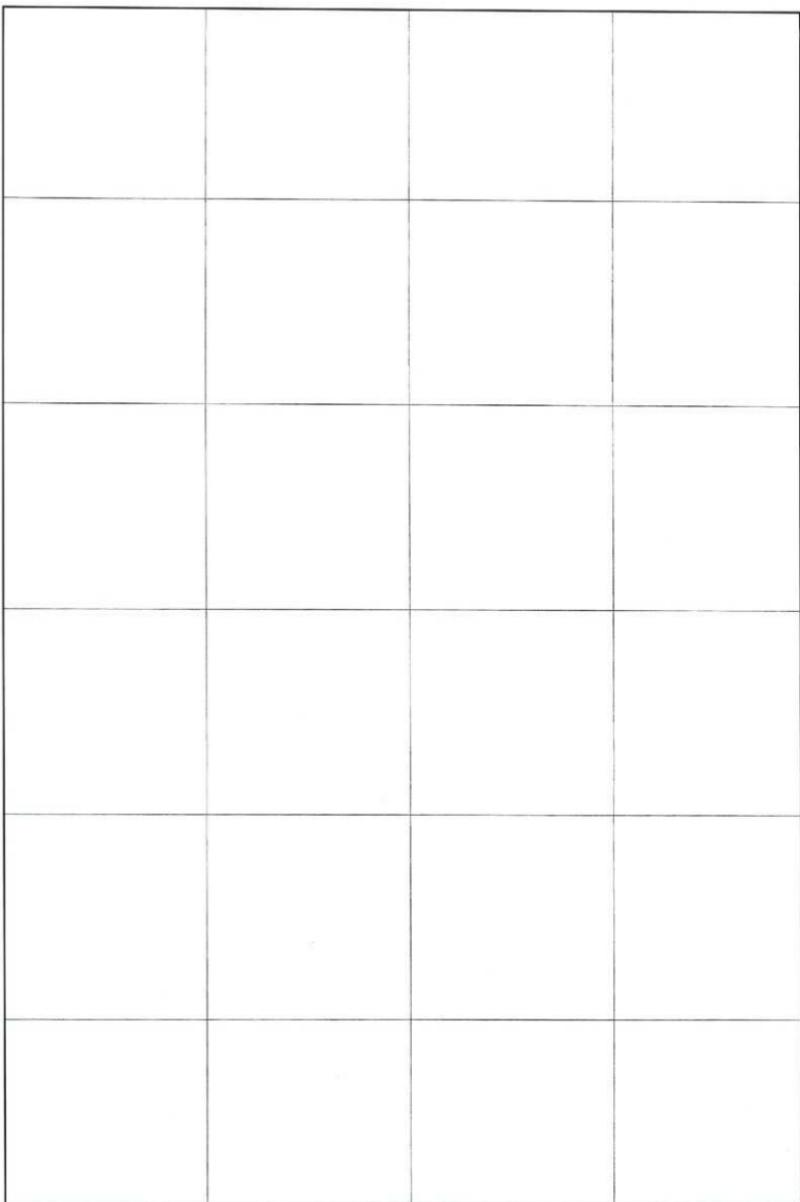
18

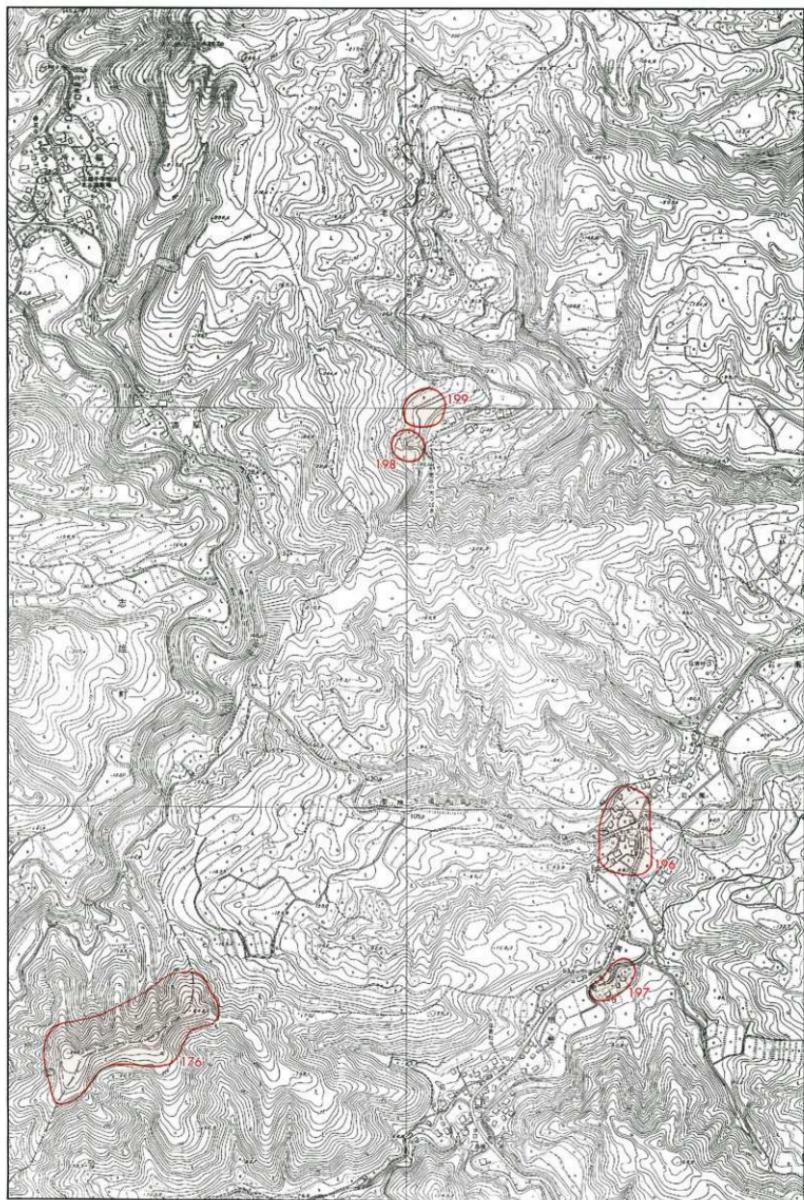




1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

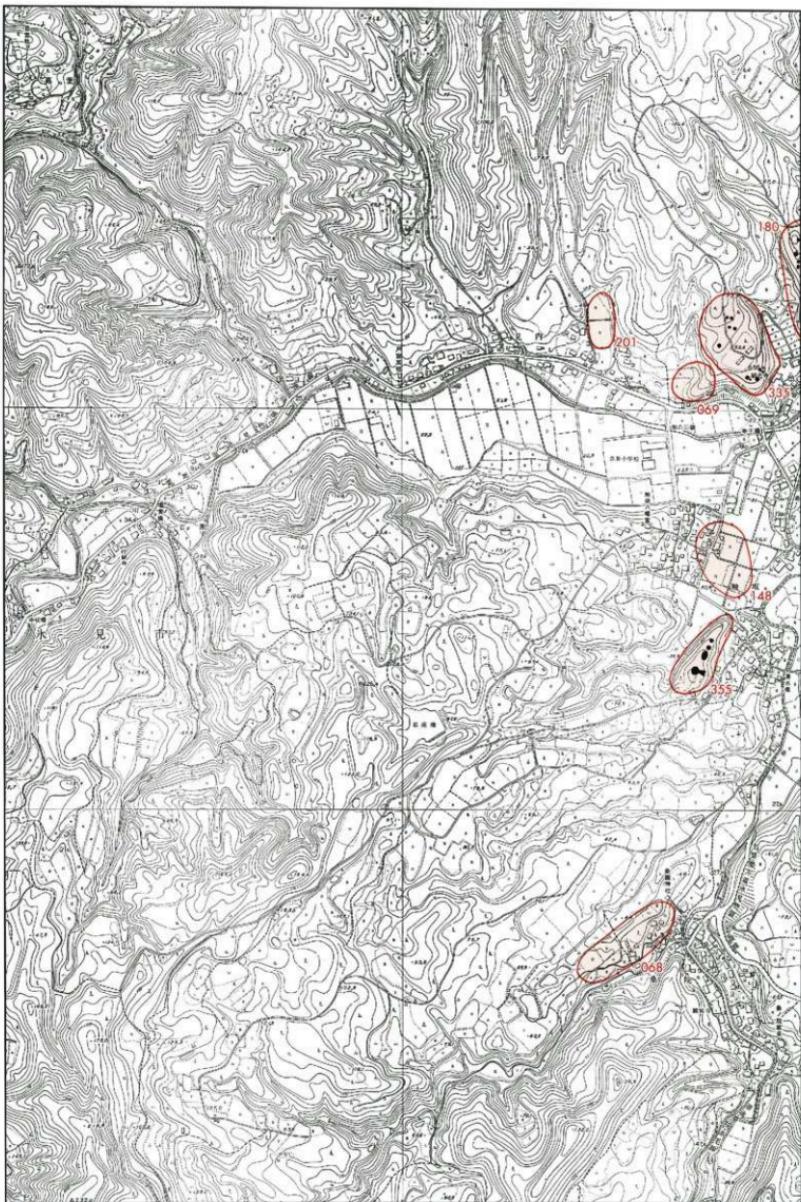
19

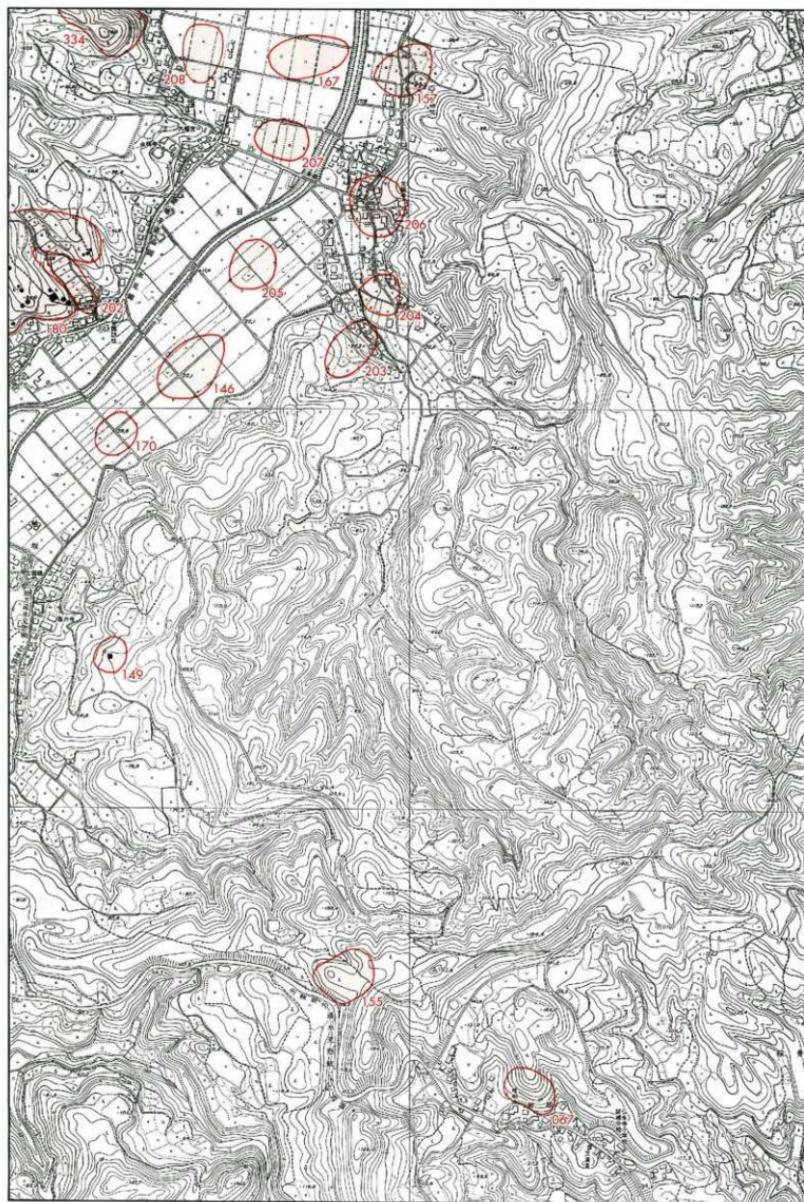




1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

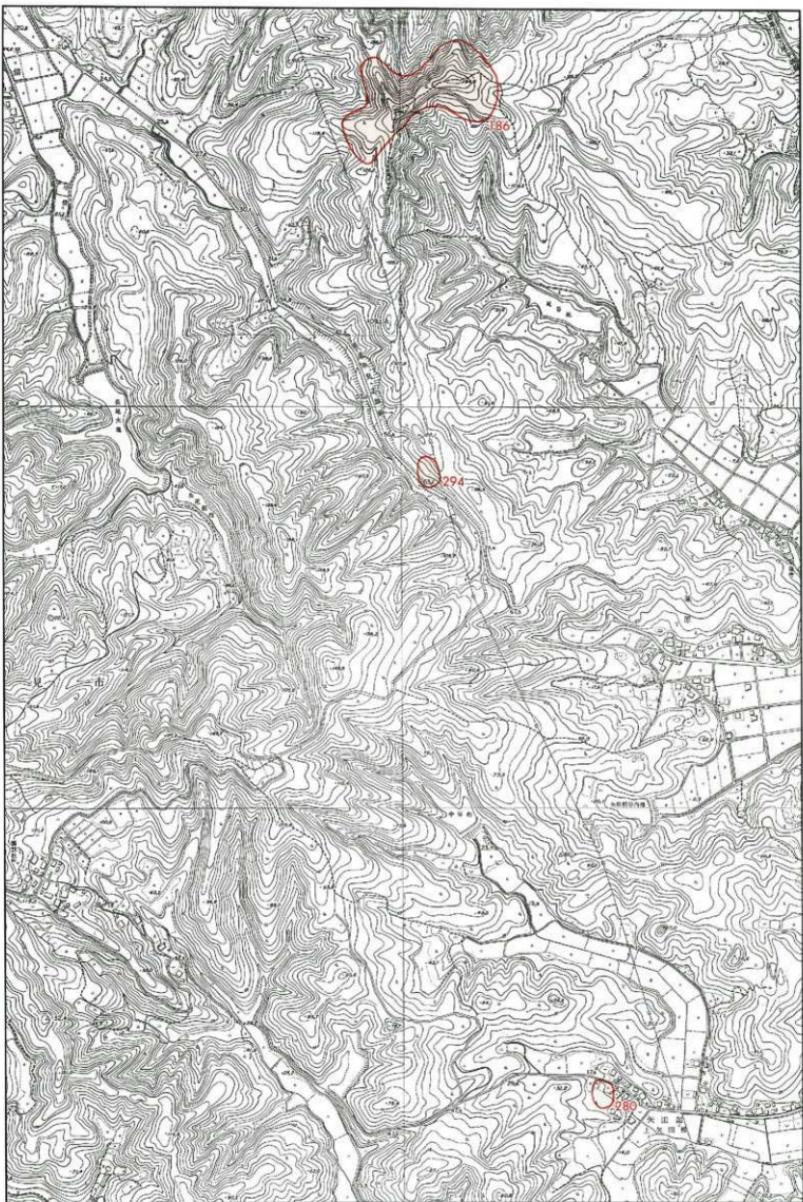
20

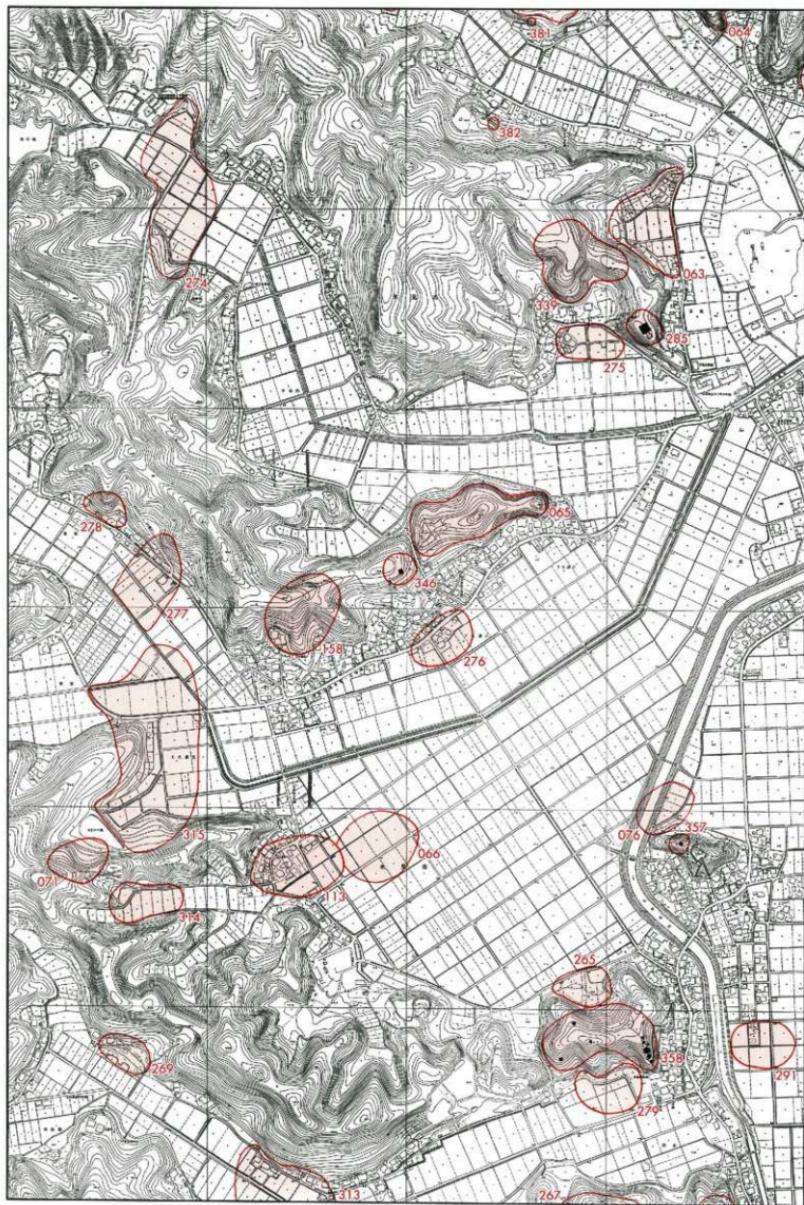




1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

21

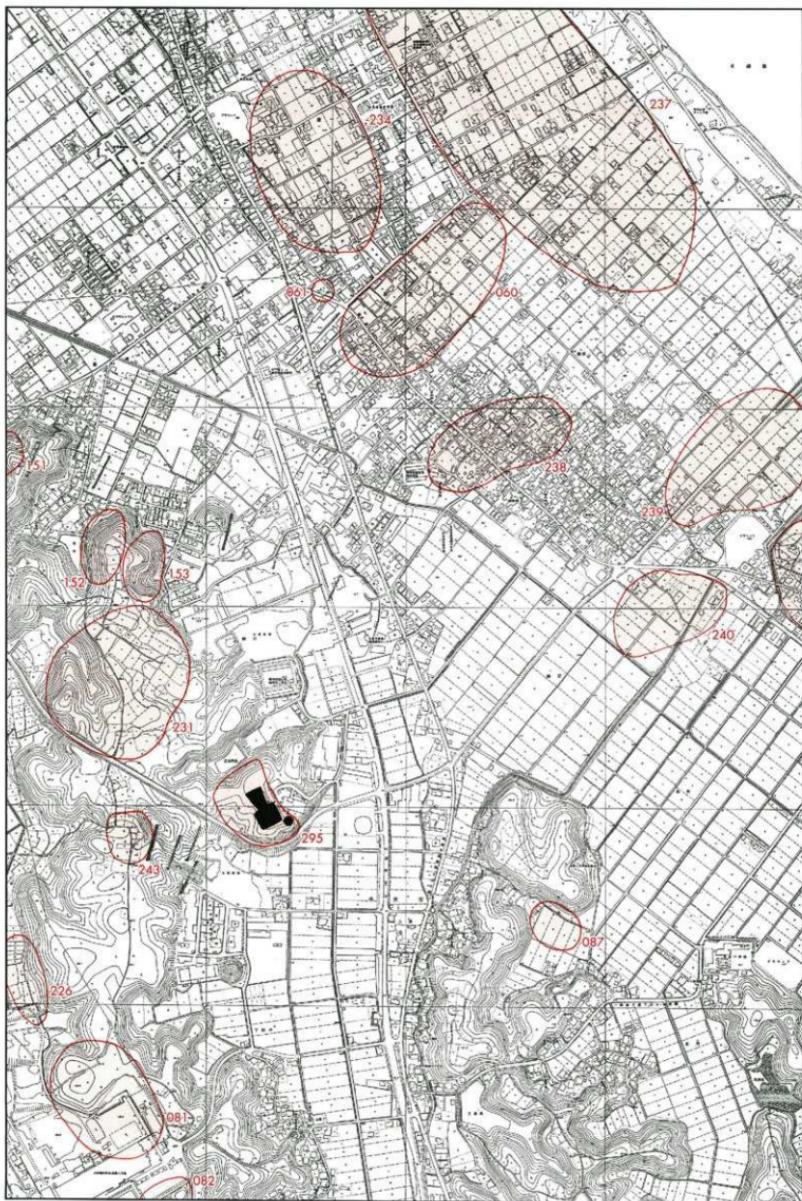




1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

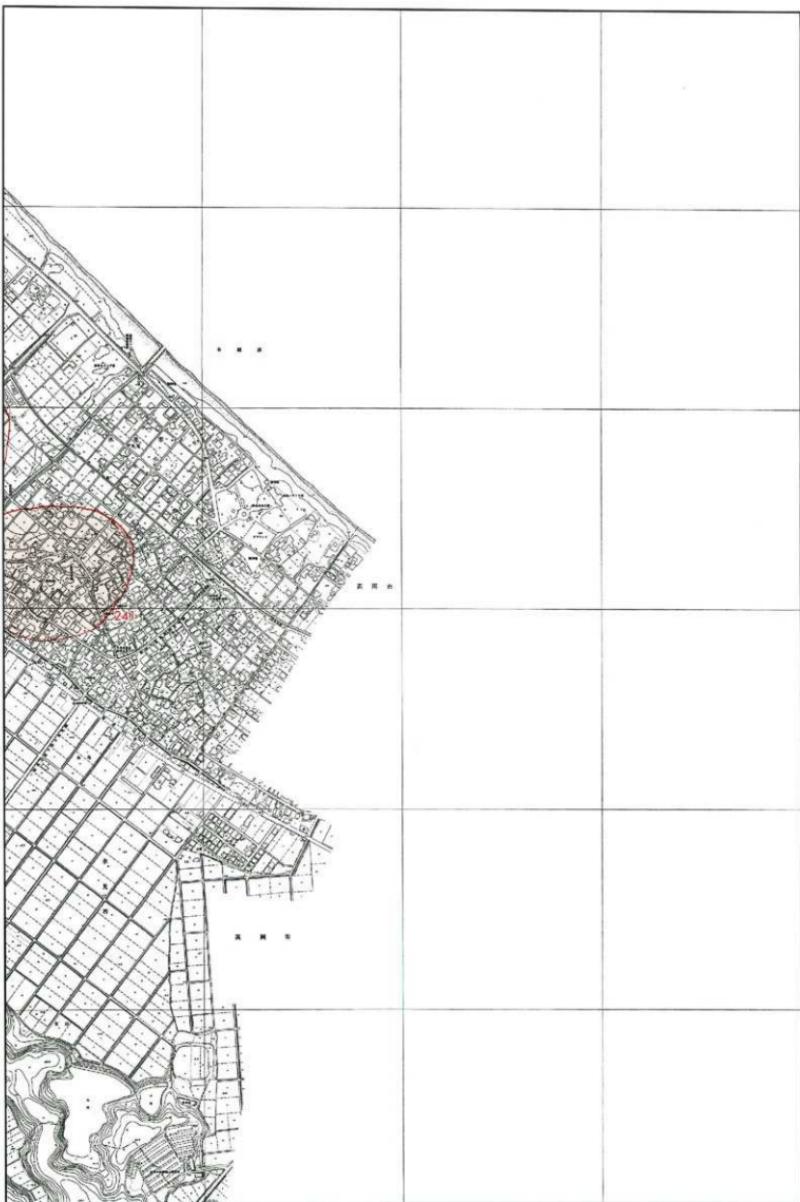
22

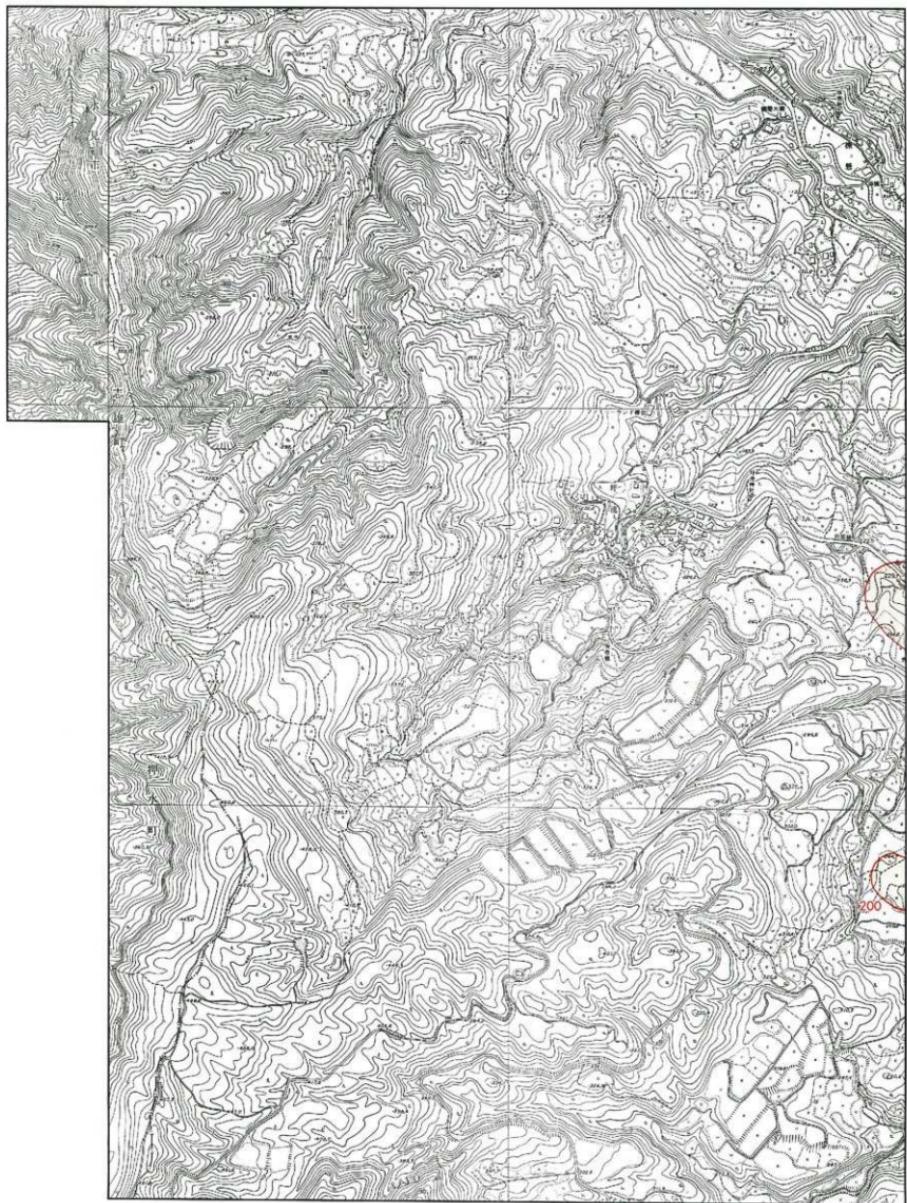




1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

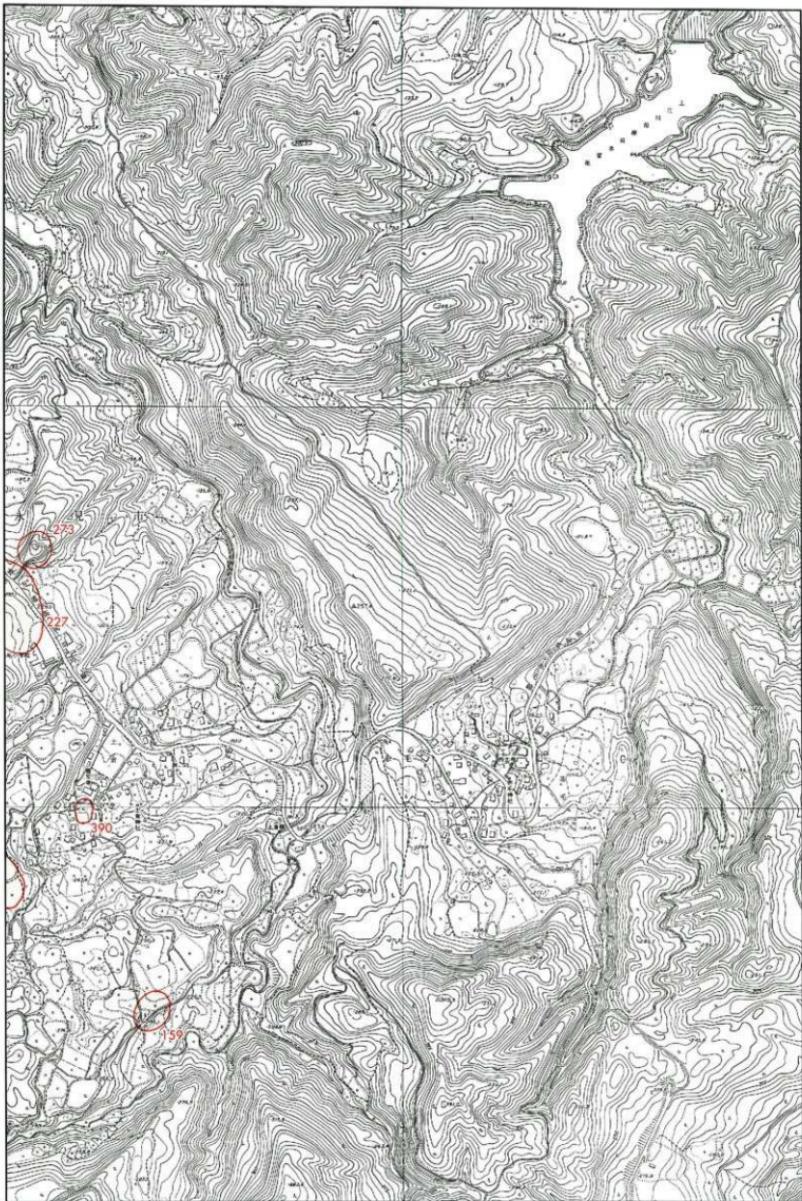
23

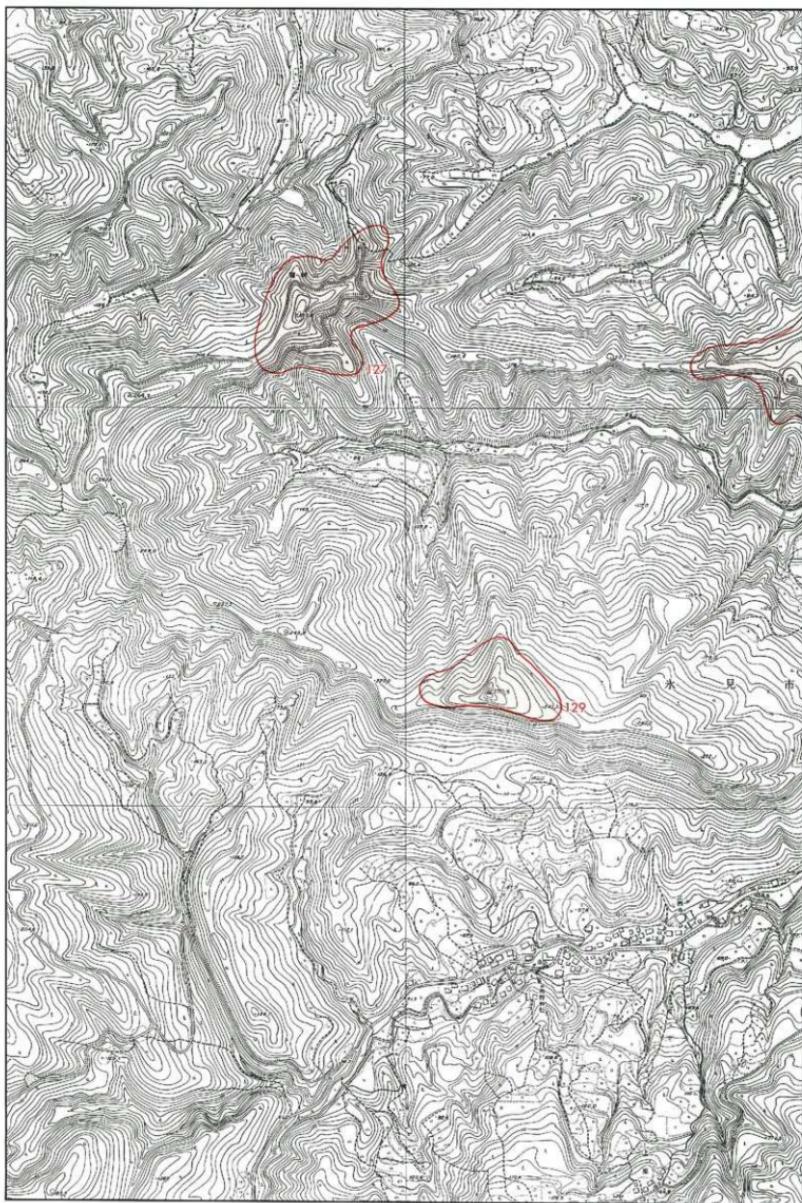




1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

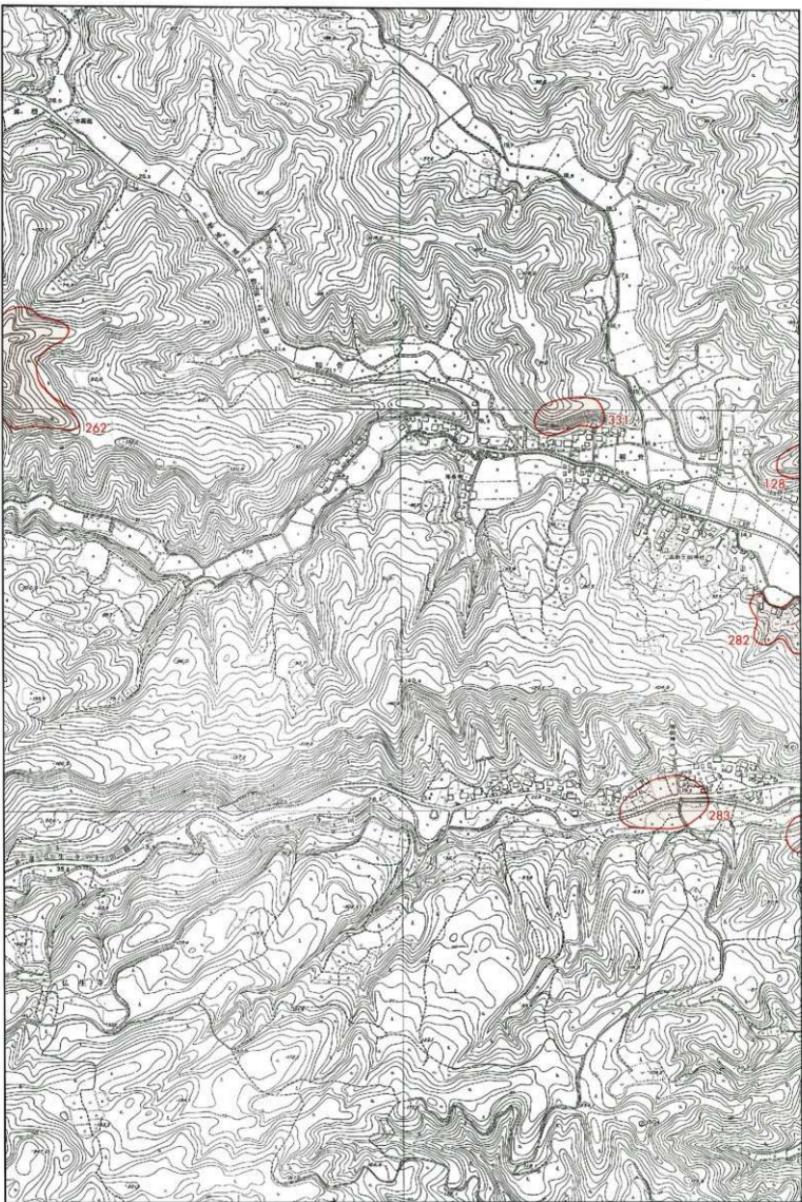
24

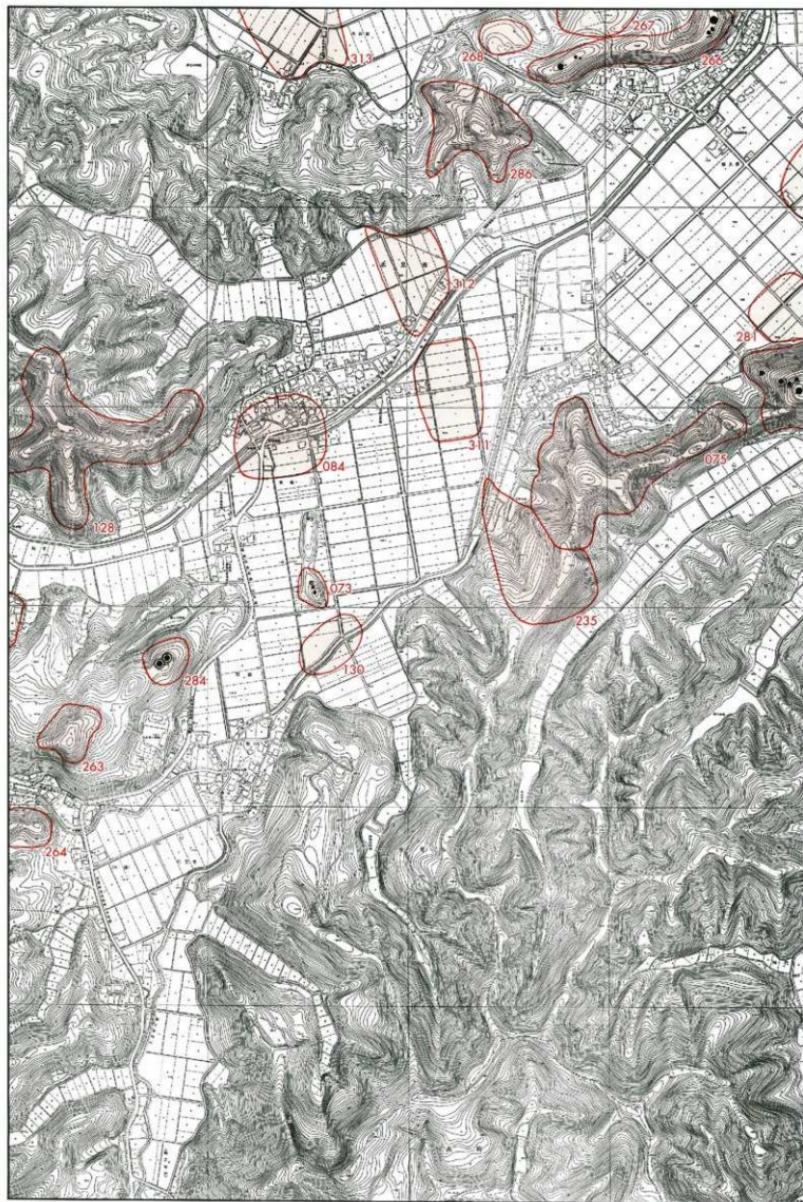




1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

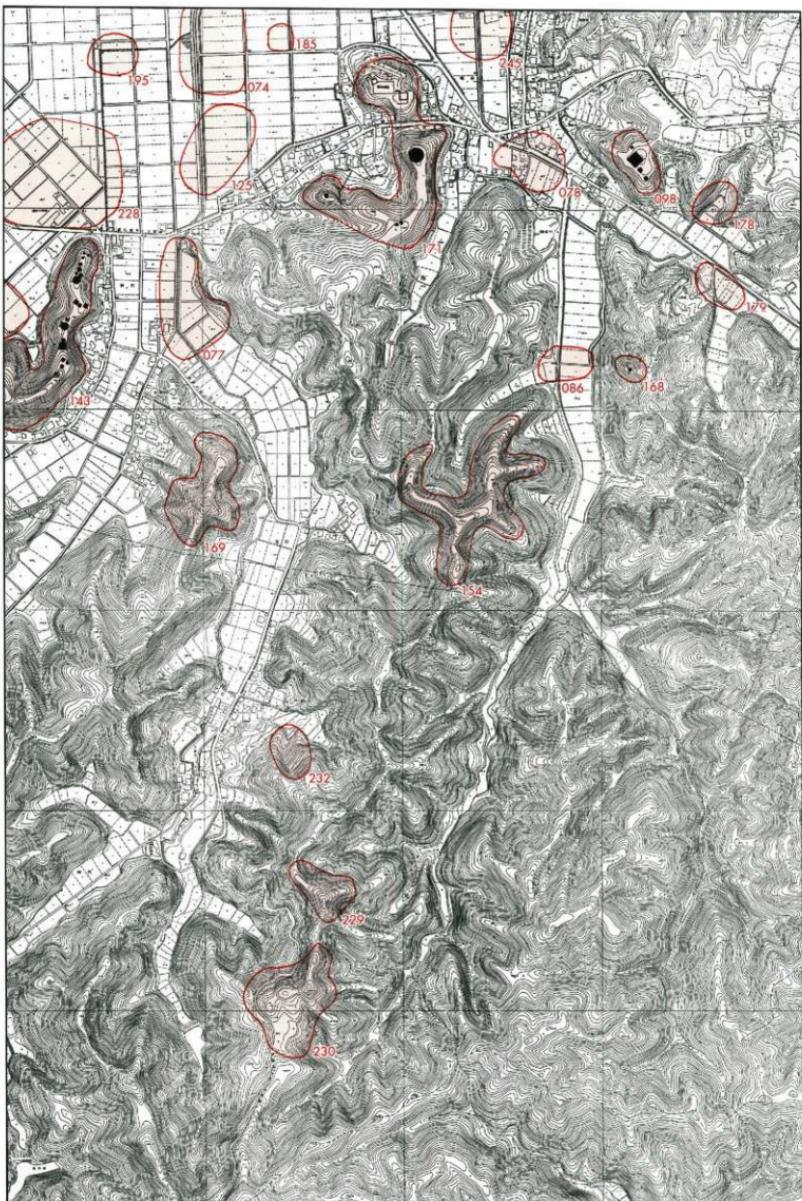
25

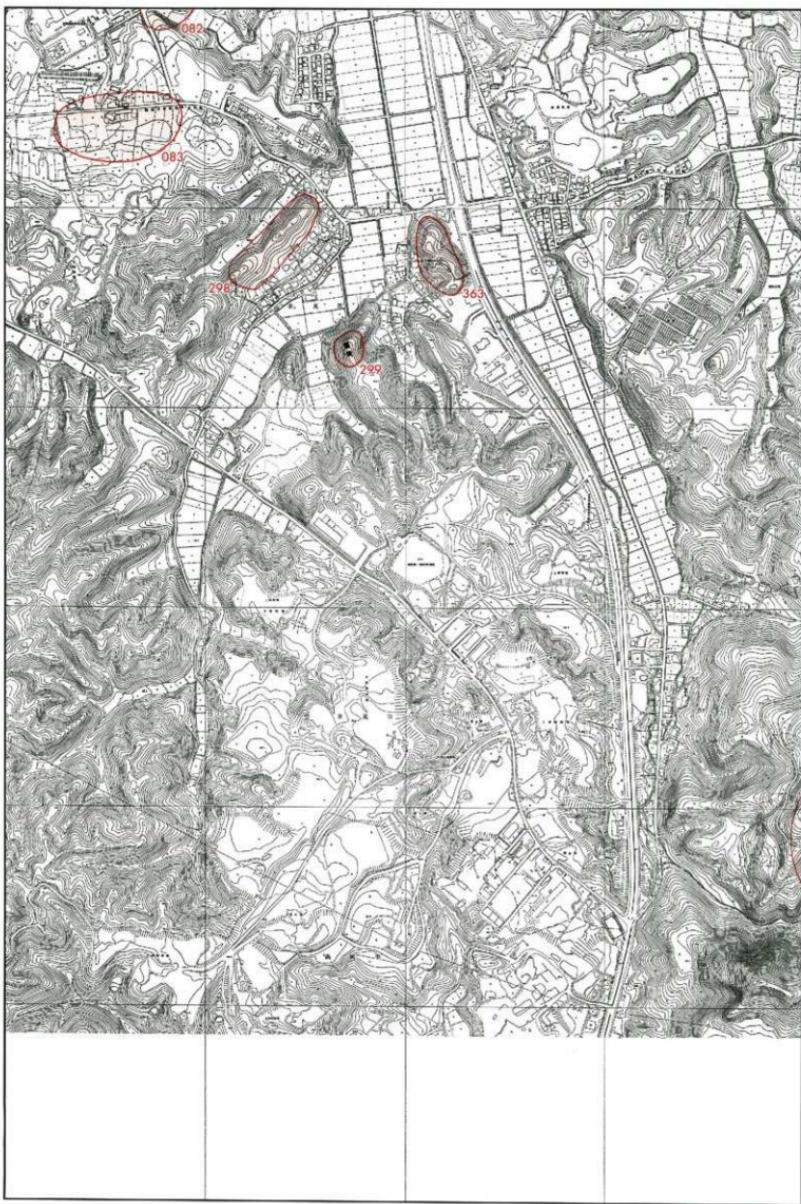




1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

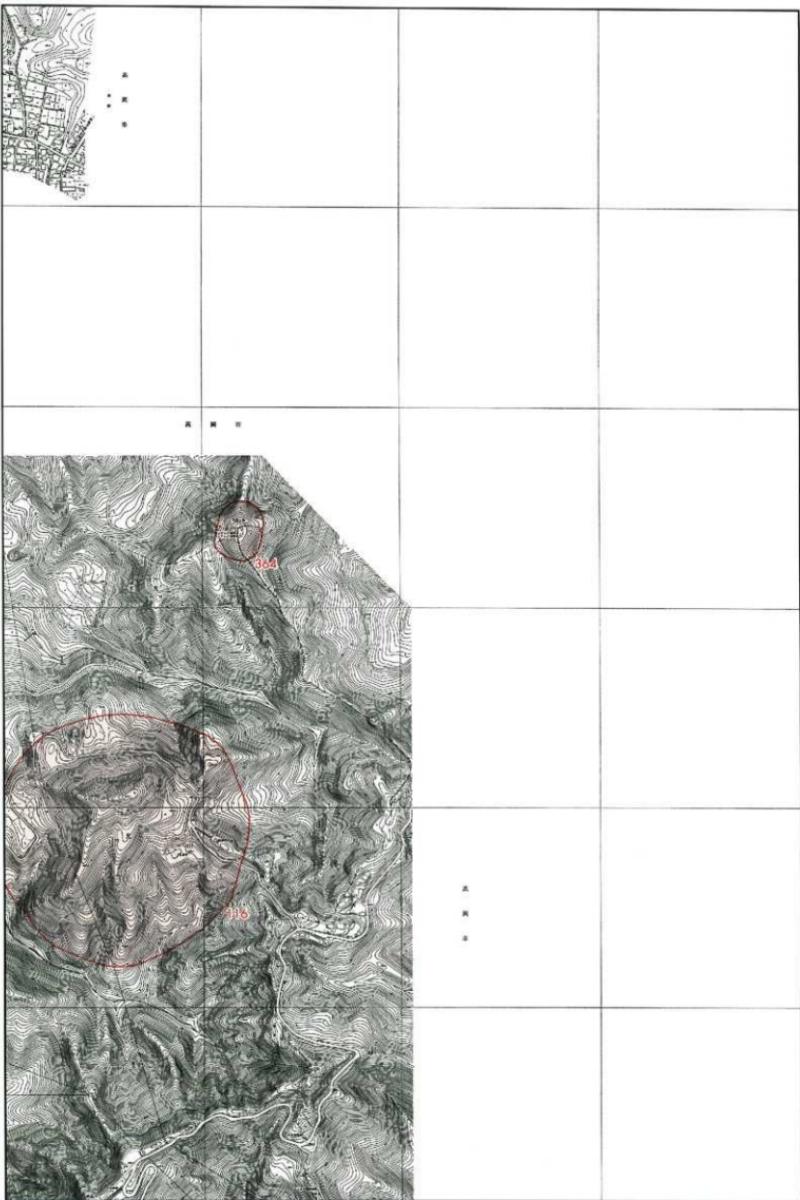
26





1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

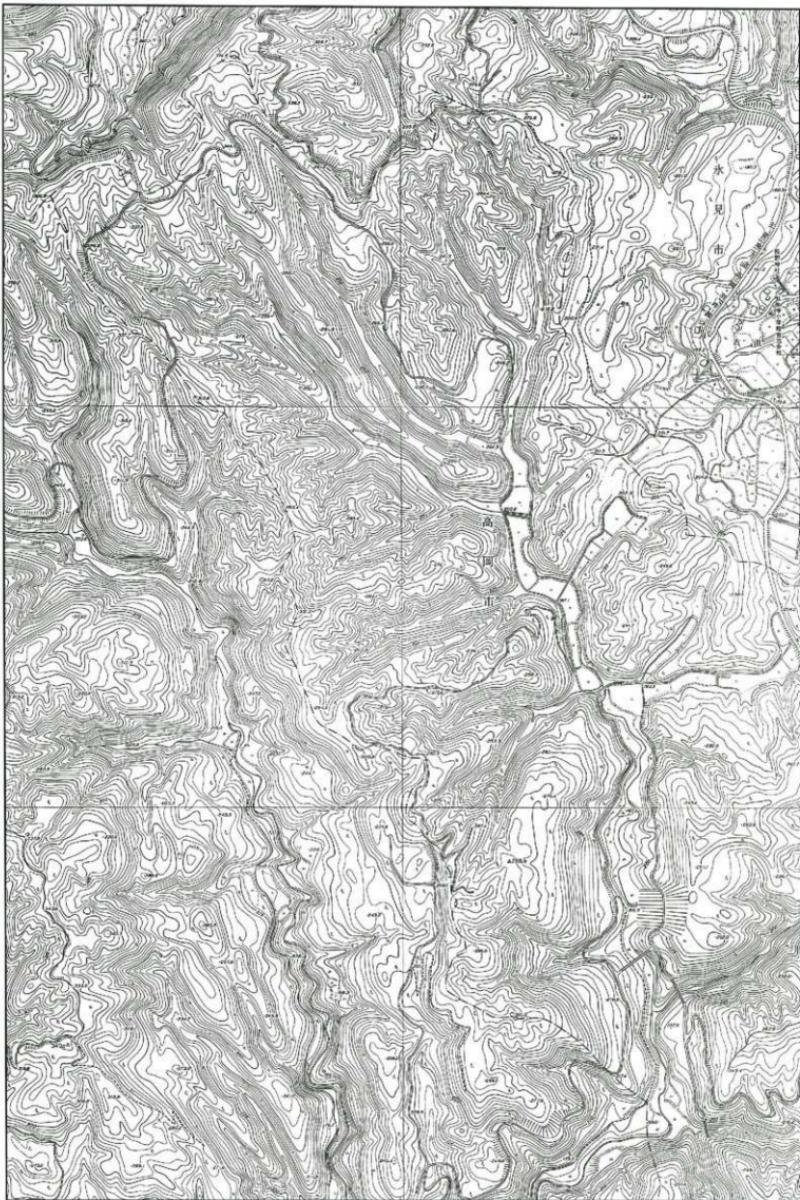
27

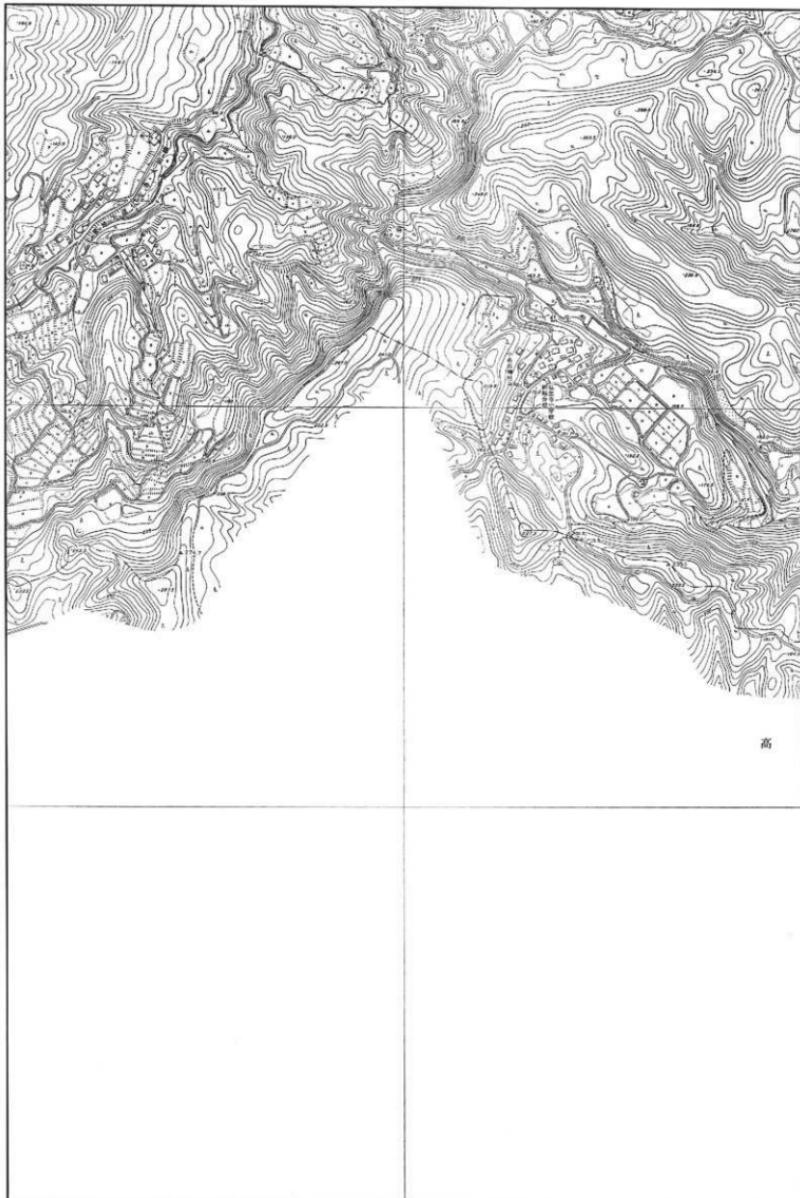




1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

28

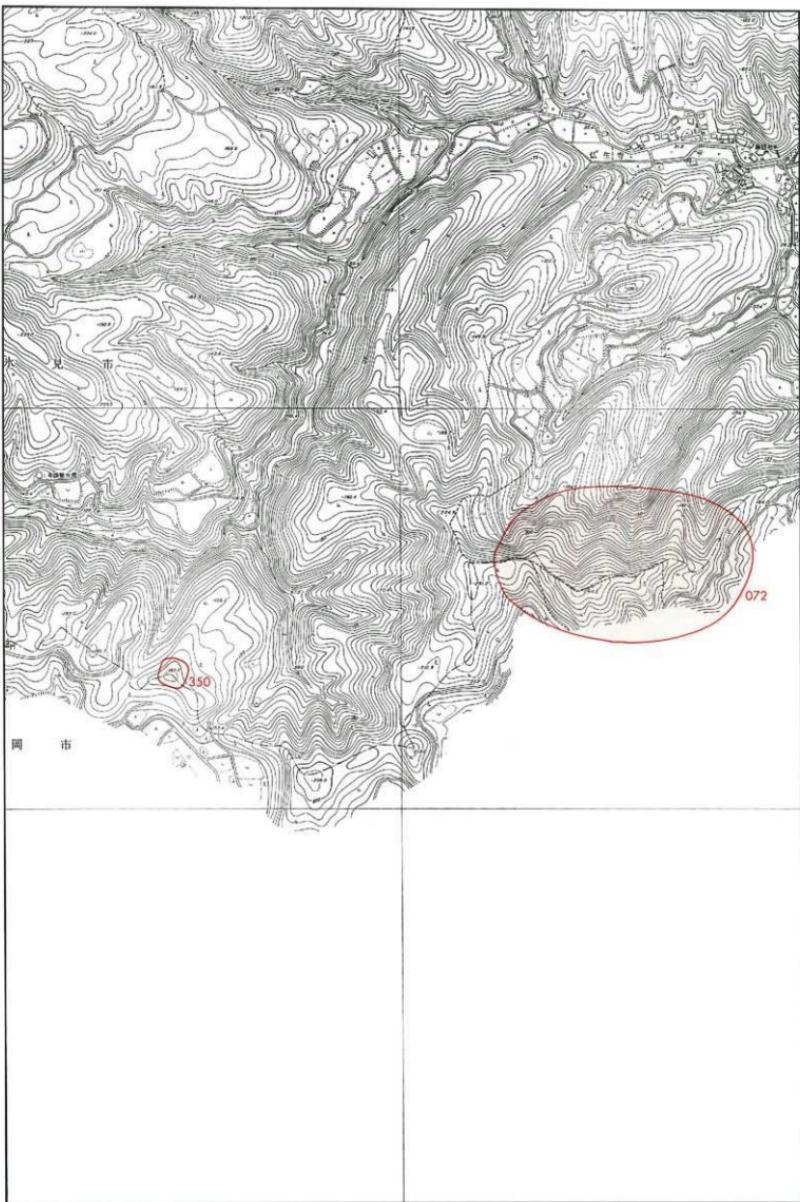




高

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

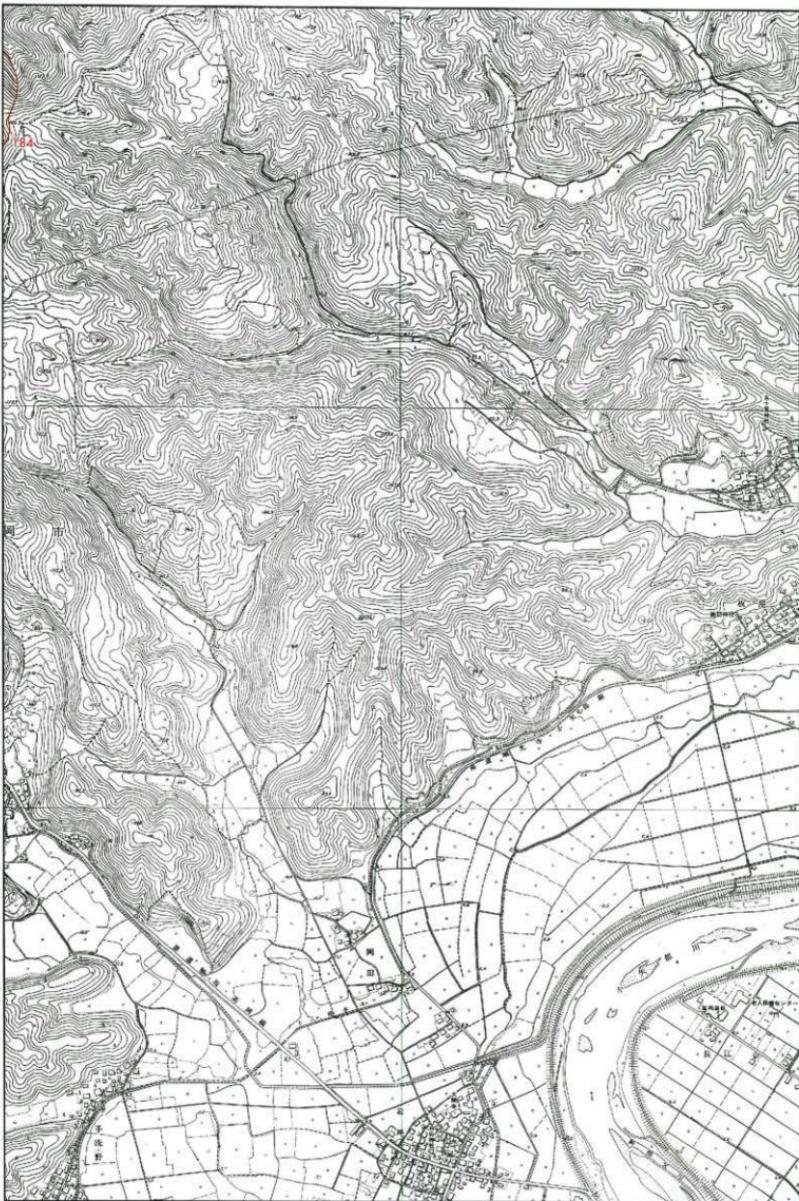
29





1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

30



水見市遺跡一覧表

遺跡番号	地図番号	遺跡名	ふりがな	略号	所在地	種別	時代	主な出土・探査遺物	参考	主要文献
001	4	中渡貝塚 (女良貝塚)	なかみかいづか (めらかいづか)		中渡	貝塚	绳文中期	绳文土器・石斧	ほぼ消滅	35-55-58-212-301
002	7	一夜城跡	いちやじょう		中出	城館	戦国	滑石製衣ぬ	上林都の夜の陸路伝水地・時局小崩の石質美術品が採集された。	30-96-203-212-283-288-298
003	8	延喜島跡	あぶがしま		姿字浜	散居地	縄文後期・古代 -近世	縄文土器・石斧・土器・石器・石刀・石器等	近東には伊賀城石川の発掘出土となる。延喜島は奈留守名勝・天然記念物。	38-139-153-212-245-288
004	8	丸殿浜遺跡	くでんはま		姿字九段	聚落	縄文-中世	須恵器・土器・製陶土器	ほぼ消滅。7世紀初めから8世紀初めの聚落遺跡。	55-58-70-91-92-123-155-212-288
005	8	大垣御廻跡 (大垣削跡伴居跡)	おおがかいどうくつ		大垣字御首	副官	縄文中期～中世	縄文土器・弦纹・土器・須恵器・上脚器・中良陶器・人骨・骨器・石斧・石棒・人骨角器	田原指定史跡(大垣跡)。大垣削跡の調査は日本最初の古墳遺跡の発掘調査として知られる。先無古墳では縄文中期から中世までの文化層を確認。	2-11-15-17-29-24-26-30-35-38-40-43-54-55-58-59-60-66-67-86-92-99-101-102-131-153-154-155-156-157-158-159-179-202-212-217-262-288-300
006	12	脇方塙六郡	わきがた		脇方字止井塙	横穴 中世墓	飛鳥白鳳・中世	直刀・須恵器・管 切・切子玉・人骨	8世紀を経て、8世紀から後桃山時代の人骨9体。中世の入骨部が確認。	34-44-49-54-55-58-92-93-126-212-271-288
007	12	宇波坂中塙	うなみこうしんづか		宇波	塙	不明		ほぼ消滅。高松山などが出土し、石造物があったというが詳細不明。	96-104-212
008	12	宇波吉増郡 ・宇波神社跡	うなみ・うなみじんじゃ		宇波字宇波 宇波神社境内	古墳 散布地	古墳 後(1号 墓は6世紀後半)・中世	人骨一部分・直刀・土器・須恵器・灰陶・埴輪	石室をくわせ砂(円筒形)かと 2号墳(円筒形)。1号墳はほぼ消滅。石室石材は社屋内にあり、石造物が集積される。	1-49-54-55-58-92-95-126-153-204-212-225
009	12	泊御園遺跡	とまりどうくつ		小移	側窓	縄文早-前開	人骨・土器片	乳孔石に裏付いた人骨3枚 骨が出土。	84-105-120-212-303
010	7	長坂貢船遺跡	ながさかきふね	NK	長坂字前田	集落	縄文中-後期	縄文土器・石器・石斧	一部現状保存	38-89-153-212
011	2-6	荒山城跡 (柏形城跡・石塙跡 ・花籠跡・(柏形 城跡))	あらさんじょう(くわいじょう ・いわくわいじょう ・いばらわいじょう じょう)		小塙字奥山割・ 石塙字中能見町	城館	戦国		旧荒山城跡。荒山城跡は中能見町指定史跡。	50-86-96-97-167-171-203-212-283-288
012	6	尾瀬城跡 (尾花城跡)	おばなじょう		角間	伝承地	中世		「オバンジ」とよばれる城跡伝承地。越切状遺構を確認。	50-96-212
013	7	白河城跡	しらがわじょう		白川字出崎田	城館	南北朝・戦国		『浮山文書』にみえる城跡。	50-54-58-96-203-212-283-288
014	11	礎迎円明跡	いそべみょうえん		礎迎北山	散居地	縄文			55-212
015	10	制田山遺跡	ひとはねまだ	HIM	制字前田	集落	縄文中-後期	縄文土器・石器・石棒・石斧・瓦砾	高岡県西側における縄文後期の遺跡。	44-55-66-92-183-212
016	10	懸札宮上ノ前遺跡	かけふだみのみ まえ		懸札字上ノ前	散布地	縄文中-後期	縄文土器		55-212
017	10	懸札宮谷内遺跡	かけふだみやがや わち		懸札字宮谷内	散布地	縄文中-後期	縄文土器・石器	ほぼ消滅	55-212
018	14	高畠遺跡	たかつか		余川字片瀬	伝承地	中世		城跡伝承地だが城跡間連通情報は確認できず。	50-72-212
019	11	森古城跡 (湯山城跡)	もりでらじょう (ゆまさきじょう)	MDJ	森寺字城山・吉 尾	城館	戦国	須恵器・上加器・白 磁・瓶・青磁・瓦片	中心部分は奈良治定史跡(48.130)。主に石垣を多用した余川市最大級の城跡。先史遺跡で空堀・石垣・道路を確認。	50-54-58-73-92-86-147-199-203-212-274-280-283-288
020	15	海老池跡 (片伏城跡)	えびせじょう (かきよじょう)		余川字田地・森 寺字海老池	城館	戦国		城跡伝承地だが城壁をもつ。	50-54-72-144-203-212-283-288
021	15	指崎尚古墳群	さしきさむかいや さ		指崎字尚山	古墳	古墳	直刀・管・須恵器 座(12号出土上遺物)	前方後円墳1基・円筒埴 輪・土器・石器・石棒等	32-40-54-55-66-92-126-204-212-225
022	15	阿尻瀬戸ヶ谷内 横穴	あおせとがやち も		阿尻字瀬戸ヶ谷 内地	古墳	飛鳥白鳳	人骨2体	4基を確認。消滅。	55-58-125-131-212-271
023	15	阿尻跡	あお		阿尻	散布地	弥生・古墳	須恵器・土器	先史遺跡で空堀・石垣 等を確認。	20-55-58-190-212
024	15	阿尻尾山塙穴群 (a-b)	あおじょうやま		阿尻城山	横穴	飛鳥白鳳	須恵器(追手・扇) ・金環・刀子	阿尻城の北側に1基、南側 に4基を確認。南側にはさ らに複数存在か。	34-54-55-58-92-212-271-288
025	15	阿尻城跡	あおじょう	AQJ	阿尻字馬尾・城 山	城館 散布地	弥生後-戦国 -近世初期	須恵器・土器・須恵器 等	須恵器史跡(昭和41.1)。城 内から出土遺物と合わせて 須恵器・土器・須戸・灰陶 等が出土した西側の「阿尻文 庫」は江戸期指定古跡資料。	20-22-29-40-50-54-58-66-92-93-94-125-130-131-150-191-203-212-283-288
026	15	阿尻尾山岩苔跡	あおしまおやまと り		阿尻字馬尾	城館	中世		「阿尻文庫」・角山城跡。	30-131-170-203-212-283
027	13	ノ瀬遺跡	いののせ	IT	一ノ瀬番場	散布地	縄文中-後期	縄文土器・石斧	ほぼ消滅	44-55-82-212
028	15	植穂二ツ星遺跡	いなづみみつや まえ		植穂(ツブ)前	小字	古代		詳細不明	312
029	15	植穂城跡	いなづみじょう		植穂城跡	城館	南北朝		『浮山文書』に「天保文庫」にみ える三内山城に比定される。	50-74-203-212-283-288
030	14-15	木谷城跡	きのたにじょう		植穂字木谷・植 穂	城館	南北朝		加賀越山山頂群(159)の 小城に相当する可能性のある 山城街道傳有り。	50-54-72-74-78-203-212-283-288

遺跡番号	地域番号	遺跡名	ふりがな	略号	所在地	種別	時代	主な出土・探査遺物	備考	主要文献	
031	18	加納中程縄錆	かのうなかはど きょうつか		加納字中程	経駆	不明		加納八幡宮背後の丘陵に伝承があるが、加納古墳群(327)の遺跡ではないと推察できます。	212-226	
032	15	加納横穴六石	かのう	KAYO	加納字糸子	横穴	古墳後~飛鳥白 鳳	環状器(杯・跳足、 高持・盤・台付長颈 壺、垂耳・刀子・ 環狀・勾玉・切玉・ 骨玉・小玉・人骨	市原 定一著「新羅(310)」。 横穴8基を記載。第3号 等で免許請企を実施し、削 除(30-40)。遺跡開削時に時期 不明の石切の埴跡有り。	12-21-40-42-54- 55-57-60-62-63- 76-82-94-212- 213-271-288-297	
033	14	中村城跡 (中村山城跡)	なかむらじょう (なかむらやま じょう)		中村字栗山	城郭	戰國		堅忍器(刀・劍・ 盾・矛・槍・刀子・ 環狀・勾玉・切玉・ 骨玉・小玉・人骨	堅忍器を多用した網張りをも つ。	50-55-53-92- 144-157-203- 212-283-286
034	17	小久米畠谷内 遺跡	おぐめいばんばや ぢ		小久米畠谷内	散布地	古代・近世	環状器・土師質 壺			212
035	13	谷原A遺跡	たにやー	谷原	伝承地	古代・中世			「上寺坊」とよばれる寺院 伝承地。	54-212	
036	17	小久米B遺跡	おぐめびー	小久米	不明				詳細不明。	212	
037	17	中村大塚山古墳	なかむらでんばや ま		中村字天塚山	古墳	古墳後期		前方後円墳(前方後方 墳の可能性有り)。	126-149-174- 188-212-235	
038	14	余川津瀬遺跡	よかわかたばけ	余川字津瀬	散布地	古墳		環状器・土師器		129-153-212	
039	18	東山尾廻守跡	いざみなかおほい じ	東字中尾	寺院	古代・中世	金銅仏	舟形金剛坐(金剛坐阿彌陀佛)・ 金剛坐(阿彌陀佛)・宝 品・平安時代初期のものと 時期の古代寺院が所在か。	33-54-121-165- 212-266-296		
040	16	龍毛丸遺跡	りょうもうえー	RYOA	龍毛御毛	散布地	绳文～古墳	台器・乳頭器・十脚器		212	
041	18	前毛丸遺跡	りょうとうげー	東字前毛	散布地	古墳	環状器・土師器			212	
042	17-18	東古墳群	いざみ	東字瀬毛	古墳	古墳中～後期	水晶丁子・ガラス 小下・管下(9号埴 出・上品)・人骨・勾玉 等(1号埴出・1品) 腹巻・大腹巻(行方 不明)・鐵莖蓋	東方後円墳1号・円墳19基・ 方墳2基。1号埴出は長 径3mの大型円形埴。 大2号埴出は9号埴 出(行方不明)・鐵莖 蓋・7号埴出(行方不明)・ 明治末年頃に遺物が出土。	53-55-92-126- 212-213-225-288		
043	17	小久米八遺跡	おぐめえー	小久米	集落	绳文・弥生末・中 世	圓生十脚・石器・陶 器	弥生時代末期の集落跡。 その周辺系を確認。	95-102-153-188- 212-295		
044	17	小伴瓦窯跡	おくぼがよう	小伴	窑	古代	平北・丸瓦	小伴窯(94)に瓦が供給 したと想用。7号瓦記入・8 世纪前半頃の瓦窯。残灰を もつと式瓦窯。	43-54-92-111- 113-122-176- 210-212-242- 266-288-295		
045	17	小久米八古墳群	おぐめえー	小久米	古墳	古墳後期	穿刃・須恵器	円墳2基	40-54-55-95- 126-212-213-225		
046	17	小城城跡 (池田城跡)	こうじょうじょ (いけだじょうじょ)		小久米字池田・久 日・日昌	城館	南北朝・戦國		南北朝から天正13年まで 改修されながら利用。城下 聚落が存在か。	50-54-71-92- 130-132-203- 212-283-288-295	
047	14	余川寺ヶ谷内遺 跡	よかわせぎやね い	余川字寺ヶ谷内	散布地	古代・中世・近世	須恵器・石器・鐵 器	造跡のある寺ヶ谷内には 豪華古墳群の存在があ るが、其の関係の關係は不 明。	72-92-129-153- 162-212		
048	18	小川横穴六石	なかお	中尾寺尾	横穴	飛鳥白鳳		伝承で2層開口。扶桑滿 木伝では2層開口。	212-213-220-271		
049	18	中尾折保谷内遺 跡	なかおしんばや ぢ	中尾字守毛	集落	古代・中世	黒色土器・土師器・ 瓦陶器・木製品	印中尾折保谷内24号(1号令 令)の特徴。12世紀の特 徴立壁窯・井干・13世紀以後 以降の溶融状況等を確認。	33-165-398-212- 231-230-234- 238-253-258- 259-266-296		
050	17-18	千久里城跡	ちくりじょう		中尾字茅戸	城館	南北朝・戦国	発掘調査では土器・石數 器を検出。戦国期の施修改 修確認。	50-53-94-132- 141-144-153- 203-212-283- 265-266-288-295		
051	18	沖布A遺跡	おきぬえー	OKN-1	沖布字利相	散布地	弥生後期～古代	圓生十脚・土師器・ 須恵器		42-55-212	
052	18	鶴川金谷遺跡	くらわかなや	KRKK	鶴川字下	散布地	繩文中期・弥生 後期・古墳	圓生十脚・圓生十 脚・土師器・須恵器	55-82-92-165- 212		
053	18	上日寺中供遺跡	じょうにじゅ		朝日本町	中世墓	古代・中世	須恵器・陶瓶・土 師器・石造物・人骨	火葬斧が納められた古酒 甕と其の周囲の目掛 池より十脚器・陶瓶・石造 物等多数出土。上日寺境内 には古墳民衆葬・長沢 翁前古墳(石松原)・西固 二ノ所(鶴川古墳群)を有 し、多数の古墳古跡有り。	46-92-164-180- 201-212	
054	18	朝日水原地遺跡	あさひすいげんち		朝日丘	散布地	绳文中～晚期	圓生十脚・石器		57-212	
055	18	朝日長山古墳	あさひながやま		朝日本町(長山)	古墳	古墳(6世紀前 後)	圓文土器・生土器・ 須恵器・陶瓶・石器・ 石造物・人骨・角器 等・骨器	全長43mの前方後円墳1基。 石室・墓室を有する。昭和 27-47年発掘・復元・整理 剪断・湖底金銅・竹 筒・鐵莖蓋	39-54-55-60-68- 92-98-126-145- 150-151-160-170- 212-216-225- 268-288-297	
056	18-19	朝日貝塚	あさひかいづか	ASK	朝日丘	貝塚 集落	繩文前期～晚 期	圓文土器・生土器・ 須恵器・陶瓶・石器・ 石造物・人骨・角器 等・骨器	国指定史跡(大13.8)。大 正7年発見。大正13年の發 掘調査で国内初例となる をもつて断層2箇を検出。	13-14-16-18- 21-24-25-28- 33-36-37-40-45- 51-55-56-60-85- 100-101-102-103- 110-113-163- 166-169-172- 177-181-207- 212-210-245- 282-298-288-301	
057	19	河口遺跡	いわね	IN	伊勢大町・本町	散布地	绳文前期～後 期	圓文土器・土師器・ 石器・陶瓶・石器・石 臼等		27-85-92-165- 169-172-212-245	

遺跡番号	地名	遺跡名	ぶりがな	略号	所在地	種別	時代	主な出土・採集遺物	備考	主要文献
058 19	伊勢玉神社中世 墓群	いせたまじんじや			伊勢大河	散布地 中世墓	縄文・古代・中世 ・近世	陶片・土器・心臓・猪 頭骨・赤銅鏡・輪・耳 環・筒形器・石器	五輪塔を伴う8坑穴から火 葬と火葬を始めた複合墓 (近畿地区)出土。	92-212-288
059 15	鶴橋一戸野走跡	いなづみみつや の			堺町	散布地	古代・中世	須恵器・土師器・珠 陶焼	注目	62-74-212
060 23	御州丘跡	やないだ			御州	集落	縄文・弥生後期 ～古墳	弥生土器・土器群・珠 須恵器・織機土器		47-55-60-92- 160-212-268-288
061 23	庄屋塚	くはきょうづか			豊	稲塚	近世	一字・石経	通称「一本松」。一字・石経 が出土したといが消滅。	86-212-226
062 18	荒筋A遺跡	あらなだちー			十二町荒筋	伝承地	中世		城郭伝承地。丘陵頂部に平 庭跡があるが明確な城郭跡 遺構は確認できず。	212
063 22	万花蓮跡	もわ	MON	万花芋・佐日	散布地	赤堀廻期～近世	土師器・須恵器・珠 陶焼・近畿津			156-168-212-308
064 18-22	坂本櫛穴跡	さかづ			十・町坂字 新が谷内	櫛穴	飛鳥白鳳	須恵器・土器群・直 刀・金鏡・樹脂人骨	36基を確認、3段に分布。 1-34-40-54-55- 212-271	1-34-40-54-55- 212-283-268-288
065 22	久津呂城跡	くづじょう			下久津呂字城	城跡	飛岡			56-132-154-203- 212-283-268-288
066 22	上久津呂A遺跡	かみくづらえー			上久津呂字前田	散布地	古代	須恵器・土師器		61-136-212-268- 288
067 21	桜根塚	はこねさきうづか			桜根	稲塚	不明		能引寺背後に「桜根」とよ ばれる塚あり。詳細不明。	212-226
068 20	桑ノ庭谷遺跡	くわのいんよした に			桑院字吉谷	散布地	縄文中期	縄文土器・石器		55-71-130-212
069 20	久日庵塚	くめきょうづか			久日	稲塚	近世	多字・石経	難波古墳群(335)と重複 か。多字・石経が出土。	130-212-226-296
070 15	結積ヶ谷内浦 跡	いなづみにしが やち			結積ヶ谷内浦	散布地	奈良・平安・中世	須恵器・土師器・珠 陶焼		74-114-127-129- 153-212
071 22	上久津呂ゴタン 山遺跡	かみくづらごたん やま			上久津呂ゴタン 山	散布地	縄文・古墳	石斧・十輪器		212
072 29	ツ城跡	ふたつけじょう			仏生寺字屋ノ谷 内・高瀬市川山一帯	城跡	飛岡		城跡の所在する三丁山辺に 人字形苦竹の伝承あり。	50-212-283
073 26	鷺領古墳群	そうりょう			鷺領字虹平半	古墳	古墳時期	直刀・刀・珠・菅 冠・ガラス・小豆・須 恵器(斜格・腰袋)	円筒状ならし玉・うち玉鏡 鏡面・金合子鏡・無蓋の短管 瓶・石室材・随品を確認。	40-54-55-126- 212-225
074 22-25	神代前進遺跡	こうじろは	KZRJ	神代李羽羽	散布地	縄文～近世	石器・出土土器・土器 群・須恵器・珠陶焼			55-163-212-288
075 26	飯久保城跡	いいけばじょう			飯久保字利山・神 代字正保寺	城跡	飛岡	土師器・越前・餘 命	将石虎口を備える。城下聚 落が存在。	56-54-92-132- 203-212-224- 268-283-288
076 22	布施八ヶ遺跡	ふせはつがだ			布施八ヶ田	散布地	縄文後期・古代	縄文土器・須恵器		156-212
077 26	矢ノ原・丁目遺 跡	やのはういっちょ うめ	YNO	矢方・丁目	散布地	弥生末・古墳	弥生土器・土師器			53-92-168-212- 268
078 26	稻田久留遺跡	ほりだいたいくまえ	HOD	稻田字大久留	散布地	古墳・中世	須恵器・土師器・珠 陶焼			81-92-117-127- 156-212-268
079 22	馬糞山遺跡	うまのりやま			馬糞山字越	散布地	弥生末・古墳	弥生土器・土師器	長脚頭部に円筒状の噴孔、そ の上に石積みによる施有り。	55-117-160-212
080 22	大浦遺跡	おおうら			大浦	散布地	弥生	羅盤	羅盤・刃石	160-212
081 23	四十室遺跡	じゅうしろづか	SJ	下田字四十室	集落	縄文～晚周 ・古墳・古代	縄文土器・十個・偶 数・板瓦・小口・須 恵器			44-55-60-61- 114-160-172- 212-245-268
082 23-27	多胡城跡	たごじょう			下田字四十室	城跡	中世		・多胡城・北定地だが詳細 不明、消滅。	117-32-212
083 27	岩子遺跡	たこ			下田字芋庵	散布地	縄文土器・晚周 ・古墳	縄文土器・石器・土 師器・乳鉢		55-117-160-212
084 26	鷺領遺跡	そうりょう	SK	鷺領	散布地	古墳中期・古 代	須恵器・土師器			92-127-186-212
085 19	朝日一宇宿遺跡	あきひゅうじや			朝日丘	埋蔵地	中世	宋・町野等6,495枚 ・珠陶焼		
086 26	鶴田ワクリウエ 遺跡	はりわたたりうえ	HON	萬田字ワクリウ エ	散布地	古墳～中世	須恵器・土器・珠 陶焼・貿易商船		珠陶焼に人った古鏡が出 土。15世紀と推定。	212-248-288
087 23	上泉遺跡	かみいづみ			上泉	散布地	古墳・中世	須恵器・土器	財物軒田西谷内遺跡	117-153-212
088 15	阿尾島田A遺跡	あおしまだいー ーA	AOSH	阿尾字島田	集落	縄文後晩期・古 代・中世	須恵器・土師器・床 陶器・質屋			212
089 15	山崎城跡	やまさきじょう	YMZ	阿尾・戴田	城跡	南北朝・戦国	珠陶焼・土師器・繪 中納戸・宝鏡製品		須恵器等6,495枚 は出減	92-131-137-153- 203-212-283
090 14	中村薬院古墳群	なかしらあわわ			中村字薬院	古墳	古墳中期		円墳4基	126-174-212- 213-225
091 14-17	谷部B遺跡	たにやびー			谷部	祭祀	古墳後期	手持勾玉・鏡	井手塚遺跡古墳群(347)に同 属した新記遺跡か。	65-92-174-212
092 18	津布丘遺跡	おきぬのびー			津布	散布地	古代	須恵器・土師器		212
093 15	福積後進遺跡	いなづみしおり け	INTU	福積字西谷内	散布地	縄文中期・古 代	縄文土器・須 恵器・土器群		物を配した古代陶器。現 在久木神社にある心燈石柱 は日本指掌文古資料、小坪耳 墳(044)から丸山・伏見 7号墳など8世紀の創建か。	129-153-183- 212-266
094 17	小豆鹿寺跡	おくぼはいじ			小豆字寺のスマ	寺院	古代	瓦・丸瓦・須恵器 ・塔心礎石		43-54-92-112- 113-176-210- 212-242-266- 288-295
095 6	八代施行跡	はったいせんぎょ うはあと			角四字八代仙	祭壇	中世～近代	石碑	石動山修業者の行場。明治 以降は(石動山)奈良以外の修 行者の行場となり、現在大 部分が解体。	92-96-97-125- 212

遺跡番号	所在地	遺跡名	ふりがな	略号	所 在 地	種 別	時 代	主な出土・探査遺物	備 考	主要文献
096 19	比美浜遺跡	ひみはま			比美町	散布地	古代・中世		二次的散布地。	212
097 18	轟川寺田遺跡	くらかわでらだ			轟川寺田	散布地	轟文化期	轟文土器	酒城	55-212
098 26	轟ナシマイダ松古墳	はりたなんいまだまつ			轟ナシマイダ	古墳	古墳後期		円墳2基・方墳1基。方墳2基は伴生的!各と基底遺構の可能性もある。	117-126-212-225-288
099 15	轟横前田遺跡	いなづみえだ			轟横前田	散布地	弥生・古代・中世	弥生土器・復原器・珠鋼鏡		74-212
100 18	板津遺跡	さかづ			十二町板津	不明	古代・中世	上帥器・中鉄器	詳細不明	212
101 14	七分一遺跡	しちぶいち			七分一	散布地	弥生後～末・古墳後	船形器・上帥器		212
102 15	余川義ヶ谷内遺跡	よかわねやがやち	YKOY	余川義ヶ谷内	散布地	古代		船形器・上帥器		72-129-153-212-266
103 14	余川義老田遺跡	よかわえびた		YORB	余川義老田	散布地	古代	彌生器・上帥器	「八重吉ノ老」または「妙刀」彌生器等・紀元前が出来物が出る。	73-93-127-129-153-212
104 14	余川吉谷内遺跡	よかわじのやも			余川吉谷内	散布地	中世	津浦鏡・束縛・金鏡	「田嶋施合跡」との伝承があり。	72-212
105 15	船崎丘古墳遺跡	きっさきこがんだん			船崎丘五反田	散布地	古代	彌生器・上帥器		212
106 18	京原白道跡	あらだいちらど			一二町京原	散布地	纏文・中世	石斧・瓦器		160-212
107 18	御野野人遺跡	すのわい			御野野人	散布地	古代	船形器・七輪器		62-212
108 18	御野野人遺跡	すのわい		SWNR	御野野人	散布地	古代・中世	土師器・似態形・堆積焼		62-165-212
109 15-18	加納金穴遺跡	かのうかねのみや			采町	散布地	古代・中世	彌生器・珠鋼鏡・青磁		165-212
110 15	阿尾高畠田遺跡	あおしまだい			阿尾字畠田	散布地	纏文・古代・中世	石器・須恵器・珠鋼鏡		183-212
111 12	難波神社遺跡	たてほこじんじや			白川	散布地	纏文上部・石斧・石器		境内には中世石造物が集積されている。	96-212
112 12	難波神社古墳群・集石墓	くまのじんじや			宇波青川	古墳・中低墓	古墳・中世		円墳1基・方墳(隅丸方形)1基・集石墓1基	126-204-212-225
113 22	上久津井遺跡	かみくづのい			上久津井	散布地	纏文・古代	纏文土器・弥生土器・上帥器・復原器		168-212
114 15	萩田遺跡	やぶた			萩田当の越	集落	纏文・近世	纏文土器・刃毛器・上帥器・復原土器		92-163-212-245
115 18-19	十二町河岸排水施設遺跡	じゅうぢょうこうへいせき		耀	散布地	纏文前期～晚期	縄文土器・石斧・瓦器・上帥器・白口器			87-90-92-118-153-160-189-212
116 27	小竹遺跡	おだけ	OTY	小竹		城崎	寺院・経堂・研究施設	宋・夷朝等38枚・縄文器・床洞鏡・土器・石造物	遺跡内に櫛窓山城跡(小竹山城跡)・足尾銅山(赤坂赤山等)・櫛窓銅錫・經研鉱山地上を含む。	35-142-143-158-173-203-212-283-293
117 11	鐵邊神社・中世墓	いそべじんじや			鐵邊	中世墓	珠鋼鏡		竈門川にみられる傳西宮出石	92-212
118 14	余川河岸遺跡(A-E地点)	よかわがわくしょう			余川片瀬・一つ屋・吉原原	散布地	纏文・古墳・中世	宋・夷朝等38枚・縄文器・床洞鏡・土器・石造物	余川川の周辺3地点より出土物	72-92-129-212
119 14	余川市谷遺跡	よかわいいちや			余川市谷	散布地	古代・中世	縄文器・珠鋼鏡・青磁	A地点:古墳時代(佐野寺等)B地点:中世後期須恵器C地点:平安土器	129-183-212
120 18	中尾鬼山遺跡	なかおがめやま			中尾字矛口	埋蔵鉢	中世(14世紀前)	青・宋銭等1,805枚	長径50cmの広がりの中に集中配置されていた。30枚を1單位化して結果。	92-93-212-248-268-288
121 17	新堀城山(新保城跡)	しんぼじょうやま			新保城・峯	古墳	古墳期・後戦国		方墳墓と城郭跡が発掘してから毫釐上に立てる。	92-174-203-212-213-225-283
122 15	八代城跡(a)・八代城跡(b)	くわじょうやま・くわじょうじや			北八代城ヶ峰	城跡	南北朝		谷を挟んで立派で、一体的に既成した城跡群。	30-96-203-212-283
123 14	余川谷田遺跡	よかわたにむら			余川谷田	散布地	古代・中世	船形器・土師器・珠鋼鏡		129-212
124 4	島中央邑跡	わき			島原久那森名神社境内	中世墓	中世	珠鋼鏡・石造物		92-212
125 26	石崎遺跡	いしさき(いっさき)			船ノノ坪	散布地	古代・中世	船形器・土師器・珠鋼鏡		77-156-212
126 7	長坂石塚遺跡	ながさかそうとう			長坂字山田ソウト	中世墓	中世	珠鋼鏡亮・人骨2・宋銭2枚・五輪塔	調査した古跡発見2例に十人骨が入座。巣の周囲に遺物集石があったという。	92-96-153-212
127 25	御林山城跡(松合山城跡)	おはいやすじょう(くわいねねじょうじや)			龍脇・桑原	城跡	戰国		熊久保城の城跡。	50-92-130-132-154-203-212-283
128 23-26	御領寺跡	そうりょうとう			慈頤	城跡	戰国		熊久保城の出城。	50-132-233-212-283
129 25	仏寺寺城跡(仏寺・寺城山)	ぶっしじょうじょう(ぶっしきじょうじやう)			仏寺・寺中	伝承地	中世		城郭伝承地だが城郭実地は確認できず。	50-212
130 26	鷹原日遺跡	そうりょうびー			慈徳	散在地	古墳～古代	須恵器・上帥器		212
131 17	新井根穴遺跡	しんいねね			新井字後山	礎穴	飛鳥白鳳		2号の周囲を確認。	19-174-212-213-271
132 15	細崎海跡古墳	さきさきさわの			指宿字濱跡	散布地	中世	十輪器		92-212
133 18-19	蓮乗寺中世墓群	れんじょうじ			朝日本町(庚申塚)	中世墓	中世	須恵器・石造物	蓮乗寺背後の丘陵斜面・須恵焼等。巣内に造物が集積する。	92-212
134 18	朝日湯山古墳群	あさひかわたやま			朝日丘(湯山)	古墳	六頂(第期ないし中期以降)	須恵器	前後方墳ないし前方後円墳・壇場1基・ノモニ塚	126-149-188-212-225-288
135 12	福乃寺・城古墳	わがなじゅうさう			福乃・寺塚	古墳・中後期	中後期		円墳4基・築石墓1基	126-204-212-255-215

遺跡番号	地図番号	遺跡名	ふりがな	略号	所在地	種別	時代	主な出土・ 発見遺物	備考	主要文献
136	12	宇波御窟道跡	うなみどうくつ		宇流一石山	洞窟	不明	土器片	「石山の風穴」とよばれ、 縄文伝説がある。	3-23-86-212-303
137	11	難波中世墓	いそべ		難波	中世墓		珠潤鏡	難波器とみられる珠潤鏡出土。	92-212
138	18	板川古中世墓	いたかわむー		板川	中世墓		珠潤鏡		212
139	18	板川古中世墓	いたかわむー		板川	中世墓		珠潤鏡		212
140	18	御山内横穴	あきひやち		朝日本町	横穴	飛鳥・奈良		1基を確認。	83-212-271
141	14-17	谷原C遺跡	たにわらー		谷原	散布地	古代	黑鹿器		212
142	18	竹原山の呪屋堂	ちりきんのいわ やどう		泉宇中尾山	祭祀	中世・近世	石造不動明王像	市指定史跡(昭和63年)。内堀 に瀧澤跡・金盞状遺構有り。	53-54-212-266- 296
143	26	光寺西山古墳群	こうさいじやま		善代・飯久保	古墳	古墳群～後期		4号墳、前方後円墳(希)、只 見古墳1号、内環塁1基・方 塁6基。	117-126-212-225
144	15	板田糸森御跡 (板田糸森横穴 群・中世墓)	いたたひよし	IYB	板田糸森	横穴 糸森	飛鳥・白鳳・中世	短刀・石刀・刀・筒 器・人骨・石造物・ 古墳・鐵器	7号墳中壇・8号墳認め 横穴墓2基と横穴墓を板塁 したやぐら状の中世墓。	103-104-153- 178-201-207- 212-271-297
145	19	御前町遺跡	ごぜまち	GO	伊勢大町	不明		珠潤鏡・上野器	詳細不明	212
146	21	久日荒地遺跡	くめかくち		久日荒地	散布地	古代	鐵器		130-212
147	17	久日千元遺跡	くめちもと		久日千元	散布地	古墳	十輪器		130-212
148	20	無坂広瀬遺跡	なふさかひらせ		無坂広瀬	散布地	古墳・中世	鐵文・古墳・古器・ 土器・石器・土器・鍍 金器・珠・鐵器・珠・珠	飛鳥土器「石口」付。	71-130-153-172- 212-245
149	21	豈谷山古墳	どうこくさん		豈坂	古墳	古墳		方墳1基。經塲の伝承有り。	71-126-130-212- 213-225
150	15	加納熊子山古墳 群	かのうえびすやま		加納熊子山	古墳	古墳群～後期		矢頭形・鐵・圓筒形・ 方墳1基付・前方後圓 墓・土壇4基・方墳8基。中世 には山城として利用か。	94-126-212-213- 225
151	22-23	岡カンダ遺跡	おかんだ		岡カンダ	窓	古墳後期	須佐御・宮墳・鐵斧	飛鳥内古の須佐御宮。6基 紀前半の須。	116-126-153- 160-163-212- 266-288
152	23	長岡道跡	ののなかがつづみ		南	鐵器	不明	鐵斧	古代に遡る製鉄道跡か。	212-219
153	23	藤田宮遺跡	やないおおみや		藤田沖宮	製鐵	不明	鐵斧・叩印・鐵	古代に遡る製鉄道跡か。	212-219-268
154	26	鶴出山跡	ほりだじょう		鶴田	鐵器	飛鳥			115-117-132- 203-212-283
155	21	桑原山古道跡	くわのいかなやま		桑原	鐵器	不明	鐵斧	過去に鉄斧を採集。詳細不明。	130-212
156	14	椿井本木遺跡	くわいのいわきで		椿谷	鐵器	不明	鐵斧	過去に鉄斧を採集。詳細不明。	33-212
157	21	久日安泰寺遺跡	くめあたじ		久日安泰寺	散布地	古代	鐵器	須佐御	130-153-212
158	22	八津入原C遺跡	かみくにづるー		八津丘	散布地	中世	珠潤鏡		212
159	21	土手福村遺跡	つちふくらむら		土毛(十倉)	散布地	繩文	石器		130-153-212-245
160	12	酒田古道跡	さとう		酒田	鐵器	不明		時間不明の堆3馬。	212
161	12	宇波高取遺跡	うなみかのか		宇波	鐵器			近世の農耕廻。	212
162	17	田代人魚遺跡	たえひとおばたけ		田江	散布地	圓文		圓文土器	113-212
163	18	野町道跡	しむけんち		野町	散布地	文後期	繩文土器		212
164	17	達川社古墳群	だいかわむじんじゅ		新保・早借	古墳	古墳		円墳4基・方墳4基。方墳は 達川山遺跡(213)・圓達の場 と重複の可能性有り。	126-212-213-225
165	17	早借ヤキタ古墳 群	わやかしやわた		早借	古墳	古墳群～後期		旧丹波宿古墳群・円墳4基・ 方墳8基	126-212-213-225
166	22	大浦萬劫遺跡	おおとうわ		大浦	鐵器	不明		詳細不明の塚状遺構有り。	212
167	21	久日リノマエ遺跡	くめりのまえ		久日	散布地	古代・中世	須佐御・珠潤鏡		130-212
168	26	斯田糸ノ山蓋窯 (斯田糸ノ山古窯)	ほりたのやま		斯田	古墳	古墳		陶窯を有する直墳10基の場所。 片桐(印墳)もしくは中世の廬塚。	117-212-225
169	25	神代城跡	こうじょうじょう		神代ノノ山	鐵器	上御器			117-132-203- 212-283
170	21	久日分仙遺跡	くめじょせん		久日	散布地	中世	珠潤鏡		130-212
171	26	鶴田二塚山古 墳群	ほりたにしきづかや ま		鶴田	古墳	弥生・來・古墳 初・古墳後期		3支器・円墳2基・方墳3基。 六支器の方墳は直墳。	117-126-212-225
172	17	イヨダノヤマ古 墳群	いよだのやま	IYD	上田・新保	古墳	古墳中湖	環巾・鉄刀・鐵斧・ 鐵劍・鐵劍・鐵劍 (H- 鏡・鏡・鏡・鏡・ 3号墳出土土器)	羽林新保山古墳群。円墳 4基・方墳2基・段1基2馬。 3号墳出土土器含めて竹筒 式・四輪式・籠形式等の 等を確認。3号墳は洞庭山川 遺跡。方墳1基と鶴田二塚 遺跡(213)に隣接する中世 の宗教施設の可能性有り。	126-163-179- 212-213-216- 225-295-297
173	17	小久米古墳群	おぐめびー		小久米	古墳	古墳中～後期		円墳8基	95-126-212-213- 225
174	17	田江古墳群	たえ		田江	古墳	古墳・中世		円墳4基。範圍内に城郭周 邊遺構(空塹)有り。	95-126-212-213- 225
175	17	日名古墳群	ひなた		日名田	古墳	古墳群		前方後圓1基・中壇1基	95-126-187- 212-213-225-295
176	20	のぶ城跡(曾 連城跡・御前城 跡・城ヶ城跡)	いのぶのじょう		櫛原・石川松堂 近志水町原・所 同原	鐵器	南北朝・飛鳥		城跡・南北に城2基が所在。 宗教関連の遺跡か。	30-130-132-203- 212-283
177	14	中村機穴群	なかむら		中村	横穴	飛鳥白鳳		3基の開口を確認。	174-212-213-271
178	26	鶴田東谷内遺跡	ほりたひがしやま		鶴田	不明			詳解不明	212
179	26	鶴田ガス山遺跡	ほりたがすま		鶴田	不明			詳解不明	212
180	20-21	久日栄谷古墳群	くめなしに		久日	古墳	弥生・古墳後期		円墳12基・長円墳1基・方墳 4基	126-130-212- 213-225

番號 登録 番号	地図 番号	遺跡名	ふりがな	略号	所在地	種別	時代	主な出土・ 採集品	備考	主要文献
181	15	阿尼島尾ノ道跡	あおしまおえー	AOSO -A	阿尼尾島尾	集落	縄文・古墳・古代 ・中世・近世	縄文土器・石器・須 恵器・陶器・漆器 ・貴金属器	六代は古力奈羽根の拠点集 落、中世は阿尼城の城下町 の一角と想推される。	131・135・150・ 153・161・162・ 185・190・191・ 212・245・288
182	15	阿尼島尾ノ道跡	あおしまおびー	AOSO -B	阿尼尾島尾	散在地	縄文・古代・中世 ・近世	縄文土器・須恵器・近世 漆器		131・212
183	15	阿尼瀬戸ヶ谷内 道跡	あおせとがやち み		阿尼	散在地	縄文・弥生・古墳 ・古代	縄文土器・須恵器	二次的散布地。	131・135・212
184	30	特代テラヤシキ 遺跡	こうじろでらやし き		特代	寺院	中世	縄文鏡	平岡面・丸石2枚・椎穴有 り、付近は「タラヤシキ」ダ イアンジ跡」とよられる。	133・157・212
185	26	船山モリノ田塚	ほりたりのむのづか		船山	聚落	中世	縄文鏡	縄より跡田塚出土。消滅。	212
186	21	高松城跡	たかまつじょう		東原・上田・早削	城跡	中世	縄文鏡		59・132・134・203・ 212・283
187	18	中尾山遺跡	なかおひまだ		中尾山谷内	散在地	古代	縄文鏡	度流流状遺構有り。	165・212
188	18	京A遺跡	いっくみえー		京	散在地	縄文・古代	石器・須恵器・土器 鏡		212
189	18	京B遺跡	いっくみびー		京	散在地	古墳・古代	須恵器・珠洲鏡		212
190	18	桜川源口社遺跡	さくらかわわすわしゃ		桜川	散在地	中世・近世	須恵鏡・近世陶磁器		212
191	14	袖谷人口遺跡	ききなやおおぐち		袖谷	散在地	中世	珠洲鏡		165・212
192	18	定宿ソギノ遺跡	あだぢもさぎ		十・町完飯	中世墓	中世	珠洲鏡2枚・古鏡・ 四耳壺・石造物	墨れた水田の糞から火葬骨 が納められた壺3つが出土。	153・212・268
193	17	早サキカタ遺跡	はやさきかしき		早サキ	散在地	中世	土器		212
194	18	加賀板石遺跡	かがうさくらじ		加賀	散在地	古代	土器器・須恵器		212
195	26	神代ハタケダ遺跡	こうじらはたけだ		神代字利連	散在地	中世	土器		212
196	20	岩手香檜塙跡	いわてかほんば たけ		岩手郡石锤	散在地	縄文・弥生	石器	縄文時代の石器製作遺跡 か。	130・153・212
197	20	石瀬谷内ノ曲道	いわせごやちの まん		岩瀬	不明	縄文		詳細不明	130・212
198	20	老谷の上遺跡	おじだにのたきのう え		老谷	散在地	縄文中期	縄文土器		130・212
199	20	老谷遺跡	おじだに		老谷	伝承地	中世			130・212
200	21	上田ゴマジマチ 遺跡	じょくらごまじま ち		赤毛(土食)	散在地	縄文	石器		130・153・212・ 215・288
201	20	山元モリヒサ遺跡	さんげんもりひさ		見内	不明	縄文		詳細不明	130・212
202	21	久日鞍谷遺跡	くめなしたに		久日	散在地	中世	珠洲鏡		130・212
203	21	久日朴木遺跡	くめのさき		久日	散在地	古代・中世	須恵器・珠洲鏡		130・212
204	21	久日人坪遺跡	くめのおひつけ		久日	散在地	近世	縄文鏡・圓底鏡		130・212
205	21	久日大河遺跡	くめおかのち		久日	散在地	古代・中世	須恵器・珠洲鏡		130・212
206	21	久日ワタナベ跡	くめわたなべ		久日	散在地	古墳・古代	須恵器		130・212
207	21	久日の本家跡	くめくわのき		久日	散在地	古代・中世	須恵器・珠洲鏡		130・212
208	21	久日子瀬谷内遺 跡	くめこうすらやち え		久日	散在地	中世	珠洲鏡		130・212
209	14	金川書道跡	よかむぜんせ		余川	散在地	古代・中世	須恵器・珠洲鏡		129・183・212
210	19	朝日幡塚遺跡	あさひはんづ		朝日本町	中世墓	中世	石造物	櫛十枚の石造物・五輪塔等 上・川柳の中世墓地か。	106・212
211	18	大野沢遺跡	おおのざわ		大野(国)	散在地	縄文・古代	石器・土器器・須 恵器		53・165・212
212	17	上田唐篠遺跡	うわだなんぎ	UD-N	上田	散在地	縄文・古墳・古代 ・中世	縄文土器・須恵器・石 器・土器	6世紀前半と9世紀が主体。 上・川柳の中世墓地か。	53・212・213
213	17	鹿尾山遺跡	たきおざん		早削	寺院	中世	上田器・珠洲鏡・石 造物・須恵器	四十八の寺跡があったとい う寺院伝説・石造物・須 恵器・古鏡・太刀などが出土。	53・54・113・174・ 217・266
214	17	上田八道跡	うわだへー		上田	散在地	古代	須恵器		212
215	17	上田B遺跡	うわだびー		上田	散在地	中世	土器器・鐵枝		212
216	14	袖谷上谷山古墳	さきなやつちや ま		袖谷	古墳	古墳中・後期	直刀・鉄刀・土器	東西文書館・円鏡など 1基。明治時代に石室を開いた際に 「文書」を記した跡に遭 難が付したと伝える。	53・126・212・213・ 225
217	7	川津河中坂塚群	とつみや		川津宮	中世墓	中世	石造物・珠洲鏡		96・212・244
218	7	長坂行入塚	ながかきぎょう りり		長坂	聚落	中世	石造物・珠洲鏡	行入山開闢の行入塚伝説が 残る。	96・97・201・212
219	18	朝日山城跡	あきひやまじょう	ASVJ	幸町	城壁	中世	珠洲鏡・須恵器	旧称朝日山城・複数以外明 鏡など遭難はない。ほぼ消滅。	132・184・203・ 212・215・283
220	10	繩札ホウシバツ 遺跡	かねはなはうしぶ ら	KKPHI	繩札	散在地	縄文中期・古代	須恵土器・石器・須 恵器		212・288
221	17	上田C遺跡	うわだじー	UD-C	上田	散在地	古墳後期	須恵器・土器器		212・213
222	17	上田D遺跡	うわだじー		上田	不明	古墳	須恵器・土器器		212・213
223	17	上田E遺跡	うわだじー		上田	散在地	古墳・中世	須恵器・土器器		212・213
224	18	鷹川C遺跡	くらかわしー		鷹川	散在地	中世	土器器		212
225	19	岸田遺跡	からしま		中央町	散在地	中世・近世	土器器	中央は指定天然紀念物。 島内に「火ともし道藏」と よばれる砂礫堆み有り。	212
226	22-23	大浦津森遺跡	おおらふらかそ	OUT	大地	散在地	古代・近世	須恵器・土器器		212

追跡 番号	施設 番号	地 路 名	ふりがな	略 号	所 在 地	種 别	時 代	主な出土・ 採集遺物	備 考	主 要 文 献
227	21	坪治白坂跡	つぼいけいしらさか	TBIS	坪治	散布地	绳文～中期	绳文土器・石器		138-153-212-215
228	26	麻久保ナガモソ 跡	まいのほながもん そと		麻久保	散布地	古代	須恵器・十尾器		156-212
229	26	率田尼尾跡	はりたのひお		率田	聚	中世		マウンド台り。中世墓か。	212
230	26	率田人達跡	かわひだまー		率田・率田	城館	中世		中世の墓跡か。詳細不明。	212
231	23	率田山北道跡 (率田向山道路)	やないだいのむち やまやないだむか いやま		率田・率・大瀬	散布地	绳文～近世	绳文土器・石器・珠 子・骨・須恵器・珠 陶焼・过世陶器		160-212
232	26	率田B道跡	かわひだびー		率田	散布地	中世	十輪器		212
233	10-11	芝坂城跡	しばとうげじょう		余川・一削・吉流	城館	南北朝・戦国		【率田文書】『天野文書』に みえる施跡。	72-146-203-212- 283-288
234	23	深シムリ遺跡	くはしむら		率	散布地	绳文～近世	绳文土器・土居器・ 乳頭器・珠陶焼・近 世須恵器	率田南側に「風吹」(率田山 跡)が所在(手で)に現れる。	160-212
235	26	正保寺道跡	しょうほうじ	SBZ	正保・神代	散布地 寺院	绳文～弥生・古 代・中世・近世	绳文土器・石器・珠 子・骨・須恵器・十 輪器・須恵燒・近世 木製品	中世寺院 正保寺(但承地、 中世では繩文時代の河道、 街道と見られる中世後期の 上墨状況を確認。	212-220-291
236	19	鹿北道跡	くはきた		率	散布地	北川・六代・中世 ・近世	弥生土器・須恵器・ 十輪器・珠陶焼・近 世須恵器		160-212
237	19-23	松川汎北道跡	まつだえきた		率・率田	散布地	绳文・弥生・古代 ・中世	绳文土器・弥生土 器・須恵器・十輪器 ・珠陶焼・中世須恵器		160-212
238	23	率田木澤跡	やないだいばらぎ		率田	散布地	弥生・中世	弥生土器・珠陶焼		160-212
239	23	率田南道跡	やないだみみなみ	YDM	率田	散布地	弥生・古代・近世	弥生土器・須恵器・ 十輪器・珠陶焼		160-212
240	23	尾久北道跡	おさきたな	SMOK	率	散布地	中世	珠陶焼・十輪器		160-212
241	23	鳥山遺跡	しまお		鳥山	散布地	中世・近世	十輪器・青磁・鐵中 藏戸		160-212
242	18	十二町津野道跡	じゅうにちょううつの とね		十二町	散布地	古代・中世	須恵器・珠陶焼		160-212
243	23	上・中西道跡	かみなかいにし		三島	散布地	古代	須恵器・十輪器		212
244	22	率田サカイ道跡	はりたさかい		率田	散布地	先・六代・中世 ・近世	绳文土器・須恵器・ 珠陶焼		156-160-212
245	22-26	率田竹瀬道跡	はたたけはな		率田	散布地	弥生・古代・中 世・近世	弥生土器・須恵器・ 十輪器・珠陶燒		140-156-160- 212-268
246	18	十二町ガメ山内 堀跡	じゅうにちょうが めやま		十二町	古墳か 古墳	古代		詳細不明	
247	22	牛津日道跡	さかづ		牛・町	散布地	弥生・山岡	弥生土器・十輪器		212
248	22	千・町島崎道跡	じゅうにちょうし まさき		千・町	散布地	弥生・山崎	弥生土器・十輪器		212
249	22	鳥崎城跡	しまさきじょう		十二町	城館 寺院	戰国		城郭先端に十輪と輪をもつ 守衛塔跡有り。	159-203-212- 268-283
250	18	鞍川D道跡	くらかわいでー	RKDK	鞍川	集落	古代・中世	須恵器・珠陶焼・十 輪器・先・丸・木製品	舟戸側に転用された平安末 尾の丸本体が出土。	165-212-270- 289-290-296
251	18	鞍川横羽毛道跡	くらかわよこはげ		鞍川	散布地	弥・後・古墳・廣 開	弥生土器・上輪器		165-212
252	18	沢市C道跡	おきみのしー		鞍川津布	散布地	古代・中世	須恵器・上部器・珠 陶焼		165-212
253	18	雁南道跡	ぬかひかみのみ		中尾・雁南	散布地	绳文・古代・中世	绳文土器・須恵器・ 土輪器		165-212
254	18	(欠番)			頂中尾坊田塚跡(なかおはうだ)	頂中尾坊田塚跡(なかおはうだ)	(中尾新保谷内道跡(少))	に統合。		165-212-208
255	18	大野南道跡	おおのみなみ		大野	散布地	古代・中世	上輪器・須恵器・珠 陶焼		165-212
256	18	東C道跡	いざみしー		東	散布地	古代	須恵器		165-212-266
257	18	泉横山道跡	いざみよこやま		東	散布地	古代	須恵器		165-212
258	17	上・II道跡	うわうだふ		上II地	散布地	古代	須恵器		165-212
259	14	七分・II道跡	しちぶんうだふ		七分一	散布地	古代・中世	須恵器・珠陶燒		165-212
260	15	福横川口道跡	いなづみかわぐち		福横	散布地	古墳・古代	須恵器		165-212
261	12	豊谷内出中世 墓	わきがたやちで		豊方	中世墓	中世	波佐見器・五輪塔・ 宝鏡印・唐衣冠・一石 祭壇・中世土葬器	鉄網を縫り込んで作られた 墓標に供奉席・墓標として 石造物が配置される。	54-96-104-200- 201-207-212
262	25	轟谷城ヶ峰城跡	くのねじねじよう がみねじよう		轟谷	城館	戰国			212-263
263	26	豊前コツダ城 跡(率田南古跡)	そりょうこうづ らじうこうそりょ うなんふりで		豊前	城館	戰国			154-203-212-283
264	25-26	寺中竹瀬城 跡(寺中城跡)	じちゅうたけの はなしょく(じち ゅうじょく)		私寺	城館	戰国			154-212-283
265	22	深原前山道跡	ふわらわらまだ	HURM	深原	散布地	古代・中世・近世	須恵器・珠陶燒		165-212
266	22-26	麻久保後山古墳 群(寺瓶・深古 跡)	まいほうこうづ やまと(寺瓶・深古 跡)		麻久保	古墳	古墳～後圓		東四2支膏、円墳6基。	212-225
267	22	麻久保後山道跡	いくぼうしきやま		麻久保	散布地	绳文・弥生・近世	石器・弥生土器・基 層廻転	道跡内に近世の転有り。	212
268	25	矢吹ナカツ道跡	やきたなかた		矢田那	散布地	中世	十輪器		212
269	22	久山田六反坪道 跡	やなべくろくたん ぽ		久山那	散布地	中世	十輪器		212
270	4	施塙塚	わきかいかいづか		塙	塙	近世か		周塙塚か。	212

道跡番号	道跡番号	道跡跡名	ふりがな	略号	所在場	種別	時代	主な出土・ 採取遺物	備考	主要文献	
271	4	中波天神の森遺跡	なかなかみてんじん のもり		中波	祭祀	中世	陶器・板瓦（光明 真言の梵字を刻 字）・石造物	祭壇ないし中臣幕と板瓦類 の発見がある。	96-201-212	
272	12	堀塚	かみづか		小堀	塚	中世	立石「バタ」（真 言寺子塔）・石造物	山形文化史跡（昭和14年）。立 石が笠形形状の平頂山と大 きの平坦地。常乐寺が所在する。	31-34-38-96-96- 97-104-212-268	
273	24	坪池シャンソン 遺跡	つまいけしゃんど ん		坪池	塚	中世	宝篋印塔	トシャンソンのカーブン。 とくばれ山に建立した15世紀 頃の宝篋印塔。宝篋印塔は 山形県で作成された。	54-201-207-212- 293	
274	22	中谷内遺跡	なかやち		中谷内	集落	古墳中～後・古 代・中世・近世	土師器・鳥形土製 品・炭灰器・帶輪・瓦 ・茶臼・石造物、瓦砾	古墳中～後期の堅穴住居、 古代の川跡、中世の削立柱 建物と瓦陶器等を確認。	168-212-220- 228-238-243- 247-258-259- 261-262-267- 272-278-279	
275	22	万尾呂遺跡	もおびー		万尾	散布地	弥生～近世	糞中土器・土腰型、 和田型・珠裸鏡・感 中南口		168-212	
276	22	下久津呂遺跡	しもくづろ	SKZ	下久津呂	散布地	中世	土師器		212	
277	22	東原八幡遺跡	あわらーえ	AWA	東原	集落	古代・中世・近世	須恵器・上加器・漆 器・漆塗器・珠裸鏡・感 中南口	軒用器・屋上器・東人寺等 出土。	168-212-250-292	
278	22	東原日遺跡	あわらじー		東原	散布地	不明		時期不明土師器	168-212	
279	22	深原打越遺跡	ふかわらうちこし		深原	散布地	古代	須恵器・上加器		168-212	
280	21	矢山部カケリ 遺跡	やたべかわり		矢山部	散布地	中世	石造物		212	
281	26	飯久保山ノト遺 跡	いくばやまのした		飯久保	散布地	古代・中世	須恵器・十輪器・珠 裸鏡		168-212	
282	25-26	磐音寺ヨキヤナ チ遺跡	くらねおやのや ち		磐音寺	散布地	古代・中世～ 近世	須恵器・珠裸鏡		168-212	
283	25	寺中南遺跡	じっちゃんむかい		仏生寺	散布地	中世	瓦陶器		168-212	
284	26	磐音寺コツラ古 墳群	そうりょうこうで ら		磐音寺	骨骼	古墳	古墳中期	円墳2基	212-225	
285	22	万尾古墳	もお		万尾	古墳	古墳前期		改變が著しいが前方後方墳 の可能性有り(1基)。	212-225	
286	26	悲願古ノト遺跡	そうりょうふると		悲願	古墳	中世	須恵器・土器	丘陵上の平出辯と希郭状遺 跡、迷路形。	212	
287	13	磐無遺跡(上盤 無中南墓)	くまなしきみくま なし		磐無	中世墓	中世	須恵器・石造物	石造物や築石を伴うマウンド がなぜ尾根上に築造される。	174-176-201-212	
288	17	日詔古ノト遺跡	ひづめこぶくろ		日詔	散布地	古墳前・平安	上加器・須恵器		176-212	
289	17	上山G遺跡	うわだじー		上山野谷内	散布地	中世	須恵器・石造物		176-212	
290	12	小村谷内遺跡	こすげやま		小移	散布地	古墳	上加器・須恵器		197-212	
291	22	春吉奈遺跡 (もと施設在遺跡)	しゅわかなわい (もとせつきざい)	HUSY	春吉奈若宮	散布地	A埴	須恵器・上加器		212	
292	18	朝日寺山古墳群	あさひじらやま		朝日本町	古墳	古墳中期		円墳2基・方墳1基	212-225-288	
293	16	論田城塙	ろんでんきょう よ		論田スンガマ	経塙	古代末～中世初	瓦片	昭和的分類、マッコイを回顧 した際に瓦片が出土、消滅。	174-212-226	
294	21	原原ミナト遺跡	あわらみなと		原原	散布地	内清	土師器		212	
295	23	柳田布山古墳	やないだぬのおよ ま	YNK	柳田布山尾山	古墳	古墳	弥生土器・土師器	圓周定尖峰(半径13.29m)、高 方後方墳、円筒各1基、1号 坑の長さ107.5m、片厚層 最大の前方後方墳。	188-192-196- 198-203-207- 212-225-267- 268-288-294-297	
296	15	阿尾向田遺跡	あおむかいた		阿尾	散布地	弥生・古代・中世	弥生土器・土師器		190-212	
297	15	括崎向山遺跡	さっさきむかいか よ		括崎	散布地	古代・中世・近世	須恵器・珠裸鏡・上 加器		190-212	
298	27	上田子遺跡	かみたこ		上田子	城館	中世	土師器	磐造遺跡。「多胡城跡」に比定 する可能性有り。	182-212	
299	27	上田子古墳群	かみたこ		上田子	古墳	古墳前期		方墳4基	212-225	
300	22	大浦・磯古墳群	おおうらさんぞう		大浦	古墳	古墳			円墳2基	212-225
301	17	新保南遺跡	しんほみなみ	SBM	新保守尾田	集落	古代・中世	須恵器・土器等・瓦 陶器・須恵器	発掘調査で中世の溝、流路、 柱穴等を確認。	174-206-212- 223-246-295	
302	15	阿尾島山古墳群 ・玉臺群	あおしまだ	AOSD	阿尾	古墳 城塙	古墳・中世	須恵器・瓦陶器・鐵 製刀・竹筒・鐵製鏡・鐵 製鏡・瓦・グラス 小玉・石製管竹筒 (A1号埴生上品)	2号群、須方後円墳高・方 墳1基・円筒1基・A1号 (方墳9基)の発掘調査で 木棺と石葬具を確認。上 石群は奈良初期の遺構。	204-211-212- 214-225-227- 241-256-267- 282-284-296-308	
303	15	舎積オガキ古 墳群	いなみおがき		舎積	古墳	古墳		2号群、新立貝形古墳1基・復 方後円墳4基・須方後圓墳1 基・円筒1基。	204-212-223	
304	15	舎積ウシリ古墳 群	いなづみうしり		舎積	古墳	古墳		方墳9基(1基は須方後 方墳)・方墳1基。	204-212-225	
305	15	舎積城ヶ越古墳 群	いなづみじょうが のみ		舎積	古墳	古墳		円墳2基	204-212-225	
306	12	宇波ヨカラウラ 遺跡	うなみこうらうら うなみよし		宇波	散布地	古墳	須恵器・珠裸鏡		197-212	
307	12	宇波ヨシダ遺跡	うなみよし		宇波	散布地	古墳・中世	土師器		197-212	
308	18	桃川中八遺跡	くらかわなかえー	KRKN-A	桃川中・大野	散居	古墳・中世	須恵器・珠裸鏡・上 加器	日称KR-B遺跡の北西地区、 中世の墓道跡を確認。	264-296	
309	18	KB-2遺跡	けーぴー2	KB-2	大野新・大野	散布地	古代	須恵器	遺跡の大部分は複数地。	212	
310	18	KB-3遺跡	けーぴー3	KB-3	大野	散布地	古代	須恵器・土器等・珠 裸鏡	遺跡の大部分は複数地。	212	

遺跡番号	地名	遺跡名	ふりがな	略号	所在地	種別	時代	主な出土・探査遺物	備考	主要文献
311	26	慈宿野遺跡	そうりょうのぎわ		慈領	集落	古墳・中世	上層部・兵庫燒・白骨・古墳人物像	印林EJ-15遺跡、衛立社遺跡、竹井7号古墳等が後述された13-14世紀の歴史。	220-238-239-252-259
312	26	慈宿遺之前通跡	そうりょうのうらのまえ		慈領	集落	縄文・弥生後・古墳・古代・中世	赤土器・木製品・土器・石器・陶器・骨器・骨頭形彫刻等	田代NEJ-16遺跡、衛生新開の河津御宿等の木製品出土	220-229-231-233-235-238-239-250-252-259
313	22-26	NRJ-17遺跡	えみいーじー17		美山郡	散布地	縄文・弥生・古墳・古代・中近世	縄文土器・上層部・須恵器・漆器等	試削発光による選択本採認。	220
314	22	NRJ-18遺跡	えみいーじー18		久津呂	散布地	縄文・古代・中世	縄文土器・土師器・須恵器・漆器等	試掘調査では遺構未確認。	220
315	22	上久津呂中程遺跡	かみくづろなかや		上久津呂	集落	縄文・弥生後・古墳・古代・中世	縄文土器・石器・板瓦・木製品・土器・漆器・骨器・舟形埴輪等	印林NEJ-19遺跡、純文時代の谷より土器・石器・板瓦・木製品が大量に出土。縄文時代の土器は、中程遺跡の土器と同様、中世時代後半の佐伯・小笠の獨立社遺跡等も候選。	237-238-251-254-258-259-278-279-281-301
316	18	中牟手遺跡	なかおかやど		中牟	集落	弥生・古墳・古墳	十字型・須恵器・珠・陶器等	印林EJ-20遺跡	33-208-220-221-228
317	18	人野江遺跡	おののえぶち		中牟・鶴川・大野新・大野	集落	弥生・古墳・古代・中近世	弥生土器・木製品・土器・漆器等	印林EJ-21遺跡、中近世の鐵器・鍛冶遺跡を候補。	208-258-263
318	12	宇波西遺跡	うなみにし		宇波・白川	散布地	弥生・古墳・古代・中世・近世	土器等・須恵器・漆器等	印林EJ-27遺跡(307)を参考。	212-237
319	12	鷲方古墳群	わきがたにし		鷲方	古墳	古墳中期		円墳3基	204-212-225
320	12	宇波城跡(安原守城跡)	うなみじょう(あんごじじょう)		宇波	城跡	中世		「印田文書」に見える城跡。	50-203-212-283
321	12	宇波安寺古墳群	うなみあんごじ		宇波	古墳	古墳中期		円墳3基	204-212-225
322	15	猪崎大谷古墳群	さっさきおおおに		猪崎	古墳	古墳		方墳8基・長方墳1基・円墳5基	201-212-225
323	15	猪崎北古墳群・猪崎城跡(後崎跡)	さっさききた・さっさきじょう		猪崎	古墳・城跡	古墳・中世		方墳4基と城跡遺構が直接して存在する。	203-212-225-283
324	14-15	余川金谷古墳群	よかわかなや		余川	古墳	古墳		3支葬・方墳11基(内1基は因縁式古墳類丘墓か)、円墳8基。	204-212-225-288
325	14	余川田邊古墳群	よかわわた		余川	古墳	古墳		円墳5基	204-212-225
326	14	加納面古墳群	かのうしんい		加納	古墳	古墳		前方後円墳1基・方墳1基。	212-213-225
327	14-18	加納南古墳群(加納中程古墳群)・加納城跡	かのうなみ(かのうなかみ)・かのうじょう		加納	古墳・城跡	古墳・中世	太刀・鉢形・銅鏡・須恵器(筒形管状物)・水晶製勾玉・三輪玉	円墳10基程度、古墳の一部は城として中世に改築。能登道間碑の調査では3基に埋葬施設が確認。	212-213-225
328	14	七分一古墳・古墓	しちぶいち		七分一	古墳・中世	石造物		方墳1基・方墳2基	212-225
329	18	東作堀古墳群	いざみゆきやす		泉	古墳・城跡	古墳・中世		前方後円墳1基・前後方墳1基・円墳8基・方墳8基。山には城跡として造営され古墳は城跡の裏側に位置する遺構の可能性有り。	126-212-213-225
330	17-18	上田古墳群	うわだ		上田	古墳	弥生末～古墳物・古墳中期		円墳2基・方墳4基	212-213-225
331	25	移答留屋遺跡	くらほねいわや		移答	聚落	新石器	石造物(細石形石器)・土器(丸底のみ下げ底器)・小形石器(石器1)	山麓斜面を掘り込んだ岩場で、石器を置く・4枚の引札が安置される。床面に墓壇なし祭壇有り。	88-212
332	17	小室城跡	おくばじょう		小室・片川	城跡	中世			212-223
333	17	田江北古墳群(田江北山古墳群)	たえきた(たえはくさっしゃ)		田江北	古墳	古墳・後期			212-213-225
334	17-21	久日古墳群	くめのじょう		久日	古墳	中世			212-223
335	20	触坂古墳群	ふれざか		触坂	古墳	古墳		円墳8基・莫・莫・2基。幕中に久日軒塚(069)重複か。	212-213-225
336	17	新保城跡	しんぼじょう		新保	城跡	中世		鐵劍斷面彫構造。	212-283
337	17	新保古墳群	しんぼ		新保	古墳物			方墳3基	212-213-225
338	13	飛鳥城跡	とびたかじょう		谷原	城跡	中世			50-174-203-212-283
339	22	万辻城跡	むおじょう		万尾	城跡	中世			212-283-268
340	16	水谷城跡	みずたにじょう		余川・上余川・藤谷	城跡	南北朝・戦国	みずたに・上余川・藤谷	50-72-146-212-283-288	
341		谷原内古墳群	いざみやちぐち		象	古墳	古墳後期		円墳3基	212-213-225
342	18	中尾城跡古墳群	なかおきしき		中尾	古墳	弥生末～古墳物		方墳2基と4か所の段井テラス式墓葬遺構の可能性有り。	212-213-225
343	18	中尾開拓古墳群	なかおみさき		中尾	古墳	古墳初期		円墳4基・方・圓・基	212-213-225
344	18	中尾夢古墳群・中世墓	なかおかや		中尾	古墳	弥生末～古墳物・古墳・中世	十字型・兵庫燒(安土・播磨・美)・石造物	円墳2基と中世墓を複数見出し、中世古墳開拓斜面から盗掘跡と見られる堆溝焼造出。	212-213-225-266-296
345	18	中尾壇子谷内古墳	なかおかみこや		中尾	古墳	古墳後期		円墳1基	212-213-225
346	22	久津呂古墳	しもくづ		久津呂	古墳	新保末～古墳初		方・1基	212-225
347	14	谷原面古墳群	たにやうら		谷原	古墳	古墳初期		192年、開拓する谷原1遺跡(091)は古墳群に伴う祭祀施設か。	212-213-225
348	13	谷原新堂古墳群	たにやしんどう		谷原	古墳			円墳1基	212-213-225

登録番号	地図番号	遺跡名	ふりがな	略号	所在地	種別	時代	主な出土・採集遺物	備考	主要文献	
349	7-8	委城跡	すがたじょう 〔すがたのじょう〕		委城ヶ原	城館	戰国			50-203-212-283-288	
350	29	山川城跡	やまとかわきょうづ か		佐生町・高岡市 山川	城館	平安時代末期	月刀・珠御鏡・上鏡 器	白山神社森山の頂上にある 磐石より遺物出土。	212-226-293	
351	15	北八代古墳	きたやしろ		北八代	古墳	古墳			前方後円墳1基、北側に前方 後円墳地形有り。	212-225
352	18	中尾高麗古墳群	なかおたかつか		中尾	古墳	古墳後期		円墳2基	212-213-225	
353	14	柳谷石戸古内古 墳群	かさなぎいしとや ち		柳谷	古墳	古墳中～後期		円墳4基	212-213-225	
354	18	根川中B遺跡	くらかわなかひー ー	KRKC —B	根川字中	集落	彌生・古代・中世 ・近世	発生土器・石器・曲 形状御器・寶品・須 恵器・弧形鏡・上鏡 ・曲物	伊勢KDJ-2遺跡の南東地区。 弥生時代中期の河岸部、中 近世の漁獲状況を確認。	254-290-296	
355	20	熊取清木古墳群	ふるさかみすず		熊取	古墳	古墳前～中期			前方後円墳1基・円墳3基	212-213-225
356	22	大瀧三寺寺遺跡	おおうらさんじょ うじ		大瀧	散布地	縄文				212-245
357	22	志麻山古墳	みせまやま		志麻	古墳	古墳		円墳1基	212-225	
358	22	源原古墳群	みかわら		源原	古墳	古墳中～後期		円墳8基・方墳1基	212-225	
359	18-22	西朴木古墳群	にしほりのき		西朴木	古墳	古墳中～後期		円墳3基	212-225	
360	15	北八代山古跡	きたやしろなかひ ま		北八代	古墳	古墳		方墳1基	212-225	
361	18	朝日大山遺跡	あさひおおやま	ASOY	辛原	集落	糞生土器・石器			215	
362	22	大浦城跡	おおうらじょう		大浦	城館	中世			212	
363	27	上田子遺跡遺跡	かみたこすわ		上田子	散布地	中世	十輪器・古鏡・石器 物		212	
364	27	人頭ヶ岳遺跡	だいしがだけ		小竹・高岡市西 田・太田	散布地	不明	時期不明・上鏡器		212	
365	16-17	小久米久谷内 遺跡	おぐめやのやち		小久米・日名田	散布地	古代・中世・近世	須恵器・十輪器・珠 玉類		212	
366	15	横瀬オヤチ古 跡	いなづみおやち みみなし		横瀬	集落	古代・中世		旧称NEJ-26遺跡	277	
367	12	(久善)	田NEJ-27遺跡・半波西遺跡(318)に統合。							257	
368	18	神明化道跡	しんめいきた		中尾	集落	古代・中世	土師器・須恵器(燃 燒土器含む)・珠御 鏡	旧称NEJ-21遺跡の南側地 区	208-221-234	
369	17	上州西古跡	うわだにし		上田	古墳	古墳中～後期		円墳1基	213-225	
370	17	新保野原遺跡	しんほのぎわ	SBN	新保	散布地	古代・中世	須恵器・土師器・珠 御鏡・木柱・鐵板		246-269-295	
371	18	大野中遺跡	おおのなか		大野	集落	古代		旧称NEJ-22遺跡・獨立丘建 物を確認。	257-277-278- 279-287	
372	18	七分一堂口遺跡	しちぶいちどうの くち		七分一	集落	中世		旧称NEJ-23遺跡・獨立柱建 物を確認。	257-278-279	
373	14-15	加納谷内遺跡	かのうやち		加納	集落	縄文・古代・中世 ・近世		旧称NEJ-24遺跡・中野から 走る丘の集落跡・獨立建 物・区画溝・井戸・石散置 構を確認。	257-278-279	
374	15	福原天坂遺跡	いなづみあまさか		福原	集落	古代・中世・近世		旧称NEJ-25遺跡	257-277	
375	15	福原天坂北遺跡	いなづみあまさか きた	INASK	福原	集落	古代・中世・近世	須恵器・珠御鏡	旧称NEJ-28遺跡	277	
376	7-12	NEJ-29遺跡	えぬいじょーきー ー		宇波	散布地	古代	須恵器	試掘調査では須恵器確認。	257	
377	4-8	NEJ-30遺跡	えぬいじょーきー ー		宇波	散布地	中世			257	
378	7	千人塚	せんにんづか		11津宮	塚	中世・近世	立石・石器・石鏡	中歴史・近歴史・輕井澤伝 承物	96-104-201-244- 266	
379	3	平沢一里塚遺跡	ひらさわいりちづ か		平沢	隕擊	中世	立石・一字・石鏡	立石とマウンドを有する石 碑形・石碑形平沢に転用。	244-273-298	
380	7	長坂落合中世遺 跡	ながさかおちあ い		長坂	中世墓	中世(12世紀後)	須恵器・石造物	マウンドと集落遺跡・石造 物を確認。	244	
381	22	西朴木フルヤナ 遺跡	にしほりのきふる やち		西朴木	権現銅	中世(15世紀頃)	唐・本錢等1,470枚	発見品の中、古錢は200枚ご と6本札の形になっていたこと、 別に5,000枚程の古錢が出土 したが、重複率は4,700枚。	244-248-268-288	
382	22	西朴木ドウガ 子遺跡	にしほりのきふる やち		西朴木	中世墓	中世(13世紀～14 世紀)		成入男性1分位の焼骨を納 めた馬鹿塚が出土。	244-249-268	
383	18-22	西朴木ジョウコ 子遺跡	にしほりのきふ るやち		西朴木	散布地	古代・中世・近世	須恵器・珠御鏡・鐵 小袖		244	
384	14	余川片烟薪火葬 跡	よかわせんげ き		余川片煙	横穴	飛鳥白鳳		1基の開口を確認。さらに4 ～5基存在か。	235-271	
385	18	上ノ河矢知株火 葬	じゅうのこうち くわう		上ノ河矢知	横穴	飛鳥白鳳		開口している1基を含め、9 基の施設を確認。	266-271	
386	12	大塙エンニヤマ 下洞裏遺跡	おおさかいんま つ	OZED	大塙	銅鏡	縄文中期・後世	須文土器・幕生・煮 器・人骨・煮食・上 器・石碑	須文土化した後食器面に 上器・骨器・貝殻・貝類が附着す る。人頭・人骨・煮食・上器・ 石碑・須文土化した後食器面に 上器・骨器・貝殻・貝類が附着す る。人頭・人骨・煮食・上器・ 石碑	3-17-23-303	
387	17	中村大坂遺跡	なかむらおおはし	NKMOH	中村	散布地	古代・中世	須恵器・珠御鏡			
388	17	大坂山南北遺跡	でんぱやまなん み	TBYM	中村・伴坂	散布地	古代・中世	須恵器・古鏡			
389	17	伴坂上ノ江遺跡	たにやまかみのえ	TNYKE	谷原	散布地	古代	須恵器・十輪器			
390	24	上土曾安塚	じつくらようあん じづか		赤毛(土食)	塚	不明			南北に約20基の延べ、いずれ も方形の墳丘の頂上に埋葬 所の集石有り。丘のものか。	293

■水見市遺跡地図文献目録

- 1 富山県水見郡役所 1915 「古墳二箇所溝査」(行政史料)
- 2 上田三平 1918 「越中水見郡大坂町内之弥生遺跡」『歴史地誌』32巻4号
- 3 萩田吉重 1918 「越中水見郡宇波野村大坂の白山社跡」『人類學雑誌』33-7
- 4 松村 篤 1918 「越中水見郡室見大坂の人の骨」『人類學雑誌』33-7
- 5 松村 篤 1918 「新出土の窟室内遺物」『教育雑誌』7-1
- 6 阿部介四郎 1919 「越中水見郡の骨格の一編」『人類學雑誌』34-10
- 7 小林井良輔 1919 「日本古石器時代の歯牙を変形する風潮について」『人類學雑誌』34-11-12
- 8 小林井良輔 1920 「日本古石器時代のホモ人骨について」『人類學雑誌』35-11-12
- 9 佐藤仁蔵 1920 「地図により見たる越中水見の村落」『地学雑誌』32-177
- 10 大村正之 1921 「石器時代及古酒器の遺跡」『富山県史蹟名勝天然紀念物調査会報告』第2号
- 11 大村正之 1922 「大坂遺跡在在地」『富山県史蹟名勝天然紀念物調査会報告』第3号
- 12 大村正之 1923 「水見郡加納村細谷穴群」『富山県史蹟名勝天然紀念物調査会報告』第4号
- 13 大村正之・林喜太郎 1924 「朝日貝塚跡立地調査企画」『富山県史蹟名勝天然紀念物調査会報告』第6号
- 14 井木透矩人・人井敏義 1925 「越中水見郡貝塚立地発掘予報」『人類學雑誌』42-3
- 15 後藤守 1927 「大坂削済」『日本考古学』16
- 16 岩谷常憲 1927 「石器時代住居址概観」『石器時代の住居址』
- 17 反谷信昌人 1927 「大坂遺跡の跡地について」『史学研究』
- 18 林喜太郎 1927 「朝日左岸民族遺跡」『富山県史蹟名勝天然紀念物調査会報告』第8号
- 19 林喜太郎 1930 「徹谷横穴古墳」『富山県史蹟名勝天然紀念物調査会報告』第10号
- 20 林喜太郎 1930 「阿波池殿附近史蹟」『富山県史蹟名勝天然紀念物調査会報告』第10号
- 21 人村正之 1932 「朝日川東方漆川河岸の発掘調査」『富山県史蹟名勝天然紀念物調査会報告』第12号
- 22 九鬼豊運 1932 「阿波池殿」『富山県史蹟名勝天然紀念物調査会報告』第12号
- 23 人大村雅 1934 「本邦古代の前穴造跡」『史前學雑誌』第6卷 第3號
- 24 渡 訓 1935 「越中における陣屋と土器」『日本考古学会論集』3月号
- 25 鳥居正三 1937 「郡上史跡」『中部古墳調査会報告』3月号
- 26 早川正作 1937 「越中水見町洞窟立地の銅鏡」『中部古墳調査会報告』4月号
- 27 渡 訓 1937 「越中水見町洞窟立地の石碑」『中部古墳調査会報告』3月号
- 28 片上逸郎 1938 「朝日川上段人々の人類遺跡の研究」『金沢医科大学教育学雑誌』第31号
- 29 鳥居正三 1940 「越中における先史文化の造形について」『富山県史蹟名勝天然紀念物調査会報告』第14号
- 30 早川正作 1940 「越中における先史文化の造形について」『富山県史蹟名勝天然紀念物調査会報告』第14号
- 31 井川威人 1943 「吉田首長御遺跡の研究」八木書店
- 32 檀正記 1950 「阿尻村の指輪古墳」『考古学』1950年春号
- 33 富山県史蹟名勝天然紀念物調査会・富山考古学会 1950 「史蹟調査日記塙第3回発掘報告」
- 34 富山県立水見高等小学校歴史クラブ 1950 「富山県水見地方横穴溝査報告書」
- 35 富山県立水見高等小学校考古クラブ 1951 「昭和25年度研究調査報告書」
- 36 井 大門 1951 「朝日川横穴の自然遺産」『大坂』第1号
- 37 渡 豊 1951 「朝日川横穴道跡」『富山教育』45-46号
- 38 鳥居正三 1952 「人間の洞窟跡」『富山教育』
- 39 富山県立水見高等学校歴史クラブ 1952 「朝日川横穴調査報告書」
- 40 富山県立水見高等学校歴史クラブ 1952 「水見郡立史官算定」
- 41 富山県立水見高等学校歴史クラブ 1953 「名勝水見」 富山県立水見高等学校
- 42 富山県立水見高等学校歴史クラブ 1955 「加納横穴古墳発掘報告」『沖津跡横穴古墳発掘報告』『水見高校歴史クラブ報告書No.5』
- 43 旗川芳雄 1955 「小笠原寺の心臓と火葬堂」『史官』第5号
- 44 富山県立水見高等学校歴史クラブ 1956 「昭和30年度溝査報告集」
- 45 水見市文化財保存会 1957 「大坂洞跡遺跡と朝日川横穴」
- 46 櫛原景哉 1957 「越中水見郡と北丹波地方出土人頭骨器骨芯」『越中史』巻12号
- 47 富山県立水見高等学校歴史クラブ 1958 「柳田跡横穴古墳報告書」
- 48 富山県立水見高等学校歴史クラブ 1958 「名勝水見。改訂再版 水見市役所
- 49 清木 一舟 1960 「溝査説」
- 50 富山県立水見高等学校歴史クラブ 1961 「放郷の城跡」
- 51 忽那治文 1962 「水見川横穴考」
- 52 富山県立水見高等学校歴史クラブ 1962 「名勝水見」 再訂三版 水見市役所
- 53 上布村史編纂委員会 1963 「上庄史」
- 54 水見市史編纂委員会 1963 「水見市史」
- 55 富山県立水見高等学校歴史クラブ 1964 「富山県水見地方考古学跡と遺物」
- 56 富山県立水見高等学校歴史クラブ 1964 「名勝水見」 再訂四版 水見市役所
- 57 富山県立水見高等学校歴史クラブ 1966 「朝日川横穴道跡調査報告書」「富山県西第22・23号横穴古墳発掘報告書」「水見高校歴史クラブ測量報告書No.12」
- 58 渡 豊 1967 「水見郡の人文景観と文化財」『水見海岸上二工山学術研究会』
- 59 和島一編 1968 「日本の考古学」 三修時代版
- 60 鳥居正三 1969 「水見の風土記」 水見市役所、水見観光協会
- 61 渡 豊 1969 「水見川上久津洋溢跡」『富山考古学会連絡録』33
- 62 加納史編纂集委員会 1970 「加納史」
- 63 斎藤道保 1970 「富山県水見市加納町第22・23号横穴」『日本考古学会年報』18
- 64 渡 豊 1970 「四十世遺跡緊急発掘調査と埋藏文化財の整理」(パンフレット)
- 65 西井勝彌 1971 「水見川谷發見の新鉄勾玉」『考古学ジャーナル』No.54
- 66 富山県 1972 「富山県史 考古編」
- 67 水見市教育委員会 1972 「大坂の兩面遺跡 -その保護」
- 68 水見市教育委員会 1973 「富山県水見市朝日川横穴調査報告書」
- 69 鳥居正三 1975 「水見川風土記」 水見市役所、水見観光協会
- 70 水見市教育委員会 1975 「富山県水見市九頭龍富貴澤跡調査報告書」
- 71 水見市立池田小学校 1975 「水見一池田小学校と彼の歴史」
- 72 介令のあみ編纂委員会 1976 「介令のあみゆ。」
- 73 丸角義典 1977 「富山県水見考」『富山史』第66号
- 74 新潟県教育委員会 1978 「大坂の兩面遺跡 -その保護」
- 75 水見市教育委員会 1978 「福井竹臼百草」 一教育と歴史一
- 76 水見の文化財 1998 「水見の文化財」 水見市教育委員会
- 77 細川喜樹 1978 「加納古墓群の清掃選」『学芸』高岡第一学園
- 78 富山県教育委員会 1979 「昭和53年度富山県埋蔵文化財調査一覧」
- 79 関根清文 1980 「阿波史話」『水見春秋』 創刊号
- 80 齋藤忠 1980 「平成元年みる水見の発掘・発見史」 ①奈良時代～大正期 日本遺跡出版会
- 81 水見市教育委員会 1980 「富山県水見市制大久道跡発掘調査会概報」
- 82 水見市教育委員会 1980 「富山県水見市鞍川谷包含地、一の瀬包含地測量報告」
- 83 福島真樹 1980 「朝日川横穴墓」『水見春秋』 創刊号

- 84 漆 畠 1980 「最古の日本人骨か 一幻の洞穴人十五年の顛末」『水見春秋』 刊行分
- 85 漆 畠 1980 「漆川遺跡考鏡」『水見春秋』 第2号
- 86 富山市教育委員会 1981 「『富山県壁面の道踏み板古跡』一見、永井登進一」
- 87 松島 洋 1981 「水見・「二ノ瀬」低湿地の道踏み板古跡」『嵩山教育』 70号
- 88 梶木千景 1982 「腰骨の発見」『水見春秋』 第5号
- 89 水見市教育委員会 1982 「富山県氷見市長板貴賤新試掘調査報告」
- 90 安田重吉 1982 「花粉分析から見た富山湾沿岸の歴史(前編)」『小泉遺跡』 大門町教育委員会
- 91 岸本敏雄 1983 「富山県における土器製造の成立と発展」『北陸の考古学』 石川考古学研究会
- 92 水見市教育委員会・水見市立博物館 1983 「水見赤道跡地・埋藏文化財包装地所在地地図」 水見市文化財所在地図 №1
- 93 齋 尚・見島清文 1983 「中尾古説跡遺跡跡」『水見春秋』 第7号
- 94 国本岳一 1984 「加賀郡穴群」『水見市立博物館年報』 第2号
- 95 水見市教育委員会 1984 「富山県氷見市小久米古墳・小久木A遺跡試掘調査報告書」
- 96 水見市教育委員会 1984 「富山県石動山信仰遺跡動物調査報告書」
- 97 水見市立博物館 1984 「石動山信仰化遺跡・一石動山と越中空谷口」
- 98 藤原信子・大塚 1984 「『富山県』 特集: 最後の南方後円墳」『古代学研究』 第105号
- 99 岸本敏雄 1985 「大境遺跡の製塙工場」『大境』 第8号
- 100 小島俊樹 1985 「飛鳥时代的朝日下式土器再現」『大境』 第9号
- 101 林 幸門・浜口俊司 1985 「富山県朝日・小竹町貝塚出土の縄文時代人骨について」『国立科学博物館年報』 18号
- 102 水見市教育委員会 1985 「富山県氷見市小久米A遺跡発掘調査報告書」
- 103 水見市教育委員会・富山県移転課 1985 「富山県氷見市氷見町中森貝塚発掘調査報告書」
- 104 水見市立博物館 1985 「水見の造石墓石碑 - 石動山山麓を中心として-」
- 105 松浦清一 1985 「富山県氷見市泊沢地区から出土した今谷の父の「金券」」『國立科学博物館年報』 18号
- 106 国本岳一 1986 「水見市立博物館年報」『水見市立博物館年報』 第4号
- 107 佐倉 重・津口廣司 1986 「富山県氷見市大塙塚遺跡出土人骨について」『國立科学博物館年報』 19号
- 108 水見市教育委員会・八代仙だら建設計画に係る文化財調査企画 1986 「八代仙だら建設計画に係る文化財調査概要 一地形地質・生物・埋蔵文化財」
- 109 平山大介 1986 「富山湾西岸における縄文時代のイルカ捕獲活動」『大境』 第10号
- 110 金子和也 1987 「富山・石川県下遺跡の腰骨 - 私の踏ま史-」『大境』 第11号
- 111 西井龍儀 1987 「小笠原遺跡」『北陸の古代寺院』 桂美房
- 112 西井龍儀 1987 「小笠原遺跡」『北陸の古代寺院』 桂美房
- 113 通用社叢書編集委員会 1987 「『蓬川村史』」
- 114 野村 実 1988 「福積仙ヶ谷内遺跡出土遺物」『水見市立博物館年報』 第6号
- 115 高岡 徳 1988 「蓬川村について」『福島地域史研究』 刊行号
- 116 西井龍儀・林寺敬義・大野 実 1988 「水見市園丁ヶ窓跡」『大境』 第12号
- 117 水見市教育委員会 1988 「富山県福立谷田内遺跡試掘調査報告書」
- 118 山本正敏・大野 実 1988 「水見市・潟原排水機械遺跡の資料」『大境』 第12号
- 119 宇野裕夫 1989 「越中における古代手工業生産の特徴」『北陸の古代手工业生産』
- 120 小片 保・加藤克加・六反田晃 1989 「富山県氷見市泊沢穴から出土した人骨の形質について」『人類学報誌』 97-3
- 121 北 野・小坂卓治 1989 「発見された蓬川村の出土品」『水見春秋』 第20号
- 122 木立哲朗 1989 「北陸における瓦生産」『北陸の古代手工业生産』
- 123 小鶴洋平・宇野隆一 1989 「北陸における塗生産」『北陸の古代手工业生産』
- 124 闇 清 1989 「北陸における鉄生産」『北陸の古代手工业生産』
- 125 石動山文化財調査会・永見市教育委員会 1989 「国指定石動山(石動)文化財調査報告書」一八代仙だら建設計画関連一
- 126 水見市教育委員会 1989 「馬力横穴・駿道160分離通王室ネルトネル試掘工事に先立つ埋蔵文化財発掘調査」『水見市埋蔵文化財調査報告第10号』
- 127 水見市立博物館 1989 「特別展」考古資料に見る—古代の世界』
- 128 北陸古生代工業生産研究会 1989 「『北陸の古代工業生産』」
- 129 大野 実 1990 「余川村蓬川の遺跡資料」『水見市立博物館年報』 第8号
- 130 大野 実 1990 「久日村の考古資料」『久日村史』
- 131 水見市教育委員会 1990 「『駿道160号氷見ハイバス埋蔵文化財調査報告書』」『水見市埋蔵文化財調査報告第11号』
- 132 高岡 徳 1990 「『水見市埋蔵文化財による中世山城とその性格』」『富山市日本海文化研究所紀要』 第4号
- 133 宇野裕夫 1991 「『律令社会の考古学的研究 北陸舞舞台として』」桂美房
- 134 人野 実 1991 「『大境遺跡発掘調査周辺の周囲』」『東京市立博物館年報』 第9号
- 135 水見市教育委員会 1991 「一般国道160号氷見バイパス埋蔵文化財調査報告書II」『水見市埋蔵文化財調査報告第12号』
- 136 西井龍儀 1991 「越中における在地性の出現」『北陸古代寺塔碑研究』 刊行号
- 137 水見市教育委員会 1992 「水見バイパス山崎跡遺跡報告書1 山崎城跡」『阿尾尾山ケ谷内横穴群』『水見市埋蔵文化財調査報告第13号』
- 138 人野 実 1992 「『水見山崎跡の遺跡』」『水見市立博物館年報』 第10号
- 139 大野 実 1992 「『筑が瀬跡の考古資料』」『水見市立博物館年報』 第10号
- 140 大野 実 1992 「『御前山遺跡の考古資料』」『水見市立博物館年報』 第10号
- 141 大野 実 1992 「『久里木跡発掘調査会議要』」『水見市立博物館年報』 第10号
- 142 林寺敬義 1992 「『山崎城跡とその構造遺物』」『大境』 第14号
- 143 林寺敬義 1992 「『小竹町』について」『水見春秋』 第25号
- 144 佐伯哲也 1992 「『水見市山崎の城跡について』」『水見春秋』 第26号
- 145 人野 実 1993 「『明日山』山頂の須弥について」『水見市立博物館年報』 第11号
- 146 斎村秀章 1993 「『竹の歩み』」
- 147 佐伯哲也 1993 「『水見市山崎の城跡』(1) 森寺城址」『水見春秋』 第28号
- 148 高瀬保嗣 1993 「『圓山・富山の歴史』」河出書房新社
- 149 水見市教育委員会 1993 「『水見市遺跡調査』(第2版)」『水見市埋蔵文化財調査報告第14号』
- 150 水見市教育委員会 1993 「『水見バイパス山崎跡遺跡報告書II』『阿尾尾山A遺跡概報一』『水見市埋蔵文化財調査報告第15号』
- 151 水見市教育委員会 1993 「『郡指定史跡山崎城跡文化財調査会議要』」郷土読本第10集
- 152 水見市教育委員会 1993 「『水見市文化財ハンディック』」郷土読本第10集
- 153 水見市立博物館 1994 「特別展 身近な遺跡が-」
- 154 球 宗一 1993 「越中の世界:山城の謎問題」『越中の山城郭』
- 155 近藤義則 1994 「日本十箇製陶研究」
- 156 大野 実 1994 「『奈良時代の二ノ瀬』」『水見春秋』 第30号
- 157 大野 実 1994 「『神代チカラギヤシ遺跡について』『越中二上山と国泰寺』」桂美房
- 158 弘澤洋子・総合調査団 1994 「『越中二上山と国泰寺』」桂美房
- 159 林寺敬義 1994 「『鳥居城』」『水見春秋』 第30号
- 160 水見市教育委員会・富山大学考古学研究室 1994 「『見市埋蔵文化財分布調査報告』」『水見市埋蔵文化財分布調査報告第16番』
- 161 水見市教育委員会 1994 「『水見バイパス山崎跡調査報告書』『阿尾尾山A遺跡』」『水見市埋蔵文化財調査報告第17番』
- 162 水見市立博物館 1994 「『御前山』近世の東山町と住民のくらし」『水見市近世史料集成第15冊』
- 163 水見市立博物館 1994 「『特別展 占拠時代の須庭跡』」
- 164 古川康晴 1994 「『世世復興の研究』」弘川古文庫
- 165 水見市教育委員会・富山大学考古学研究室 1995 「『水見市埋蔵文化財分布調査報告書』」『水見市埋蔵文化財調査報告第17番』
- 166 水見市教育委員会 1995 「『駿道160分離通王室ネルトネル試掘調査概要(1)』」『水見市埋蔵文化財調査報告第19番』
- 167 佐伯哲也 1995 「『水見山崎の城郭(2) 山崎城跡』」『水見春秋』 第31号
- 168 水見市教育委員会・富山大学考古学研究室 1996 「『水見市埋蔵文化財分布調査報告書』」『水見市埋蔵文化財調査報告第20番』
- 169 水見市教育委員会 1996 「『胡日塚』一級巡査認証調査概要(2)」『水見市埋蔵文化財調査報告第21番』

- 170 水見市教育委員会 1996 「永見ババ式古道遺跡調査報告書」 阿尻鳥山出露跡「阿尻鳥山跡跡」 水見市埋蔵文化財調査報告第22号
- 171 佐伯也也 1996 「永見市内の城郭（3）石垣の城址」 「水見春秋」 第31号
- 172 水見市立博物館 1996 「特別展 権威の祈り」
- 173 大浦慎一 1997 「小野の摩耶頂山」 「東見春秋」 第35号
- 174 猪無村史行委員会 1997 「熊無村史」
- 175 槙木文泰 1997 「富山市の考古学 文獻と年表」
- 176 水見市教育委員会 1997 「永見市埋蔵文化財分布調査報告書」 水見市埋蔵文化財調査報告第23号
- 177 水見市教育委員会 1997 「朝日貝塚Ⅲ 一般廻遊試掘調査概要（3）」 水見市埋蔵文化財調査報告第24号
- 178 北島市貝塚研究会 1997 「中・近世の北島『考古学が語る社会史』」
- 179 人野 宏 1998 「イヨゾヤマノ須須」 「水見市立博物館年報」 第16号
- 180 大野 宏 1998 「「日吉田山出露跡」の資料」 「大野」 第19号
- 181 桑本文春 1998 「水見山大邊洞窟、朝日貝塚の調査記録を真からわかること」 「埋文とやまと」 第61号 富山県埋蔵文化財センター所報
- 182 朴井麻州 1998 「朝日山出露跡」 「水見春秋」 第38号
- 183 水見市教育委員会 1998 「富山大学考古学研究室」 1998 「水見市埋蔵文化財分布調査報告書」 水見市埋蔵文化財調査報告第25号
- 184 水見市教育委員会 1998 「朝日山貝塚 七軒町地区斜傾斜地崩壊防止工に先立つ発掘調査」 「水見市埋蔵文化財調査報告第26号
- 185 水見市立博物館 1998 「特別展 あおよししなさかる 一平城から城中へ」
- 186 人野 宏 1999 「懇意賀の出上調査」 「水見市立博物館年報」 第17号
- 187 人野 宏 1999 「貴金属調査報告」 「日名山1号墳」 「水見市立博物館年報」 第17号
- 188 富山古占会 1999 「富山平野の出上調査」 富山古占会創立50周年記念シンポジウム発表資料・資料集
- 189 水見市 1999 「永見市史」 9 資料編七・自然環境
- 190 水見市教育委員会・富山大学考古学研究室 1999 「水見市埋蔵文化財分布調査報告VI」 水見市埋蔵文化財調査報告第27号
- 191 水見市立博物館 1999 「特別展 戦国、水元 一国人たちの足跡」
- 192 大野 宏 2000 「前半期の大型後方遺跡」 「富山県丹波布石山古墳」 「季刊 考古学」 第70号
- 193 岩川尚史 2000 「傳田山尼山古道視察記」 「大野」 第20・21号 創立50周年記念合併号
- 194 久木義典 2000 「傳田山尼山古道について書き下す」 「大野」 第20・21号 創立50周年記念合併号
- 195 多賀寅史 2000 「傳田山尼山古道の調査と見立て」 「大野」 第20・21号 創立50周年記念合併号
- 196 西井信裕 2000 「傳田山尼山古道の見立てと測量」 「大野」 第20・21号 創立50周年記念合併号
- 197 水見市教育委員会・富山大学考古学研究室 2000 「水見市埋蔵文化財分布調査報告書」 水見市埋蔵文化財調査報告第28号
- 198 水見市教育委員会 2000 「御山1号墳」 「山頂」 第1次・第二次発掘調査の成果」 「水見市埋蔵文化財調査並報告第29号
- 199 水見市教育委員会 2000 「森寺城」 「特許掘削の鉄壁」 「水見市埋蔵文化財調査報告第30号
- 200 水見市教育委員会 2000 「駿谷山内出土中華器」 「水見市埋蔵文化財調査報告第31号
- 201 北陸山世界考古学研究会 2000 「中世山陰の石塔・石仏」
- 202 佐藤 健 2001 「日本における洞穴遺跡研究」 千葉大学・爱知学院大学講義録 発聴者談話会
- 203 水見市教育委員会 2001 「永見の山城」 山城競馬本第14集
- 204 水見市教育委員会 2001 「永見市埋蔵文化財分布調査報告（丘陵地区）」 「水見市埋蔵文化財調査報告第32号
- 205 水見市教育委員会 2001 「御山尼山古墳・古墳」 「第3回発掘調査の成果」 水見市埋蔵文化財調査報告第33号
- 206 水見市教育委員会 2001 「新保南遺跡」 中山間地帯総合整備事業に伴う試掘調査概要」 水見市埋蔵文化財調査報告第34号
- 207 深泽伸三・木原 兼監修 2001 「富山新聞社記念50周年記念出版 ふるさと富山古史船」 富山新聞社
- 208 財团法人富山県文化振興財團 埋蔵文化財調査企画室 「富山県文化振興財團埋蔵文化財調査企画報告」 NEJ-13・NEJ-14・NEJ-20・NEJ-21・中尾辻山遺跡・中尾新谷古道・遷移一】
- 209 財团法人富山県文化振興財團 埋蔵文化財調査企画室 2002 「中尾辻山遺跡埋蔵文化財調査報告書」 第10集
- 210 富山市教育委員会 2002 「フーラム 古代越中國の古刹と瓦葺」 「奈良鳥山1号墳 第1回・第2回発掘調査報告書」
- 211 富山市人文部学部考古学研究室 2002 「阿尻鳥山1号墳 第1回・第2回発掘調査報告書」
- 212 水見市 2002 「永見市史」 7 資料編五・考古
- 213 水見市教育委員会 2002 「永見市埋蔵文化財分布調査報告（丘陵地区）II」 水見市埋蔵文化財調査報告第35号
- 214 水見市教育委員会 2002 「永見市埋蔵文化財分布調査報告（丘陵地区）II 別冊・阿尻鳥山1号墳」 水見市埋蔵文化財調査報告第35号
- 215 水見市教育委員会 2002 「日明山大塚」 都市計画公開団示公開並壁事業に伴う発掘調査概要」 水見市埋蔵文化財調査報告第36号
- 216 水見市立博物館 2002 「特別展 国の草園 一古墳時代の武器と武具」
- 217 水見市立博物館 2002 「特別展 大崩落をさぐる」
- 218 斎藤義樹 2002 「永見市安曇坂陽城坂石壁」 「水見市立博物館年報」 第20号
- 219 大谷正巳・林寺義司 2003 「梅田神社遺跡表面剥離試験調査の金匱書の発見」 「水見市立博物館年報」 第21号
- 220 財团法人富山県文化振興財團 埋蔵文化財調査企画室 2003 「能登白鳥岸迫道埋蔵文化財包蔵地圖報告書」 NEJ-15(雄領野鷹跡)・NEJ-16(猪籠之浦遺跡)・NEJ-17・NEJ-18・正保寺遺跡・越上原遺跡・中谷内跡遺跡・中尾辻山遺跡・中尾辻山遺跡一、富山県文化振興財團埋蔵文化財発掘調査報告第29号
- 221 財团法人富山県文化振興財團 埋蔵文化財調査企画室 2003 「照藏文化財調査概要 一平成14年度一」
- 222 水見市教育委員会 2003 「國説『水見の歴史・民情』」 緯第15号
- 223 水見市教育委員会 2003 「新保南遺跡」 中山間地帯総合整備事業に伴う発掘調査企画報告書」 水見市埋蔵文化財調査報告第37号
- 224 水見市教育委員会 2003 「御山保城跡」 水見市埋蔵文化財調査報告書
- 225 水見市教育委員会 2003 「永見市埋蔵文化財分布調査報告（丘陵地区）III」 水見市埋蔵文化財調査報告第39号
- 226 関口正義・橋本正義 2003 「富山県の「阿尻」」 「富山考古学研究室論叢」 橋本様 一秋山津斗先生古稀記念一
- 227 富山市人文部学部考古学研究室 2003 「阿尻鳥山1号墳 第1次発掘調査報告書」
- 228 青山 亮 2004 「考古学代中期～後期の上器群について」 一水見市中谷内跡出土の上器群・須恵器についての資料紹介一「富山考古学研究」 紀要 第7号 財团法人富山県文化振興財團 埋蔵文化財調査事務所
- 229 朝川 勝 2004 「慈眼鏡之前遣出跡の土器群について」 一コップ形須恵器を中心に一「富山考古学研究」 纪要 第7号 財团法人富山県文化振興財團 埋蔵文化財調査事務所
- 230 荒川和則 2004 「中尾辻山古道出土の鉢形土器について」 一富山県内出土の鉢形土器の集成一「富山考古学研究」 纪要 第7号 財团法人富山県文化振興財團 埋蔵文化財調査事務所
- 231 石川田子はず 2004 「須恵器之前遣出跡の水器類について」 「富山考古学研究」 纪要 第7号 財团法人富山県文化振興財團 埋蔵文化財調査事務所
- 232 石川田子はず 2004 「苦竹山出土物像」 について 一慈眼鏡之前遣出跡上付資料の紹介を兼ねて一「富山考古学研究」 纪要 第7号 財团法人富山県文化振興財團 埋蔵文化財調査事務所
- 233 内田重紀子 2004 「御宿宿之南造田山の施釉陶器」 「富山考古学研究」 纪要 第7号 財团法人富山県文化振興財團 埋蔵文化財調査事務所
- 234 進高志 2004 「水見地方の審瀬塚遺跡構造」 一中尾新谷保存古跡の調査から一「前山考古学研究」 纪要 第7号 財团法人富山県文化振興財團 埋蔵文化財調査事務所
- 235 大野 宏 2004 「便衣大丸（ヒスイ大丸）」 「季刊 考古学」 第89号
- 236 小出弘景 2004 「慈眼鏡之前遣出跡上の井口祭祀」 「富山考古学研究」 纪要 第7号 財团法人富山県文化振興財團 埋蔵文化財調査事務所
- 237 財团法人富山県文化振興財團 埋蔵文化財調査事務所 2004 「能登白鳥岸迫道埋蔵文化財包蔵地圖報告書」 NEJ-19 (上人津呂中屋庭遺跡)・板屋谷内古跡群・板屋谷内古跡群一「富山県文化振興財團埋蔵文化財調査報告書」 第25号
- 238 財团法人富山県文化振興財團 埋蔵文化財調査事務所 2004 「黒島城跡」 「富山県文化振蔵文化財調査報告書」 一平成15年度一
- 239 衫川秀子 2004 「北陸の中世鉄製鋸について」 一越中の鉄鋸を中心一「富山考古学研究」 纪要 第7号 財团法人富山県文化振興財團 埋蔵文化財調査事務所
- 240 鈴木義典 2004 「便衣大丸（ヒスイ大丸）」 「季刊 考古学」 第89号
- 241 高橋浩一・猪瀬政 2004 「永見市鳥居山鳥居1号墳の形状と能登地方の古墳」 「日本考古学会第70回総会研究発表要旨」
- 242 富山市教育委員会 2004 「フーラム 素食時代の富山を探る」 フーラム全三回の記録一
- 243 中野千鶴子 2004 「中谷内跡出土の綠色施灰瓦片について」 一C3地区出土資料の紹介一「富山考古学研究」 纪要 第7号 財团法人富山県文化振興財團 埋蔵文化財調査事務所
- 244 水見市教育委員会 2004 「永見市埋蔵文化財分布調査報告（丘陵地区）IV」 水見市埋蔵文化財調査報告第40号

- 245 水見市立博物館 2004 「特別展 とる・たべる・いのる 一縦文人の生活誌」
- 246 廣瀬直輔 2004 「新保野原跡式土器概要」『富山市立博物館』 第22回
- 247 網川真理子 2004 「中谷内遺跡出土の袋形釜斧」『富山考古学研究』紀要 第7号 財团法人富山県文化振興財团 墓藏文化財調査事務所
- 248 宮道一 2004 「水見市西朴木フルマチ遺跡出土の「括大量出土銅」」『水見市埋蔵文化財分布調査報告(丘陵地区)Ⅳ』 水見市埋蔵文化財調査報告第40回
- 249 長井佐重 2004 「西朴木村ガヤチ遺跡の焼骨について」『水見市埋蔵文化財分布調査報告(丘陵地区)Ⅳ』 水見市埋蔵文化財調査報告第40回
- 250 森田利代 2004 「惣作曲前造跡出土の出土文字資料」『富山考古学研究』紀要 第7号 財团法人富山県文化振興財团 墓藏文化財調査事務所
- 251 石川ゆずは 2005 「上久押谷中庄遺跡出土の弦状赤陶木製品」『富山考古学研究』紀要 第8号 財团法人富山県文化振興財团 墓藏文化財調査事務所
- 252 石川ゆずは 2005 「弥生時代中期～古墳時代前期にかけての木製容器 一小型容器・羽物桶を中心に」『富山考古学研究』紀要 第8号 財团法人富山県文化振興財团 墓藏文化財調査事務所
- 253 京 幸樹 2005 「中尾遺跡谷内遺跡出土の石皿について」『富山考古学研究』紀要 第8号 財团法人富山県文化振興財团 墓藏文化財調査事務所
- 254 内田電策 2005 「上久押谷中庄遺跡出土の土器文字資料」『富山考古学研究』紀要 第8号 財团法人富山県文化振興財团 墓藏文化財調査事務所
- 255 人井 宏 2006 「布引水路をめぐる古代史」『海・湖・川をめぐる日本海文化』 II 日本海文化研究所公開講座平成16年度記録集 富山市日本海文化研究所
- 256 小島俊彦 2005 「バスクケット型土器と二ツ山茶葉模様把手」『大坂』 第25号 湯 熊先生追悼特
- 257 財团法人富山県文化振興財团 墓藏文化財調査事務所 2005 「能登自前車道遺跡埋蔵文化財発掘調査報告 一中尾遺跡文化財包蔵推定地・NEJ-22(大野中遺跡)・NEJ-23(七分一遺跡)・NEJ-24(加納谷内遺跡)・NEJ-25(横坂天拔築跡)・NEJ-27(半波西遺跡)・NEJ-29』 富山県文化振興財团 墓藏文化財調査事務所
- 258 財团法人富山県文化振興財团 墓藏文化財調査事務所 2005 「埋蔵文化財調査小綱要 一平成16年度」
- 259 財团法人富山県文化振興財团 墓藏文化財調査事務所 2005 「大坂根祭典開拓地の通報屋 古代のかたりべ」
- 260 富山市人文学部考古学研究室 2005 「阿尾島田A2号墳 一岱1次火葬骨粉骨化物一」
- 261 西川敏野 2005 「古墳時代北陸の袋形釜について」『富山考古学研究』紀要 第8号 財团法人富山県文化振興財团 墓藏文化財調査事務所
- 262 梅本正希 2005 「人地名付伴隨遺物の解説について」『大坂』 第25号 御 先生追悼特
- 263 林 啓男 2005 「北陸地方出土の中型陶器品」『富山考古学研究』紀要 第8号 財团法人富山県文化振興財团 墓藏文化財調査報告第41号
- 264 水見市教育委員会 2005 「萬川中八造跡 葦原川バス道新幹線発掘調査報告」『水見市埋蔵文化財調査報告第42号』
- 265 水見市教育委員会 2005 「千久里城跡」『水見市埋蔵文化財調査報告(丘陵地区)Ⅴ』 水見市埋蔵文化財調査報告第43号
- 266 水見市教育委員会 2005 「水見市埋蔵文化財分布調査報告(丘陵地区)Ⅵ」 水見市埋蔵文化財調査報告第43号
- 267 水見市埋蔵文化財調査実行委員会 2005 「古伊古墳」フォーラム『日本海へ交流する王者たち』～柳田布施山古墳と阿尾島田A1号墳～
- 268 水見市立博物館 2005 「新規水路の入りと古墳の歴史をさぐる」
- 269 岩瀬義典 2005 「新規水路遺跡出土の遺物の紹介」『水見市立博物館前年報』 第23号
- 270 廣瀬直輔 2005 「新規川口跡の丸木舟・一丸土舟木舟に残る加工痕・使用痕への試論―『船をつくる、つたえる 和船造技術を後世に伝える公 調査報告書』 和船建造技術を後世に伝える会
- 271 福岡市教育委員会・富山考古学会 2005 「ふくおか歴史文化フォーラム 「ふくおかの飛鳥時代を考える」資料集」
- 272 網川真理子 2005 「中谷内遺跡出土の生糞時代石器類」『富山考古学研究』紀要 第8号 財团法人富山県文化振興財团 墓藏文化財調査事務所
- 273 宮道一 2005 「高岡市立芦原探穴の経緯」『二上山古墳』 第2号
- 274 湯山城跡公園物語矢張委員会 2005 「湯山城づくりのさるさと活用化イベント 湯山城戦国物語2005」
- 275 小谷 透 2006 「私生地付伴隨の歴史」『私生寺』 佐生小学校130周年記念誌
- 276 小谷 透 2006 「水見市生寺地区の歴史」『水見市立博物館年報』 第24号
- 277 財团法人富山県文化振興財团 墓藏文化財調査事務所 2006 「能登自前車道遺跡・能登自前車道周辺埋蔵文化財発掘調査報告 一大野中遺跡・植種天坂遺跡」 NEJ-26(植種オキナハ遺跡)・NEJ-28(植種天坂北遺跡) 一 富山県埋蔵文化財振興財團風呂屋文化財発掘調査報告第32集
- 278 財团法人富山県文化振興財团 墓藏文化財調査事務所 2006 「平成17年度 墓藏文化財年報」
- 279 財团法人富山県文化振興財团 墓藏文化財調査事務所 2006 「やまやま発見だより 平成17年度 発掘調査報一」
- 280 佐伯哲也 2006 「春吉寺跡の構造から読み取る改修年代について」『水見春秋』 第53号
- 281 新井 博 2006 「上久押谷中庄遺跡の土器側面用刷」『富山考古学研究』紀要 第9号 財团法人富山県文化振興財团 墓藏文化財調査事務所
- 282 杉山大曾 2006 「北陸の後半後期 古墳中期の鉢型・ヤリ頭の検討」『富山考古学研究』紀要 第9号 財团法人富山県文化振興財团 墓藏文化財 調査事務所
- 283 富山県埋蔵文化財センター 2006 「富山県中世城跡遺跡総合調査報告書」
- 284 富山大学人文学部考古学研究室 2006 「阿尾島田A2号墳 一第一次発掘調査報告書一」
- 285 富山大学人文学部 2006 「立谷の「山古墳」を考古学する」 富山大学地域連携プロジェクト 富山大学人文学部日本海総合研究プロジェクト 平成17年度公開研究会
- 286 富山大学人文学部考古学研究室 2006 「平成17年度 富山大学人文学部公開研究会 北陸の古墳編集の再検討」
- 287 中村亮一 2006 「大野中遺跡A地区における古代の土器組成について」『富山考古学研究』紀要 第9号 財团法人富山県文化振興財团 墓藏文化財 調査事務所
- 288 水見市 2006 「水見市史」 遷都記・古代・近世
- 289 水見市教育委員会 2006 「萬川中八造跡 川原川バイパス遺跡発掘調査報告Ⅱ」 水見市埋蔵文化財調査報告第44号
- 290 水見市教育委員会 2006 「萬川中八造跡 萩原川バイパス遺跡発掘調査報告Ⅲ」 水見市埋蔵文化財調査報告第45号
- 291 水見市教育委員会 2006 「正保寺遺跡」 鶴越白蛇塚古墳に伴う発掘調査報告Ⅰ」 水見市埋蔵文化財調査報告第46号
- 292 水見市教育委員会 2006 「萬川中八造跡 能登白鹿敷遺跡に伴う発掘調査報告Ⅱ」 水見市埋蔵文化財調査報告第47号
- 293 水見市教育委員会 2006 「水見市埋蔵文化財分布調査報告(丘陵地区)Ⅳ」 水見市埋蔵文化財調査報告第48号
- 294 水見市教育委員会 2006 「立野櫛田出土山古墳埋蔵文化財報告書」
- 295 水見市埋蔵文化財センター 2006 「新規川口跡 口・新井住一 既往古墳付側を横切る街道一」
- 296 水見市立博物館 2006 「特別展 竹里門の謎にせまるー山城・寺院・絶景氏ー」
- 297 広瀬和監修・柴山雅太編『真珠之園 円見・一西山古墳街遺跡ー考古学リーダー8 六一書房
- 298 旗瀬義典 2006 「水見市高松遺跡クラブリ(遺品の紹介)」『水見市立博物館年報』 第24号
- 299 廣瀬直輔 2006 「南上町西寺守の石造物」『水見市立博物館年報』 第24号
- 300 町田貴一 2006 「下老子岩川遺跡の「大地式上蓋」」『駿河やまと』 vol.5 富山県埋蔵文化財センター
- 301 町田貴一・杉山人也 2006 「北陸地方における貝殻のあり方」『富山考古学研究』紀要 第9号 財团法人富山県文化振興財团 墓藏文化財調査事務所
- 302 水見市 2007 「水見市史」 10 資料編 八 文化遺産
- 303 水見市教育委員会 2007 「大坂境エンニヤマ下洞窟遺跡 大坂境(急傾斜地崩壊)対策事業関連公査報告」 水見市埋蔵文化財調査報告第49号
- 304 水見市教育委員会 2007 「水見市造跡地図(第3版)」 水見市埋蔵文化財調査報告第50号

■水見市教育委員会刊行埋蔵文化財関連報告書・刊行物一覧

水見市埋蔵文化財調査報告

No.	書名	発行年月	備考	文献No.
1	「富山県水見市朝日長山古墳調査報告書」	1973.3		68
2	「富山県水見市九殿製塙遺跡調査報告書」	1975.3		70
3	「富山県水見市城山大久前遺跡調査概報」	1980.3		81
4	「富山県水見市轟川金谷包含地...の断面包含地調査概報」	1980.10		82
5	「富山県水見市長坂炭鉱跡試掘調査報告」	1982.3		89
6	「富山県水見市小久米古墳群・小久米A遺跡試掘調査報告書」	1984.3		95
7	「富山県水見市小久米A遺跡発掘調査報告書」	1985.3		102
8	「富山県水見市轟田中遺跡調査報告書」	1985.3	発行は富山県砂防課と連名	103
9	「富山県西田西谷内遺跡試掘調査報告書」	1988.3		117
10	「扇形横穴群 一般国道160号延泊トンネル振幅工事に先立つ埋蔵文化財発掘調査」	1989.6		126
11	「一般国道160号水見バイパス埋蔵文化財調査報告Ⅰ」	1990.3		131
12	「一般国道160号水見バイパス埋蔵文化財調査報告Ⅱ」	1991.3		135
13	「水見バイバス開通遺跡調査報告 I 山崎城跡 阿尾瀬戸ヶ谷内横穴群」	1992.3		137
14	「水見市遺跡地図 [第2版]」	1993.3		149
15	「水見バイバス開通遺跡調査報告 II 一阿尾島尾A遺跡概報」	1993.3		150
16	「水見市埋蔵文化財分布調査報告Ⅰ」	1994.3	富山大学考古学研究室と共編	160
17	「水見市埋蔵文化財分布調査報告Ⅱ」	1995.3	富山大学考古学研究室と共編	165
18	「水見バイバス開通遺跡調査報告Ⅲ 阿尾島尾A遺跡」	1994.3		161
19	「朝日貝塚」一般開墾認証試掘調査概要(1)」	1995.3		166
20	「水見市埋蔵文化財分布調査報告Ⅳ」	1996.3	富山大学考古学研究室と共編	168
21	「朝日貝塚 II 一般開墾認証試掘調査概要(2)」	1996.3		169
22	「水見バイバス開通遺跡調査報告Ⅴ 阿尾島尾A遺跡 阿尾島尾山跡」	1996.3		170
23	「水見市埋蔵文化財分布調査報告Ⅵ」	1997.3	富山大学考古学研究室と共編	176
24	「朝日貝塚 III 一般開墾認証試掘調査概要(3)」	1997.3		177
25	「水見市埋蔵文化財分布調査報告Ⅶ」	1998.3	富山大学考古学研究室と共編	183
26	「朝日山城跡 七軒町地区急傾斜地崩壊防止工事に先立つ発掘調査」	1998.3		184
27	「水見市埋蔵文化財分布調査報告Ⅷ」	1999.3	富山大学考古学研究室と共編	190
28	「水見市埋蔵文化財分布調査報告Ⅸ」	2000.3	富山大学考古学研究室と共編	197
29	「福井市布尾山古墳 第1次・第2次発掘調査の成果」	2000.3		198
30	「森守城跡 一試掘調査の概要」	2000.3		199
31	「藤方谷内出土中世墓」	2000.5		200
32	「水見市埋蔵文化財分布調査報告(丘陵地区)Ⅰ」	2001.3		204
33	「水見市埋蔵文化財分布調査報告(丘陵地区)Ⅱ」	2001.3		205
34	「新保南遺跡 中山間地域総合整備事業に伴う試掘調査概要」	2001.3		206
35	「水見市埋蔵文化財分布調査報告(丘陵地区)Ⅲ」「別置...阿尾島田A1号墳」	2002.3		213
36	「朝日大山遺跡 都市計画公團朝日山公園修復事業に伴う試掘調査概要」	2002.3		215
37	「新保南遺跡 中山間地域総合整備事業に伴う試掘調査報告書」	2003.2		223
38	「飯久保城跡」	2003.3		224
39	「水見市埋蔵文化財分布調査報告(丘陵地区)Ⅳ」	2003.3		225
40	「水見市埋蔵文化財分布調査報告(丘陵地区)Ⅴ」	2004.3		244
41	「鞍川中八塚跡 鞍川バイパス遺跡群発掘調査報告」	2005.2		264
42	「千久城跡」	2005.3		265
43	「水見市埋蔵文化財分布調査報告(丘陵地区)Ⅵ」	2005.3		266
44	「鞍川D遺跡 鞍川バイパス遺跡群発掘調査報告Ⅱ」	2006.3		289
45	「鞍川中B遺跡 鞍川バイパス遺跡群発掘調査報告Ⅲ」	2006.3		290
46	「止保寺遺跡 能越自動車道建設に伴う発掘調査報告」	2006.3		291
47	「栗原八塚跡 能越自動車道建設に伴う発掘調査報告Ⅱ」	2006.3		292
48	「水見市埋蔵文化財分布調査報告(丘陵地区)Ⅶ」	2006.3		293
49	「大焼エンニヤマト洞窟跡 大焼地区急傾斜地崩壊対策事業関連発掘調査報告」	2007.3		303
50	「水見市遺跡地図 [第3版]」	2007.3	本書	304

その他、埋蔵文化財関連報告書・刊行物

No.	書名	発行年月	備考	文献No.
1	「大焼の倒耕跡 ーその保護」	1972.3		67
2	「水見市遺跡地図 埋蔵文化財包蔵地所在地地図」	1983.3	水見市立博物館と共編	92
3	「富山県石動山信仰遺跡遺物調査報告書」	1984.3		96
4	「八代仙ダム建設計画に係る文化財調査概報 一地形地質・生物・埋蔵文化財」	1986.12	八代仙ダム建設計画に係る文化財調査団と共編	108
5	「国指定史跡石動山文化財調査報告書 一八代仙ダム建設計画関連」	1989.3	石動山文化財調査団と共編	125
6	「国指定史跡阿尾城跡文化財調査中間報告」	1993.3		151
7	「史跡柳井布尾山古墳整備事業報告書」	2006.3		294

■市内遺跡詳細分布調査事業 調査員・調査補助員・調査協力者

平成5~11年度 氷見市埋蔵文化財分布調査団（職名・所属等は調査時のもの）

調査团长：江瀬 武 氷見市教育委員会教育長

調査員：宇野隆志 富山大学人文学部教授（～平成10年度）

前川 勇 富山大学人文学部講師（～平成10年度）、教授（平成11年度）

高橋清二 富山大学人文学部講師（平成11年度）

鈴木瑞穂 氷見市教育委員会生涯学習課学芸員（～平成6年度）、主任学芸員（平成7年度～）

大野 実 氷見市教育委員会生涯学習課学芸員（～平成6年度）、主任学芸員（平成7年度～）

調査補助員・調査協力者

平成5年度

調査補助員：高橋清二、鈴木和子（以上、富山大学大学院人文学科研究科学生）、角田隆志、大知正枝、小野木学、海道順子、鶴原滋高、島崎久恵、中村大介、長谷川幸志、松田留美、松山温代、宮田 明、鶴沼弥生、大野淳也、野川裕二、大秦司統、大高政史、大平愛子、河合 忍、佐藤聖子、武田昌明、中田書矢、野中由希子、福澤貴子、松原和也、鶴松 善（以上、富山大学人文学部考古学研究室学生）

調査協力者：石内詩保、鶴石純子、岩崎馨尋、内田華紀子、大川 遼、大平奈央子、景山和也、近藤美紀、勾坂友秋、塙田明弘、鶴寿美代、坪田聰子、古沢亜希子、堀内大介、三林健一、米出敬子（以上、富山大学人文学部考古学研究室学生）

平成6年度

調査補助員：鈴木和子、新本真之、長谷川幸志（以上、富山大学大学院人文学科研究科学生）、大野淳也、野川裕二、大秦司統、大高政史、大平愛子、尾野豊実、河合 忍、佐藤聖子、武田昌明、中田書矢、野中由希子、福澤貴子、松原和也、鶴松 善、石内詩保、鶴石純子、岩崎馨尋、内田華紀子、大川 遼、大平奈央子、景山和也、近藤美紀、勾坂友秋、塙田明弘、鶴寿美代、坪田聰子、古沢亜希子、堀内大介、三林健一、米出敬子（以上、富山大学人文学部考古学研究室学生）

調査協力者：石井淳平、井手口惠美、海道順子、工藤直子、小林香織、中田慎太郎、田中幸生、中島義人、中谷正和、平井晶子、藤田貞子、古屋聰洋、松木 茂、宮崎順一朗、向井裕知、本村 徹、山崎雅恵（以上、富山大学人文学部考古学研究室学生）

調査協力者：浅野聰美、小野 基、金成淳一、小島あさづき、清水あゆ美、宿野隆史、鈴木悟樹、鶴木紀則、鶴沼 匠、戸田真美子、鶴谷朋子、野水晃子、春名理史、深田亞紀、丸山 浩、三浦英俊、岡田一広、小輔祐子、梶田圭友美、須田雅昭、高志こころ、高安洋治、塙田和也、中島和哉、西村倫子、早川さやか（以上、富山大学人文学部考古学研究室学生）

平成7年度

調査補助員：新本真之、長谷川幸志（以上、富山大学大学院人文学科研究科学生）、中田書矢、石内詩保、鶴石純子、岩崎馨尋、内田華紀子、大川 遼、大平奈央子、景山和也、近藤美紀、勾坂友秋、塙田明弘、鶴寿美代、坪田聰子、中島義人、中谷正和、平井晶子、藤田貞子、古屋聰洋、松木 茂、宮崎順一朗、向井裕知、本村 徹、山崎雅恵（以上、富山大学人文学部考古学研究室学生）

調査協力者：浅野聰美、小野 基、金成淳一、小島あさづき、清水あゆ美、宿野隆史、鈴木悟樹、鈴木由紀、鶴沼 匠、戸田真美子、鶴谷朋子、野水晃子、春名理史、深田亞紀、丸山 浩、三浦英俊、岡田一広、小輔祐子、梶田圭友美、須田雅昭、高志こころ、高安洋治、塙田和也、中島和哉、西村倫子、早川さやか、三浦知徳、荒木慎也、鶴谷眞智、磯村愛子、遠野いすみ、貫井美鈴、廣瀬直樹、阿部 梨（以上、富山大学人文学部考古学研究室学生）

平成8年度

調査補助員：河合 忍、鶴石純子、近藤美紀（以上、富山大学大学院人文学科研究科学生）、中田書矢、芳賀万里子、石井淳平、井手口惠美、海道順子、工藤直子、小林香織、中田慎太郎、田中幸生、中島義人、中谷正和、平井晶子、藤田貞子、古屋聰洋、松木 茂、宮崎順一朗、向井裕知、本村 徹、山崎雅恵（以上、富山大学人文学部考古学研究室学生）

調査協力者：岡田一広、小輔祐子、梶田圭友美、後藤 哲、小林博幸、佐々木建二、佐藤 健、須田雅昭、高志こころ、高安洋治、塙田邦彦、戸嶋暢宏、中島和哉、中野秀則、西村倫子、早川さやか、三浦知徳、荒木慎也、鶴谷眞智、磯村愛子、遠野いすみ、貫井美鈴、廣瀬直樹、阿部 梨（以上、富山大学人文学部考古学研究室学生）

平成9年度

調査補助員：河合 忍、鶴石純子、近藤美紀、田中幸生、山崎雅恵（以上、富山大学大学院人文学科研究科学生）、中田書矢、中谷正和、野川良治、小野 基、金成淳一、小島あさづき、清水あゆ美、宿野隆史、鈴木悟樹、鈴木由紀、鶴沼 匠、戸田真美子、鶴谷朋子、野水晃子、春名理史、深田亞紀、丸山 浩、三浦英俊、岡田一広、小輔祐子、梶田圭友美、後藤 哲、小林博幸、佐々木建二、佐藤 健、須田雅昭、高志こころ、高安洋治、塙田邦彦、戸嶋暢宏、中島和哉、中野秀則、西村倫子、早川さやか、三浦知徳、荒木慎也、磯村愛子、佐々木亮二、砂田貴司、高橋泰生、遠野いすみ、貫井美鈴、廣瀬直樹、阿部 梨（以上、富山大学人文学部考古学研究室学生）

平成10年度

調査補助員：田中幸生、山崎雅恵、大塚純司、田中 學（以上、富山大学大学院人文学科研究科学生）、中谷正和、小野 基（以上、富山大学人文学部研究生）、中田書矢、小輔祐子、梶田圭友美、後藤 哲、戸田真美子、鶴谷朋子、野水晃子、春名理史、深田亞紀、丸山 浩、三浦英俊、岡田一広、小輔祐子、梶田圭友美、須田雅昭、高志こころ、高安洋治、塙田邦彦、戸嶋暢宏、中島和哉、中野秀則、西村倫子、早川さやか、三浦知徳、荒木慎也、磯村愛子、佐々木亮二、砂田貴司、高橋泰生、遠野いすみ、貫井美鈴、廣瀬直樹、阿部 梨（以上、富山大学人文学部考古学研究室学生）

調査協力者：阿部 来、井出靖夫、瓜生奈子、萩原恵好、片桐清志、鶴谷眞智、荒井史生、塙田直哉、不滿美徳、鴻茂晃、八幡謙司、山口欣志

(以上、富山大学人文学部考古学研究室学生)、飯山志のぶ、猪狩俊哉、伊藤直美、扇原香子、小栗由希代、小泉史恵、澤野麗子、斎藤由紀、田中洋一、馬川貴祥、麻平慎介、豊田樹一郎、萩原佐知了、藤原孝夫、水谷田鶴、山下 研、山本教幸、道佐真一郎(以上、富山大学人文学部学生)

平成11年度

調査補助員：大槻純司、田中一 學、浅野良治、高志こころ、戸塚暢宏、中谷正和(以上、富山大学人文学部考古学研究室学生)、高安洋治、荒木慎也、磯村愛子、佐々木亮二、砂田督司、高橋泰生、遠野いづみ、貴井美玲、廣瀬直樹、真井田宏彰、渡辺 樹、阿部 未、舟出雄介、瓜生日奈子、表原孝紹、片桐清惠、川嶋良招、笠井史生、塙田直哉、不動美咲、の場茂光、八巻謙司、山口既志

調査協力者：猪狩俊哉、小栗由希代、小泉史恵、澤野麗子、新宅山紀、田中洋一、馬川貴祥、東平慎介、豊田樹一郎、山下 研、山本教幸、道佐真一郎(以上、富山大学人文学部考古学研究室学生)、安瀬伸織、遠藤直樹、岡田 幸、折田晃子、北川康介、網野松里、佐藤繪里奈、田中俊輔、鈴谷和広、福沢佳典、向島 裕、吉村 崇(以上、富山大学人文学部学生)

平成12～17年度　丘陵部遺跡詳細分布調査参加者（職名・所属等は調査当時のもの）

調査員：大野 光 水見市教育委員会生涯学習課主任学芸員（平成14年度）、主査（平成15年度～）

旗瀬直樹 水見市教育委員会生涯学習課学芸員（平成13年度～）

調査補助員：調査協力者

平成12年度

調査補助員：砂田督司(富山大学人文学部考古学研究科学生)、猪狩俊哉、田中洋一、澤野麗子、豊田樹一郎、松澤那々子、山下 研、山本教幸、北川康介、吉村 崇(以上、富山大学人文学部考古学研究室学生)

平成13年度

調査補助員：荒原雄大、小川卓哉、折田晃子、北川康介、久保浩一郎、黒田直臣、小林みのり、佐藤繪理奈、田中俊輔、馬川貴祥、坪田伸作、西本智子、丹羽直美、林 昭男、細田隆博、本田晃久、前田尚美、牧野博太郎、柳谷史章、松森智彦、岡野 達、向島 裕、山下 研、山本教幸(以上、富山大学人文学部考古学研究室学生)

調査協力者：の場茂光(富山大学人文学部考古学研究科学生)

平成14年度

調査補助員：北川康介、小川卓哉、本田晃久、荒原雄大、與谷史章、小林みのり、牧野博太郎、坂野井絆理、竹谷先生、松森智彦(以上、富山大学人文学部考古学研究室学生)

調査協力者：林 照男、細田隆博(以上、富山大学人文学部考古学研究室学生)

平成15年度

調査補助員：の場茂光(富山大学人文学部考古学研究科学生)、池田ひろ子、荒原雄大、黒田直臣、小林高太、佐藤浩志、高橋彰則、竹谷先生、本田晃久、柳谷史章、松森智彦、岡野 達、水谷圭吾、古澤 優(以上、富山大学人文学部考古学研究室学生)

調査協力者：山本教幸(富山大学人文学部考古学研究科学生)、細田隆博、東 良明、久慈美咲(以上、富山大学人文学部考古学研究室学生)

平成16年度

調査補助員：細田隆博、本田晃久、陶野 達(以上、富山大学人文学部考古学研究科学生)、池田ひろ子、伊藤博士、岡島怜子、尾上さやか、久保浩一郎、黒木 甫、久慈美咲、小林高太、佐藤浩志、真田泰光、高橋彰則、竹谷先生、水谷圭吾、村上しおり、用田聖実(以上、富山大学人文学部考古学研究室学生)

平成17年度

調査補助員：陶野 達(富山大学人文学部考古学研究科学生)、赤座裕子、伊藤剛士、岡島怜子、黒木 甫、小林高太、小林智津、高橋彰則、竹中裕介、竹谷先生、鶴井恵子、秀利哲彦、水谷圭吾、用田聖実、吉田有里(以上、富山大学人文学部考古学研究室学生)

調査協力者：福沢佳典(富山大学人文学部考古学研究科学生)、東 良明、板田裕之、横幕 真(以上、富山大学人文学部考古学研究室学生)

平成18年度　市内遺跡詳細分布調査　補足調査、測量調査参加者

調査員：大野 光 水見市教育委員会生涯学習課主査

旗瀬直樹 水見市教育委員会生涯学習課学芸員

調査補助員：小林高太(富山大学人文学部考古学研究科学生)、佐藤桂太、竹中慶介、増永佑介、横幕 真(以上、富山大学人文学部考古学研究室学生)

■付章 平成18年度分布調査・測量調査の成果

1. はじめに

平成18年度の市内遺跡分布調査・道路地図作成事業の一環として、分布調査の補足調査と測量調査を実施した。

水見市教育委員会では、平成5年から7か年計画で市内の平野部の踏査、平成12年度から3か年計画で古墳群の把握を目的とした丘陵地の踏査、平成15年度から3か年計画で宗教遺跡、城郭群の把握を目的とした山間部地区の踏査、あわせて13か年にわたる市内の分布調査事業を実施し、市内全域にわたって遺跡を行ってきたところであるが、依然として未踏査地区も多く残されている。また遺跡地図の作成にあたって再確認の必要な遺跡も多かった。そのため遺跡地図の作成と並行して分布調査の補足調査を実施することになった。

分布調査は平成18年9月から平成19年3月まで断続的に実施し、3月1日から26日には富山大学人文学部考古学研究室の学生の協力を得て、補足調査及び余川金谷1号墳の測量調査を実施し、整理作業を行った。

調査員：大野 宛 水見市教育委員会生涯学習課主査

廣瀬直樹 水見市教育委員会生涯学習課学芸員

調査補助員：小林高太（富山大学大学院人文学研究科学生）

佐藤雄太・竹中庸介・増永佑介・横暮 真（以上、富山大学人文学部考古学研究室学生）

現地指導：松島 洋（水見市文化審議議長会会長）

調査協力者：酒井勝哉（水見市中央町）

2. 分布調査の成果

今年度の調査では、遺跡地図の作成作業上、範囲・位置の確認が必要となった遺跡の調査を適宜実施した。その結果、これまでの遺跡地図とは範囲・位置を変更した遺跡がある（森経野（061）・戸津宮中臣墓群（217）など）。また「水見市史 7 資料編五 考古」（水見市2002）では墳丘位置図が作成されていなかった上田古墳群（299）の墳丘の確認なども実施し、それらの成果は遺跡地図の内容に反映させた。また分布調査としては未踏査となっていた二つの島嶼遺跡、虻が島遺跡（003）・岩島遺跡（225）の調査、中村・柿谷地区の踏査もあわせて実施した。本項では、遺跡地図の内容に反映していない中村・柿谷地区の踏査及び虻が島遺跡・岩島遺跡の調査の結果を中心に報告する。

中村・柿谷地区の踏査（第1回）

上庄川中流左岸に位置する中村地区と柿谷地区の境界に、粟屋山という丘陵がある。山頂部に中村城跡（033）が整かれている丘陵である。この丘陵南側の裾部に中村横穴群（177）が立地する。「熊無村史」（熊無村史刊行委員会1997）によると、山頂より派生する二本の小尾根に挟まれた水田地帯を沖の谷内といい、東側の尾根に2基、西側の尾根に2基、合計4基の横穴が存在するとされる。水見市教育委員会が平成13年度に実施した丘陵地区的分布調査では、東側の尾根に4基、西側の尾根に1基の合計5基の横穴の開口を確認している（水見市教委2002）。西側尾根で確認した1基の位置は、「熊無村史」掲載の「中村古墳分布図」に所在地が記されている西側尾根の2基とは場所が一致しないため、これまで確認された横穴は合わせて7基程度となる。木開口の横穴の存在も考慮すると、全体では10基前後の横穴群となると考えられる。

さて「『庄村史』・『熊無村史』」によると、中村横穴群に近接して、丘陵の柿谷側に「柿谷の谷内の横穴」という横穴が所在しているという。谷内の横穴は、柿谷の共同墓地の南側斜面下にある。水田より5mくらいの高さの所に南面して開口しており、入口は崩れているが幅1.8m、高さ1.6m、奥行き15mを測る（上庄村史編纂委員会1963・熊無村史刊行委員会1997）。平成13年度の分布調査ではこの横穴の所在を確認していないかったため、丘陵北側裾部も含めて再度踏査を実施した。

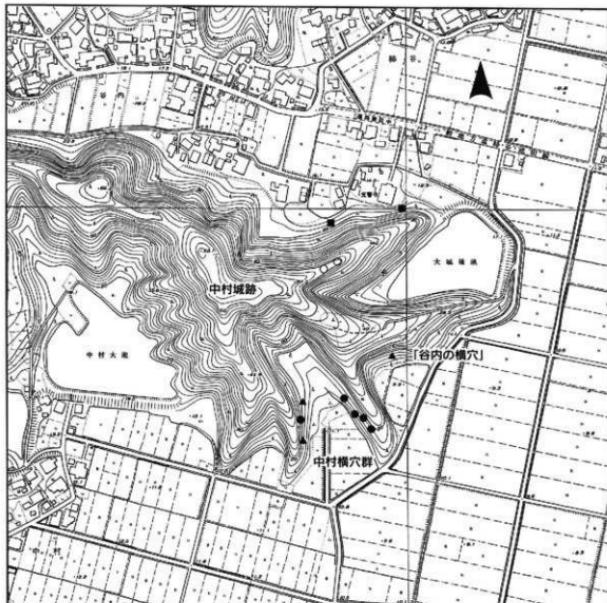
柿谷の谷内の横穴が所在するという共同墓地南側の丘陵斜面は、杉・雜木・竹などが覆い茂っており、所々岩肌が露出している。「熊無村史」に掲載された横穴の位置図を参考に、当該地点を重点的に踏査したが、横穴を発見することはできなかった。斜面にはテラス状の段が複数あり、これらが横穴に伴うものである可能性も考えられるが、現状では横穴の存在は確認できない。

調査では、谷内の横穴の推定地から大城後池を越えてさらに北側の丘陵斜面までの踏査を行ったが、その結果、柿谷谷内集落の背後、粟屋山の北側斜面の裾部に新たな横穴状の遺構を確認した。この横穴状遺構は、丘陵斜面の最下部、現在の水田からやや上がった現地表面とほぼ同一レベルに北東向きに開口しており、玄室状の部分と羨道状の部分で構成される。玄室状の部分には現在は切妻・瓦などが入れられている。玄室状の部分の平面形は不整正方形を呈し、羨道状の部分とは斜めに接続している。向かって左側の壁は直線的、右側の壁は曲線的で頂部の形態はややいびつなドーム型を呈する。横穴状遺構の規模は、羨道状部分と玄室状部分を合わせた実行が4.86m、羨道状部分の長さ2.88m、玄室状部分の最大幅2.7m、高さ1.5mを測る。この横穴状遺構は、比較的小型でいびつな形状であること、玄室状の部分と羨道

状の部分が斜めに接続すること、水田に近い位置に現地表面と同レベルで穿たれていることなどから、いわゆる横穴墓ではなく、貯藏穴などとして穿たれたものである可能性が高いと判断した。なお、この近辺には他に横穴は確認できなかったが、約90m東方の光智寺裏でも横穴状遺構を確認している。これらも現地表面と同レベルに開口している。平面形は細長く、これも横穴墓ではなく貯藏穴のようなものと考えられる。

今回の調査では谷内の横穴を実際に確認することはできず、また新発見の横穴状遺構は現時点では横穴墓としては考えづらいため、それぞれ遺跡としての登録は見送ることになった。だが今後の調査次第では、中村横穴群と一緒に造営された横穴群が柿谷側の斜面まで広がっていた可能性も否定できないと考えられる。

また、新発見の横穴の上部、中村城跡から派生した細尾根上に、自然地形とするとやや不自然な墳丘状の盛り上がりを2か所確認している。古墳とするには根拠が明確ではなく、城郭遺構としてもはっきりしないため、こちらも遺跡としての登録を見送った。丘陵の頂部に古墳群が築かれ、斜面に横穴群が築かれるという状況は、上庄川下流域に所在する加納蛭子山古墳群(150)と加納横穴群(032)で見ることができる。粟屋山でも横穴群の近くに古墳群があつてもおかしくはない。中村から柿谷にかけての横穴の立地状況と尾根上の墳丘状地形の関係性などについては今後の検討課題としたい。



第1図 中村・柿谷地区 横穴位置図 (S=1/5,000)

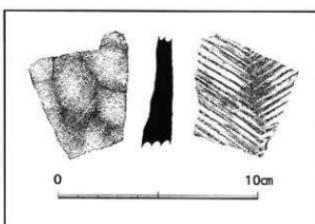
- 現在確認している横穴
- ▲ 「熊無村史」に記載されるが未確認の横穴
- 新発見の横穴状遺構
- 墳丘状の地形

虻が島遺跡の調査

虻が島遺跡の調査では、従前より確認していた男島の刻印石材や削石を確認したほか、女島の楕音堂付近で珠洲焼の体部破片を表探した。採集した珠洲焼を第2図に図示した。外面に綾杉状叩き目を施した壺壺類の体部破片である。

唐島遺跡の調査

唐島遺跡の調査では、島内の踏査、磨崖仏「火ともし地蔵」の確認等を行った。「火ともし地蔵」は、唐島の南側、細粒砂岩の岩崖面に彫られている磨崖仏である。その形態から14世紀頃のものと考えられ、島内西側の岩壁のくぼみから同時期の中世土師器皿が採集されている(水見市2007)。今回の調査では、やや占手の瓦を2点表探したのみであった。



第2図 虻が島遺跡採集遺物 (S=1/2)

3. 余川金谷1号墳の測量調査

余川金谷古墳群（324）は余川川の左岸、金谷地区北側の丘陵に立地する。南東方向へ伸びる丘陵尾根、標高76mから40mまでの間に19基が確認されている（第3図）。

これらの古墳は、立地の状況や墳丘形態から次のA～Cの三群に大別できる。

A群は山頂及び山頂付近に間隔を置いて造られた方墳、1～3号墳である。

B群は尾根上に連接しながら一列に並ぶ方墳であり、4～11号墳の8基である。

C群は幅の広い緩斜面に群集する円墳であり、12～19号墳の8基である。

表面観察では、A群は弥生時代終本期の方形埴丘墓に類似すること、B群はA群から移行した古墳時代初頭のものと考えられること、C群は6世紀中ごろの指崎向山13号墳と形態が類似することが指摘されており、弥生時代終末期～古墳時代前期、古墳時代後期に造営されたと推測される（水見市2002）。

このうち1号墳は、一边約13m、高さ約2mの方墳であるが、南北以外の隅が突出しているため、西井龍氏によって四隅突出型埴丘墓の可能性が指摘されている。

四隅突出型埴丘墓は、弥生時代中期後葉から終末期にかけて、山麓地域を中心に分布しているが、昭和49年（1974）の富山市杉谷4号墳丘墓の調査以後、北陸でも類例が増え、確実な例として現在越中・加賀・越前で16基が確認されている。

このうち越中では試掘調査によって7基が確認されているが、これらはすべて婦負地域（富山市）に位置している。この他、同じ婦負地域では、羽呂山古墳群のNo.6・No.10・No.18の三古墳が、富山市教育委員会による測量調査によって、四隅突出型埴丘墓である可能性が指摘されている。

一方婦負地域以外では、小矢部市北一1号墓が小矢部市埋蔵文化財分布調査団による測量調査で、高岡市の東海老坂ダイラ2号墳が富山考古学会による測量調査で、それぞれ四隅突出型埴丘墓である可能性が指摘されている。

これらの分布状況をみると、余川金谷1号墳は、婦負地域以外でまだ確実な例のない四隅突出型埴丘墓の可能性をもつものとして、きわめて重要な位置にあるものといえよう。そこで今回分布調査の結果として、同墳の測量調査を実施したものである。

調査の成果（第4図）

測量調査は、平板を使用し、25cm間隔の等高線により、縮尺百分の一の原図を作成した。標高は、最高地点を0とした相対高である。

1号墳は標高約76mに位置し、南北約50m、東西約16mの丘陵頂部北寄りに築かれている。丘陵頂部南寄りに築かれた2号墳とは、緩い鞍部をはさんで約40m離れている。1号墳からは南東方向と南西方向の眺望に優れており、南東方向には水見市街地、南西方向には余川川流域の平野を望むことができる。

測量調査の結果、余川金谷1号墳は一边約13m、高さ約2mの方形の主丘部をもち、墳丘の主軸はほぼ東北を向くことが判明した。墳頂部の広さは南北約7m、東西約6mである。北西の突出部は長さ約3m、幅約5.5mと推定される。北東の突出部は幅約4mと推定され、先端は崖のため崩れている。南東の突出部は長さ約2m、幅約5mと推定される。また墳丘の西側裾と南側裾の突出部には、若干の平坦面がみられる。これらに対して、南西部分は突出した墳丘が途切れずに丘陵とつながっている。

なお、現況で観察する限り、石材と遺物は確認されなかった。

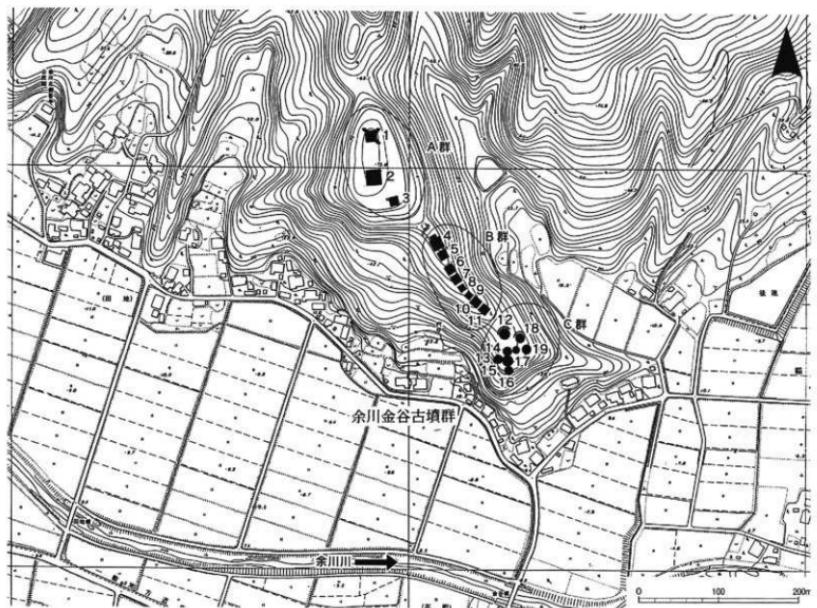
まとめ

余川金谷1号墳の測量調査の結果、一边約13m、高さ約2mの方形の墳丘をもち、北西・北東・南東の三ヵ所が突出することが確認された。これに対して南西部分は墳丘が途切れずに丘陵とつながることが確認された。この南西部分がどのような意味をもつのか、後世の変更も含めて、今後検討しなければならないが、測量調査だけで本墳を四隅突出型埴丘墓と確定する材料を得ることができたとは言い難く、ここではその可能性を指摘するにとどめておきたい。

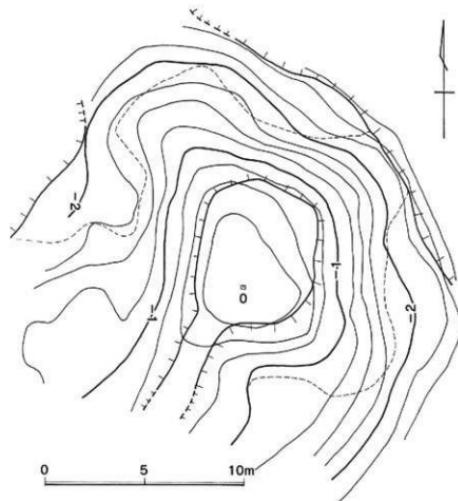
婦負地域の弥生時代後期後半から終末期にかけての首長墓としては、ほぼ四隅突出型埴丘墓が採用されている（大野2007）。これに対して、越中で最も古墳（弥生時代の埴丘墓を含めて）の集中する水見地域と小矢部川左岸地域では、弥生時代の埴丘の状況についてなお不明な点が多いが、四隅突出型埴丘墓はあったとしても散発的であり、婦負地域とは違った墓制が展開していたようである。（大野）

註

1号墳の南に位置する2号墳は、一边約16m、高さ1.5～2m、1号墳とほぼ方位をそろえた方墳であり、墳頂部は南北約9m、東西約7mを測る。「見基塚」のようにも見受けられる。また、3号墳から4号墳に向かって南東方向に斜面を下った平坦面には、山道がとりついだ基壇状の遺構が所在する。従って古墳周辺地域が後世に、寺社もしくは城館として再利用された可能性がある。



第3図 余川金谷古墳群 ($S=1/5,000$)



第4図 余川金谷1号墳測量図 ($S=1/200$) 方位は磁北

4. おわりに

今年度実施した分布調査の補足調査では、特筆できる成果を上げることができたとはいえたが、今回作成した遺跡地図が決して完成したものではなく、将来に向けて課題を残したものだということを再確認することとなった。また測量調査では、踏査により四隅突出型墳丘墓の可能性が指摘されていた余川金谷1号墳の測量図を作成し、基礎資料として供することができた。

14年間続けてきた分布調査事業はこれでひとまず終了ということになるが、今後も遺跡の有無の確認、範囲の見直しなどを行い、遺跡地図の充実に努めていきたいと考えている。

引用・参考文献

- 大野英子 2007 「玉塚・千坊山遺跡群」 同成社
小矢部市教育委員会・小矢部市埋蔵文化財分布調査班 1982 「小矢部市埋蔵文化財分布調査報告Ⅲ」
上庄村史編纂委員会 1963 「上庄村史」
熊無村史刊行委員会 1997 「熊無村史」
富山考古学会 1999 「富山平野の出現期占墳」
富山市教育委員会 1984 「富山市呉羽山丘陵古墳分布調査報告書」
永見市 2002 「永見市史」 7 資料編五 考古
永見市 2007 「永見市史」 10 資料編八 文化遺産
永見市教育委員会 2002 「永見市埋蔵文化財分布調査報告（丘陵地Ⅹ）Ⅱ」 永見市埋蔵文化財調査報告第35番
婦中町教育委員会 2002 「富山県婦中町千坊山遺跡群試掘調査報告書」

表紙挿図出典:

- 表: 大焼羽衣瓦跡出土弥生土器等 (文献No.212より)
載田墓群中世墓出土瓦陶印塔 (文献No.103より)
鞍川D遺跡出土丸木舟転用舟戸側材 (文献No.289より)
柳田布尾山古墳平面図 (文献No.198より)
裏: 上口寺中世墓群出土珠洲焼蓋 (文献No.212より)

平成19年3月27日 印刷
平成19年3月30日 発行

水見市遺跡地図 [第3版]
水見市埋蔵文化財調査報告第50冊

編集・発行 水見市教育委員会

〒935-0016

富山県水見市本町4番9号

☎0766(74)8215

印 刷 能登印刷株式会社



水見市遺跡地図